応用編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

B430dn

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- マルチパーパストレイ→ MPT
- セカンドトレイユニット → 拡張給紙ユニット、トレイ 2
- PostScript3 エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3EMULATION
- Microsoft® Windows Vista™ 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista(64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server™ 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Vista™ operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称→ Windows

※特に記載がない場合は、Windows Vista と Windows Server 2003 と Windows XP には 64bit 版も含みます。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標または商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe および Reader は、米国その他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
ESC/P はセイコーエプソン社の登録商標または商標です。
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名，製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

B430dn は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、本契約書を必ずお読み下さい。お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為 (過失を含むがこれに限定されない) に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

目　次

1 ネットワーク接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境 日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

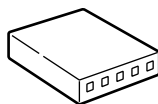
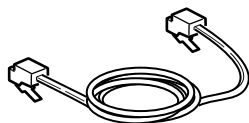
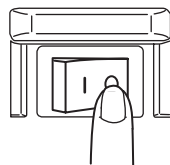
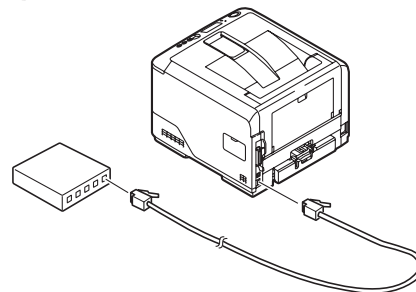
- B430dn PCL プリンタドライバは、ネットワークインタフェースでは利用できません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MacOS8.6 以前のシステムには対応していません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、セレクタに「B430」、「B430-1」、「B430-2」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ①［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ②［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 使用するプリンタを選択します。

❶［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

❷［LaserWriter8］をクリックし、［PostScript プリンタの選択］で［B430］を選択します。

メモ　プリンタ名は、MicrolinePS Utility で変えることができます。

- ［PostScript プリンタの選択］で［B430］が表示されない場合には、Macintoshとプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか確認してください。
- ［セレクタ］に［LaserWriter8］が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」(15 ページ)をご覧ください。

❸［作成］をクリックします。

プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹［セレクタ］を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

☞ 手順 5 へ進みます。

5 プリントプラグインを設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ:］が［B430］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして[プリントタイム・フィルタ］を開き、［ジョブアカウント］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されていません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします

MacOS9.x.x付属のLaserWriter8 プリンタドライバをカスタムインストールします。

- ［セレクタ］に［LaserWriter8］がすでに存在している場合は、インストール不要です。
- PCL プリンタドライバをお使いの方は、この操作は不要です。

以下の説明は、MacOS9.2.1 を例にしています。

❶「MacOS9.x.x システム CD-ROM」をセットします。

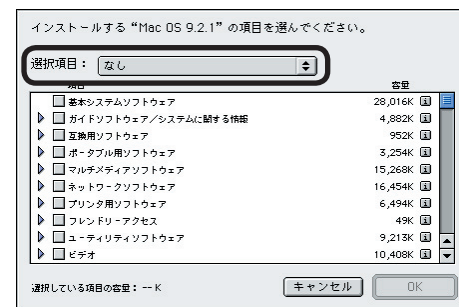
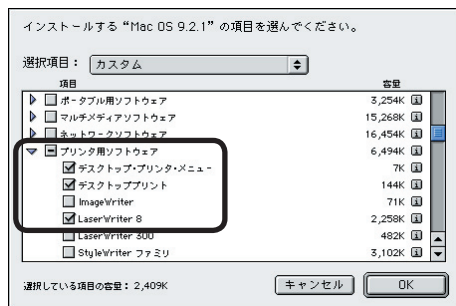
❷［MacOS インストーラ］をダブルクリックします。

❸「ようこそ MacOS9.x.x へ」画面で［続ける］をクリックします。

❹［インストール先ディスク］を選択し、［選択］をクリックします。

❺［追加 / 削除］をクリックします。

❻［ソフトウェア］で［MacOS9.x.x］にチェックをつけ、［インストール方法］で［カスタムインストール］を選択します。

❼［選択項目］で［なし］を選択します。

❽［プリンタ用ソフトウェア］の［▷］印をクリックし、［デスクトップ·プリンタ·メニュー］、［デスクトッププリント］、［LaserWriter8］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❾［開始］をクリックします。

❿［続ける］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

⓫［再起動］をクリックします。

2 USB接続でMacintoshにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

プリンタドライバ

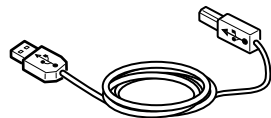
MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB 拡張ボードには対応していません。
- MacOS8.6 以前には対応していません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、セレクタに「B430」、「B4301」、「B4302」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

メモ USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 5m 以内 (2m 以下を推奨) のものをお使いください。

ケーブルを接続します

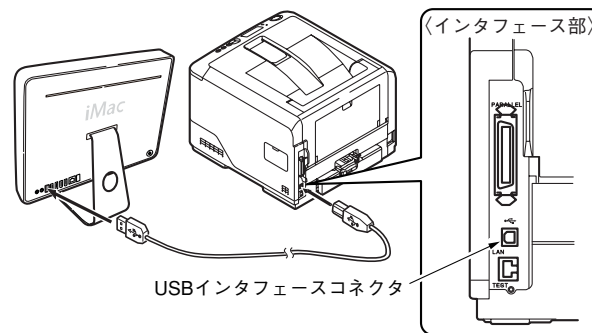
1 USB ケーブルを準備します。

USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

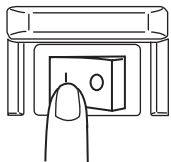
メモ

USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注

USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源を ON にします。

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ①［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ②［セット］を［Mac OS x.x.x 基本］（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ セットアップするプリンタドライバの［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 使用するプリンタを選択します。

Macintosh PSプリンタドライバをお使いの方

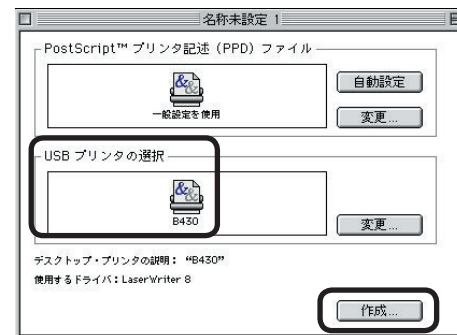
❶ [Apple エクストラ] - [Apple LaserWriter ソフトウェア] フォルダ (Mac OS 9.1以降では、[Applications(MacOS9)] - [ユーティリティ]フォルダ)内の [デスクトップ・プリンタ Utility] をダブルクリックします。

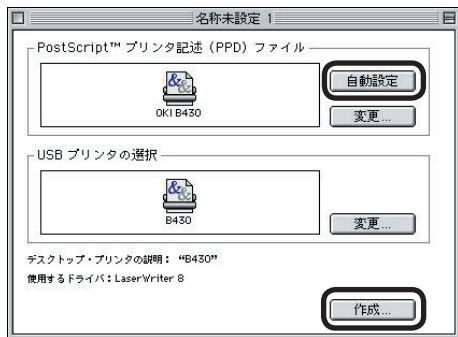
デスクトップ・プリンタ Utility

❷ [プリンタ]で[LaserWriter8]を、[デスクトップに作成]で[プリンタ(USB)]を選択し、[OK]をクリックします。

[プリンタ] に [LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします」(15 ページ) をご覧ください。

❸ [USB プリンタの選択] の [変更] をクリックします。

❹ [USB プリンタの選択] で [B430] を選択し、[OK] をクリックします。

[USB プリンタの選択]で[B430]が表示されない場合には、Macintosh とプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルのコネクタが正しく差し込まれているか、ケーブルが傷ついていないか、確認してください。

❺ [PostScript プリンタ記述(PPD)ファイル] で [自動設定] をクリックします。

❻［作成］をクリックします。

❼［デスクトップ・プリンタの保存名］を入力し、［保存］をクリックします。

❽デスクトップ・プリンタ Utility を終了します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

☞ 手順 5 へ進みます。

メモ　USB インタフェースで接続する場合は､「セレクタ｣画面で「LaserWriter8」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して､「Finder｣の［プリンタ］メニューで［省略時プリンタに指定］を選択して使用します。

Macintosh PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷［B430（USB）］アイコンをクリックします。

❸［B430］を選択します。

注「プリンタの選択」に表示されたプリンタ名を必ずクリックして選択してください。プリンタ名を選択してからセレクタを閉じないと、デスクトップ・アイコンが作成されず、印刷できません。

❹ セレクタを閉じます。

セレクタを閉じて、デスクトップ上にプリンタアイコンが作成されたことを確認してから印刷してください。
デスクトップ・アイコンの作成が完了しない状態で、セレクタを開いたまま印刷するとプリンタドライバが壊れて、デスクトップ上に多数のプリンタアイコンが作成される場合があります。
この場合は、次の手順で復旧してください。

① ［アップル］メニュー -［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］で、［デスクトップ・プリントモニタ］、［デスクトップ・プリンタ・スプーラ］のチェックを外します。
② Macintosh を再起動します。
③ デスクトップ上の不要なプリンタアイコンを削除します。
④ プリンタドライバを再インストールします。
⑤ ［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻します。
⑥ Macintosh を再起動します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。
PCL ドライバは、これでセットアップは完了です。

2
セットアップします

5 プリントプラグインを設定します。

メモ Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方のみ設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ:］が［B430］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして[プリントタイム・フィルタ］を開き、［ジョブアカウント］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

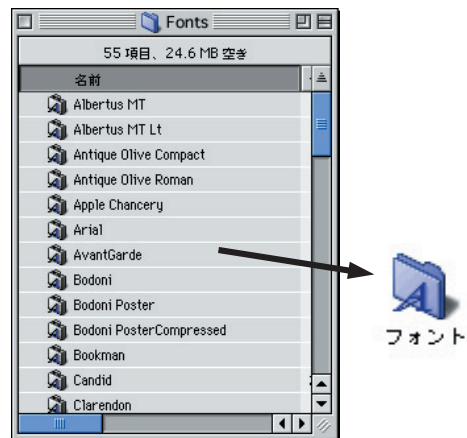
❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

メモ Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方のみ設定します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

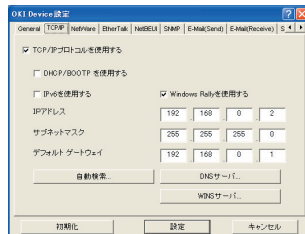
❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

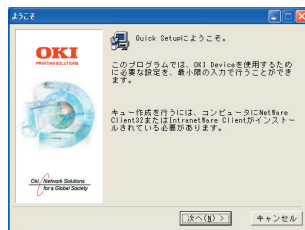
- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されていません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

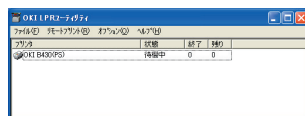
3 Windows ソフトウェア

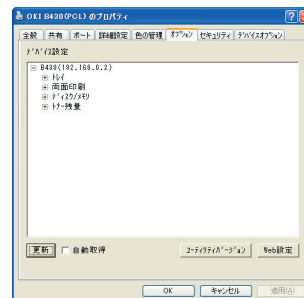
ネットワークユーティリティ

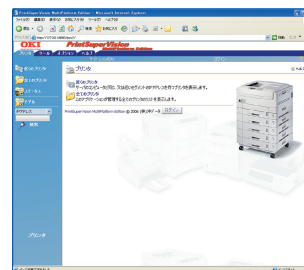
ネットワーク接続時に使用するユーティリティです。
必要に応じてインストールしてください。

AdminManager（28 ページ）

プリンタのネットワークの設定やステータスの確認ができます。IP アドレスの変更もできます。

Quick Setup（33 ページ）

各プロトコルの有効 / 無効を簡易に設定します。

OKI LPR ユーティリティ（36 ページ）

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータスを確認することができます。

Network Extension（47 ページ）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定ができます。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition（50 ページ）

ネットワークに接続されるプリンタを管理するWeb ベースのアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認できます。

「プリンタソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

Web Driver Installer（51 ページ）

ネットワーク接続されるプリンタを表示し、プリンタドライバインストールモジュールをダウンロードし、クライアントのコンピュータにインストールする Web アプリケーションです。

「プリンタソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

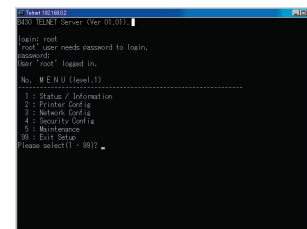
ネットワークステータスモニタ（53 ページ）

ネットワーク接続されているプリンタの状態を監視することができます。

「プリンタソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

Web ブラウザ（56 ページ）

Web 画面で、プリンタのメニューやネットワークの設定を遠隔操作できます。

TELNET（65 ページ）

TELNET を利用してプリンタのネットワークの設定をすることができます。

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項　目 ／ ユーティリティ	IP アドレスの設定変更	パネル表示	ジョブの管理	設定項目の確認	オプション品の管理	消耗品情報	ネットワーク管理
AdminManager	○						
OKI LPR ユーティリティ		○	○				
Network Extension					○		
PrintSuperVision MultiPlatform Edition	○	○		○		○	○
Web Driver Installer							○
ネットワークステータスモニタ		○					
Web ブラウザ	○	○		○		○	
TELNET	○						

AdminManager

プリンタのネットワークの設定や、ステータスの確認ができます。

動作環境

Windows Vista/XP/2000/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメント上に存在している必要があります。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

- Windows Vista で、[自動再生]が表示されたら［Startup.exe の実行］をクリックします。
- Windows Vista で、[ユーザアカウント制御］が表示されたら、[続行］をクリックします。

❸ B430 プリンタの画像をクリックします。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する］をクリックします。

❺［ソフトウェアセットアップ］をクリックします。

❻［NIC セットアップユーティリティの起動］をクリックします。

❼［日本語］をクリックします。

❽［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

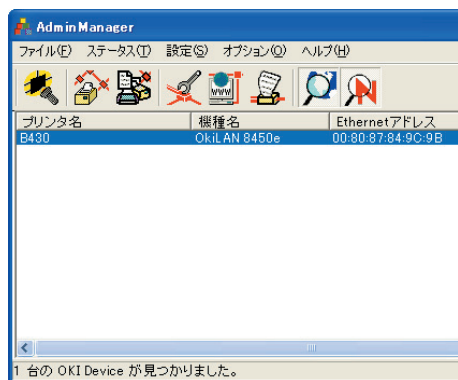
❾［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

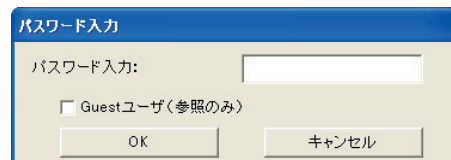
3

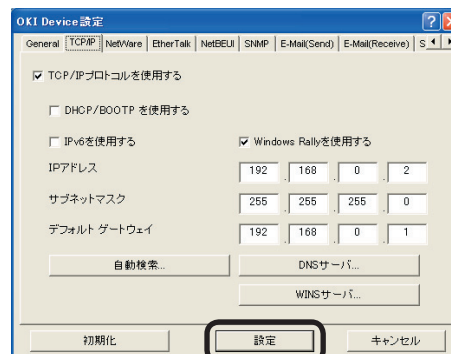
AdminManager

プリンタのネットワークの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（170 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、OkiLAN 8450e と表示されます。

- Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（182 ページ）
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

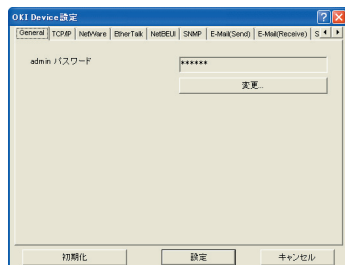
❸［パスワード入力］に［Ethernet アドレスの下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の英数字下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

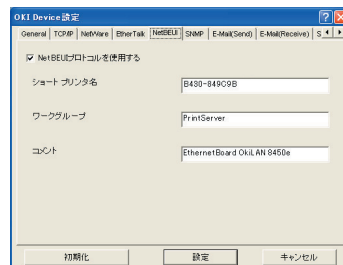
❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

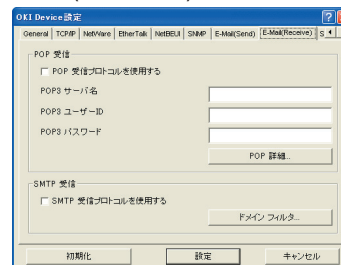
❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

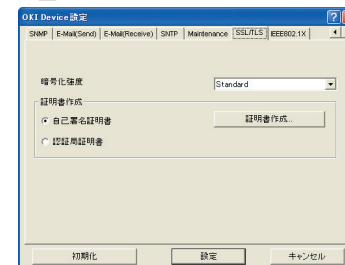
注 リブート後プリンタは新しい設定値で動作します。

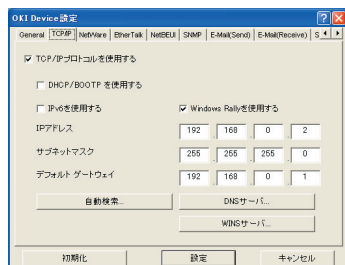
❼ AdminManager を終了します。

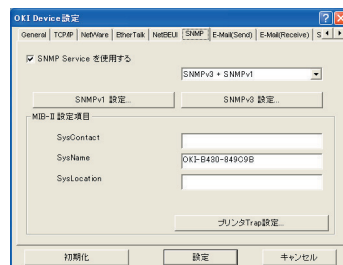
General タブ

パスワードを変更します。

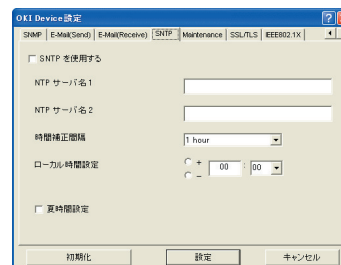
NetBEUI タブ

NetBEUI を利用する場合に設定します。

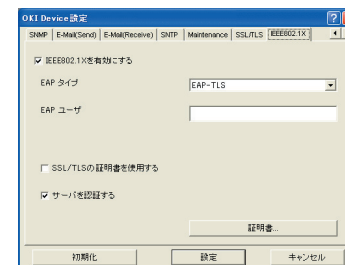
E-mail (Receive) タブ

SMTP/POP プロトコルを利用する場合に設定します。

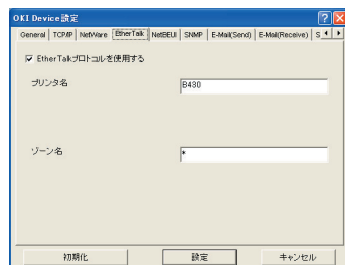
SSL_TLS タブ

SSL/TLS を利用する場合に設定します。

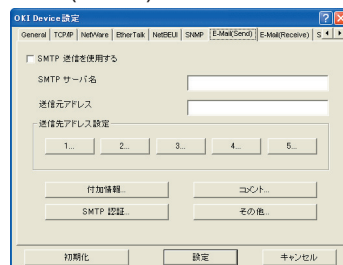
TCP/IP タブ

IP アドレスなどの設定をします。

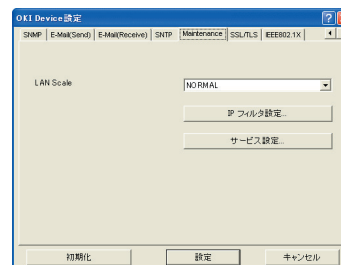
SNMP タブ

SNMP を利用する場合に設定します。

SNTP タブ

SNTP を利用する場合に設定します。

IEEE802.1X タブ

IEEE802.1X を利用する場合に設定します。

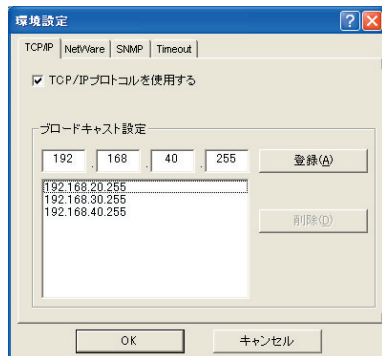
EtherTalk タブ

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

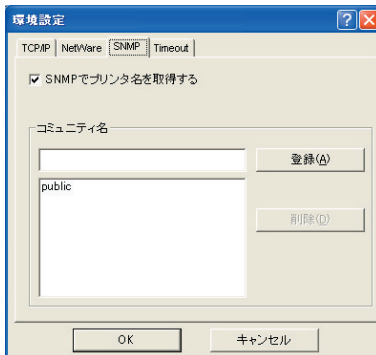
E-mail (Send) タブ

SMTP 送信プロトコルを利用する場合に設定します。

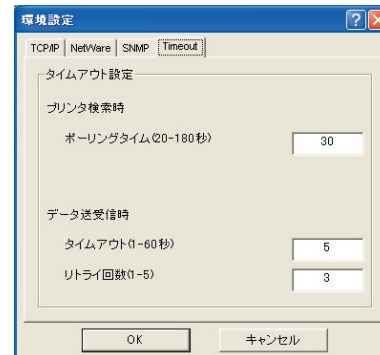
Maintenance タブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

環境を設定します

AdminManager の環境を設定することができます。
［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

TCP/IP タブ

TCP/IP でプリンタの検索をするかどうか設定します。
ブロードキャストアドレスを設定します。

SNMP タブ

SNMP でプリンタ名の取得をするかどうか設定します。
対象のコミュニティ名を設定します。

Timeout タブ

プリンタからの応答待ち時間を秒単位で設定します。
AdminManager とプリンタの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。
AdminManager とプリンタの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup

プリンタの簡易設定ができます。

動作環境

Windows Vista/XP/2000/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメントに存在している必要があります。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

- Windows Vista で、[自動再生]が表示されたら［Startup.exe の実行］をクリックします。
- Windows Vista で、[ユーザアカウント制御］が表示されたら、[続行］をクリックします。

❸ B430 プリンタの画像をクリックします。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する］をクリックします。

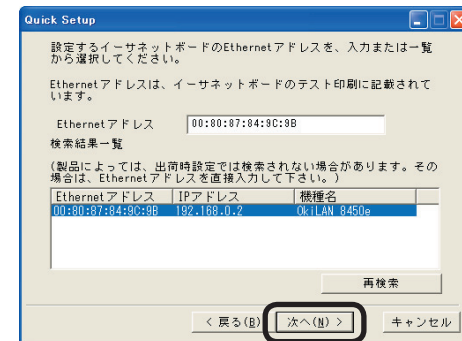
❺［ソフトウェアセットアップ］をクリックします。

❻［NIC セットアップユーティリティの起動］をクリックします。

❼［日本語］をクリックします。

❽［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

❾［次へ］をクリックします。

❿ 設定を行うプリンタの Ethernet アドレスを選択して、［次へ］をクリックします。
機種名には、OkiLAN 8450e と表示されます。

注 Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に、MAC Address として表示されています。（182 ページ）

Quick Setup で設定します

❶ TCP/IP の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❷ NetWare の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❸ EtherTalk の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❹ NetBEUI の設定を行い、［次へ］をクリックします。

❺ 設定内容を確認し、［実行］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❻ 設定値を有効にするために、［完了］をクリックします。

注 リブート後プリンタは新しい設定値で動作します。

❼ Quick Setup を終了します。

OKI LPR ユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

Windows XP/2000/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- Windows Vista/Windows Vista(x64版) では動作しません。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 印刷方式機能は利用できません。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアップププログラムが起動します。

❸ B430 プリンタの画像をクリックします。

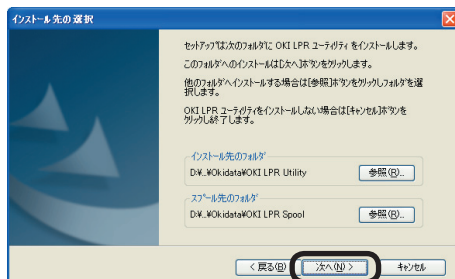
❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

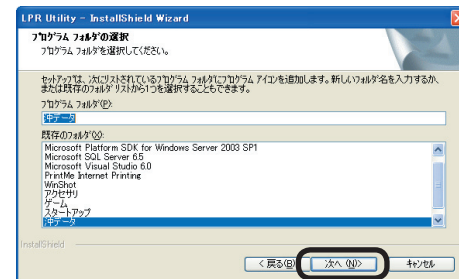
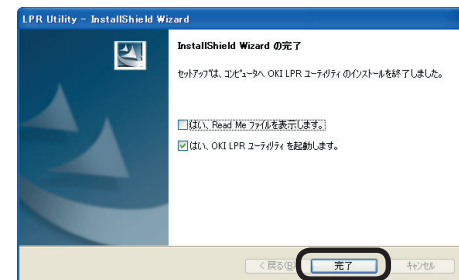
❺［ソフトウェアセットアップ］をクリックします。

❻［LPR ユーティリティのインストール］をクリックします。

❼ すでに OKI LPR ユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので［はい］をクリックします。

❽ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❾ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

❿［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

⓬［完了］をクリックします。

起動します

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］ - ［OKI LPR ユーティリティ］ - ［OKI LPR ユーティリティ］ を選択します。

下のような画面が表示されます。

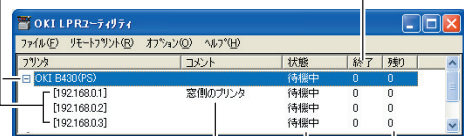
「複数のプリンタで同時に印刷する」（42 ページ）を設定した場合に表示されます。

送信が完了したジョブ（データ）の数を表します。

OKI LPR ユーティリティに登録してあるプリンタ

まだ送信されていないジョブ（データ）の数を表します。

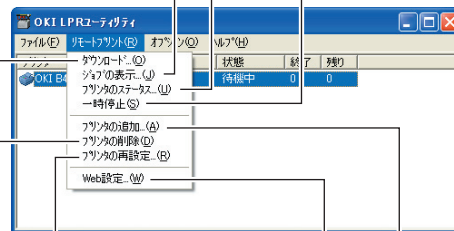
「コメント欄を表示」（45 ページ）を設定した場合に表示されます。

OKI LPR ユーティリティのプリンタの状態を表します。（実際のプリンタの状態とは異なります。）

リモートプリントの設定

印刷ジョブを表示したり削除します。複数台の B430dn を使用していればジョブを手動で同じ機種へ転送することができます。

ファイルをプリンタにダウンロードします。

プリンタのパネルに表示されるステータスをパソコン上で確認することができます。

ジョブを一時停止します。

OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンタを削除します。

OKI LPR ユーティリティにプリンタを登録します。

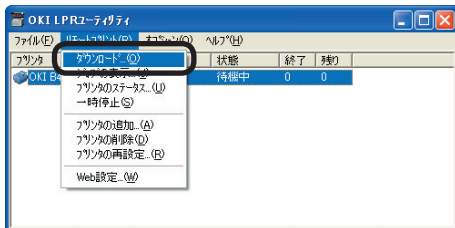
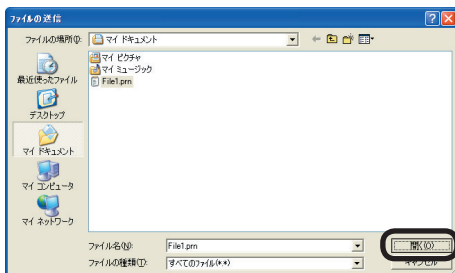
プリンタの IP アドレスを変更したり、ジョブの自動転送を設定します。

プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うための Web ブラウザを起動します。

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶ プリンタを選択します。

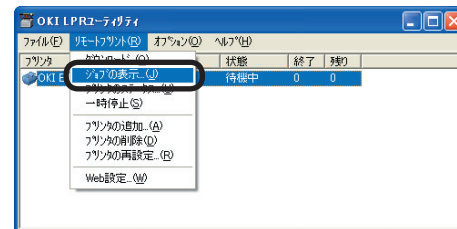
❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

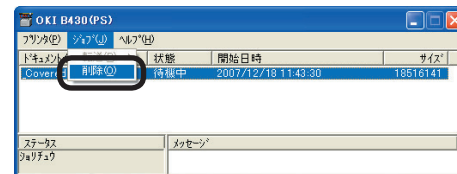
ジョブの表示、削除と手動転送

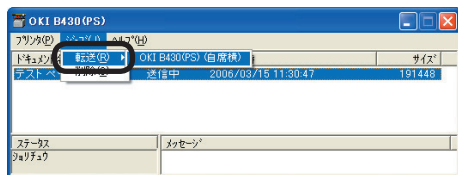
印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

- 他社プリンタへは転送できません。
- 同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

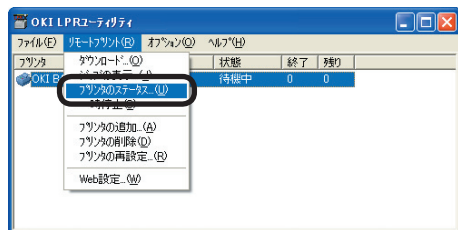
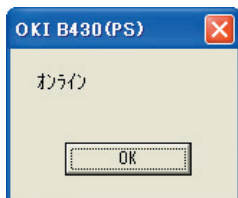
❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめ OKI LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

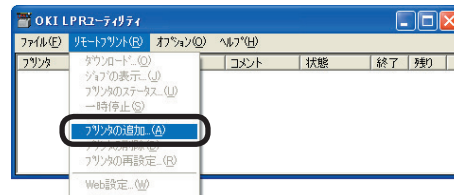
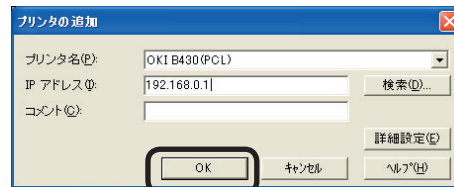
❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ　ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

プリンタの追加

印刷先のポートを OKI LPR ポートに変更することができます。

すでに OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

❷［プリンタ］を選択し、［IP アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

注　［プリンタ］には、「プリンタと FAX」（Windows 2000 の場合は「プリンタ」）フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。ネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

メモ　［検索］をクリックしてネットワーク上の沖データ製プリンタを検索することもできます。

3
OKI LPR ユーティリティ

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

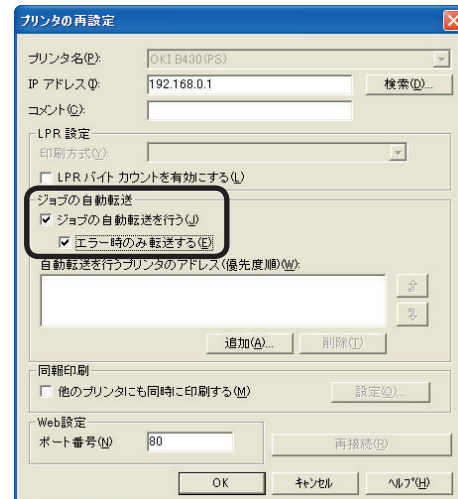
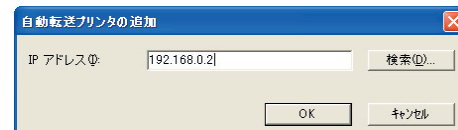
- 他社プリンタへは転送できません。
- 必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

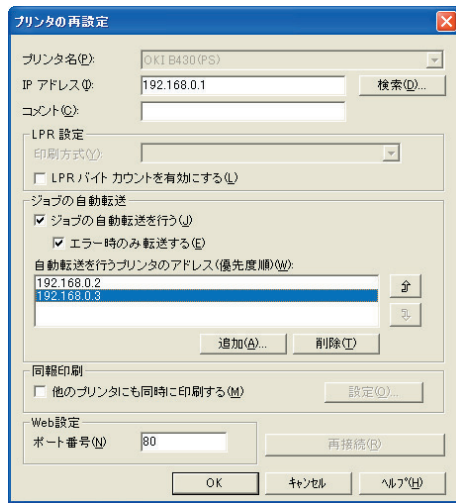
❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックを付けます。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

❺［追加］をクリックし、転送先の IP アドレスを設定します。

メモ ［検索］をクリックして、ネットワーク上の沖データ製プリンタを検索することもできます。

❻ 転送先の候補の数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ　転送先の優先順を変更するには、[自動転送を行うプリンタのアドレス]から優先順を変更するプリンタを選択し、横の[↑]ボタン、または[↓]ボタンをクリックします。([↑]ボタンをクリックすると優先度が上がり、[↓]ボタンをクリックすると優先度が下がります。

❼ [OK] をクリックします。

複数のプリンタで同時に印刷する

一度の印刷指示で複数のプリンタに印刷することができます。

注　同時に印刷するプリンタは、必ず同じプリンタ機種を指定してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。

3
OKI LPR ユーティリティ

❹［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❺［追加］をクリックし、同時に印刷するプリンタの IP アドレスを設定します。

メモ 同時に印刷するプリンタに対しても、コメントを追加することができます。（45 ページ）

❻追加したいプリンタの数だけ、❺の操作を繰り返します。

- ［リストを保存］をクリックすることにより、追加したプリンタの情報を保存することができます。
- 保存したプリンタの情報は、［リストを読み込む］をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

❼［OK］をクリックします。

Web ブラウザを起動する

OKI LPR ユーティリティより、プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うための Web ブラウザを起動します。

メモ　各設定の設定方法については「Web ブラウザ」（56 ページ）をご覧ください。

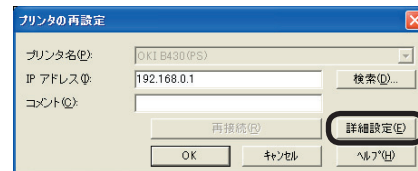
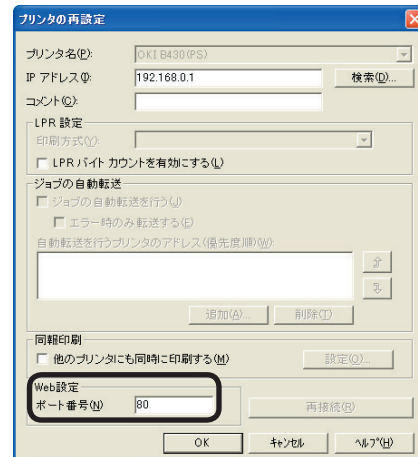
❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［Web 設定］を選択します。

メモ　Web ポート番号が変更されている場合は、OKI LPR ユーティリティのポート番号の設定を以下の手順で変更してください。

① プリンタを選択します。

②［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

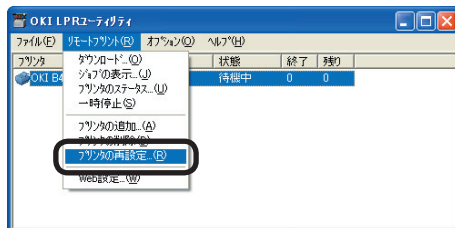
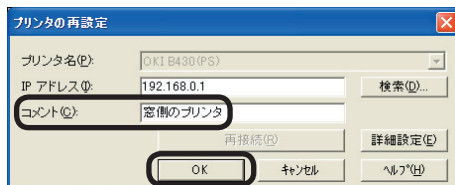
③［詳細設定］をクリックします。

④［ポート番号］に、Web ポート番号を入力します。

⑤［OK］をクリックします。

コメントを追加する

OKI LPR ユーティリティに追加したプリンタへ､コメントを追加することができます。

メモ　プリンタの設置場所、プリンタのオプション装置などを入力すると便利です。

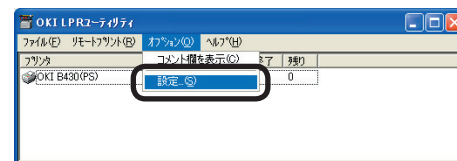
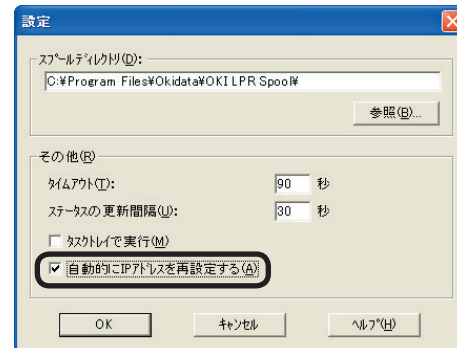
❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［コメント］にコメントを入力し、［OK］をクリックします。

❹［オプション］メニューの［コメント欄を表示］を選択します。

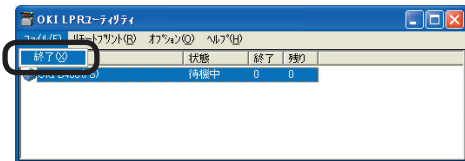
自動的に IP アドレス再設定

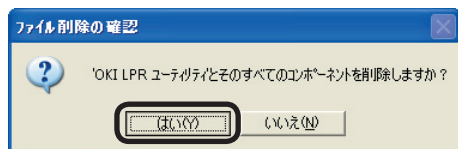
DHCP サーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタの IP アドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

検索対象は、OKI LPR ユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付けます。

❸［OK］をクリックします。

削除します

❶［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティの削除］を選択します。

❸［はい］をクリックします。

削除が開始されます。

Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

Windows Vista/XP/2000/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IP のネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的に Network Extension がインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  OKI LPR Port
  Standard TCP/IP Port
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

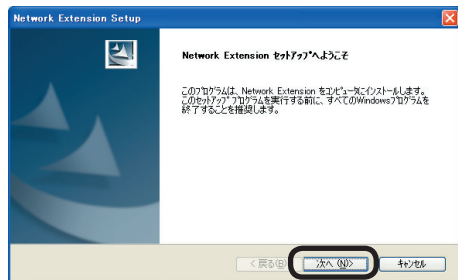
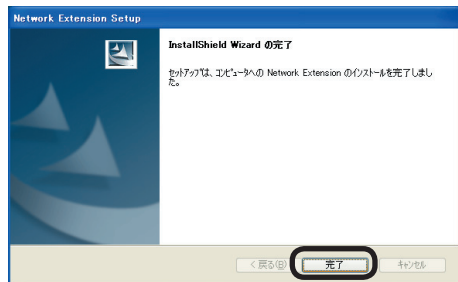
セットアップブログラムが起動します。

- Windows Vista で、[自動再生]が表示されたら［Startup.exe の実行］をクリックします。
- Windows Vista で、[ユーザアカウント制御］が表示されたら、[続行]をクリックします。

❸ B430 プリンタの画像をクリックします。

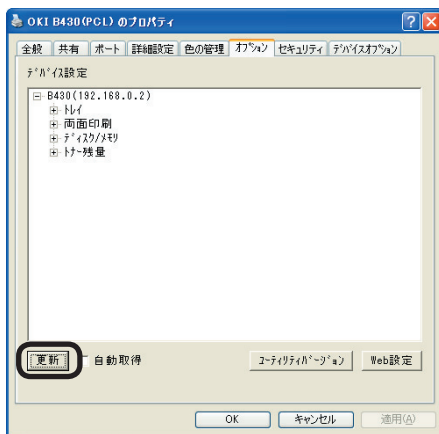
❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する］をクリックします。

❺［ソフトウェアセットアップ］をクリックします。

❻［Network Extension のインストール］をクリックします。

❼［次へ］をクリックします。

❽［完了］をクリックします。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

（Windows XP PCL ドライバの画面）

❶ Windows Vista では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI B430(PS)］または［OKI B430(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［オプション］タブをクリックします。

❹［更新］をクリックします。
「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

❺［OK］をクリックします。

［Web 設定］をクリックすると、自動的に Web ブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Web ブラウザ」(56 ページ）をご覧ください。

3

Network Extension

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

(Windows XP PCL ドライバの画面)

❶ Windows Vista では[スタート] - [コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP/Server 2003 では [スタート] - [プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷ [OKI B430(PS)] または[OKI B430(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスオプション](B430dn PS ドライバの場合は [デバイスの設定]) タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する] をクリックします。(B430dn PS ドライバの場合は、[プリンタの情報を取得する] をクリックし、[セットアップ] をクリックします。)

❺ [OK] をクリックします。

削除します

Windows Vista の場合

❶ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

❷ [OKI Network Extension] を選択し、[アンインストール] をクリックします。

❸ [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

❹ 画面に従って削除します。

Windows XP/Server 2003 の場合

❶ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

❷ [OKI Network Extension] を選択し、[削除] をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

Windows 2000 の場合

❶ [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。

❷ [OKI Network Extension] を選択し、[変更と削除] をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition

ネットワークにつながっているプリンタを管理するためのWebベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1台のコンピュータにPrintSuperVisionをインストールし、他のコンピュータからWebブラウザを使用して、リモートでPrintSuperVision MultiPlatform Editionにアクセスします。

- PrintSuperVision MultiPlatform Editionは「プリンタソフトウェアCD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- インストール方法，操作方法については、「PSV MEユーザーズマニュアル」をご覧ください。
- 「PSV MEユーザーズマニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

動作環境

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ

- Red Hat Enterprise Linux 2.1
- Red Hat Enterprise Linux 3
- Novell SUSE LINUX Professional 9.1
- Novell SUSE LINUX Professional 9.2
- Novell SUSE LINUX Desktop 9
- Novell SUSE LINUX Enterprise Server 9
- Turbolinux 10 Desktop
- Turbolinux 10 Server
- Sun Microsystems Solaris 9 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 10 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 9 (UltraSPARC)
- Sun Microsystems Solaris 10 (UltraSPARC)
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Server 2003
- Sun Java System Application Server Platform Edition8がインストールされているコンピュータまたは、インストール可能なコンピュータ
- TCP/IPで動作するコンピュータ

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ

- 以下のブラウザのうちのいずれかがインストールされているコンピュータ
  Microsoft Internet Explorer Ver 5.5以上
  Microsoft Internet Explorer for PocketPC2002以上
  Firefox Ver 1.0以上
  Mozilla Ver 1.2以上
  Safari Ver 1.1以上
- TCP/IPで動作しているコンピュータ

- PSV MEアプリケーションは、上記のブラウザがサポートするどのWindows､Macintosh､Unix､Linuxデスクトップからでもアクセスする事ができます。
- お使いのブラウザのキャッシュ機能を無効にすると安全です。
- PSV MEは通信の為にポート25(SMTP)､110(POP3)､995(POP3S)､161(SNMP)､162(SNMP-Trap)､8080(HTTP)､1043(HTTPS)､及び50702(PrintSuperVisor［デーモン］)を使用します。お使いの環境のファイアウォールはこれらのポートに対するアクセスを許可する設定がなされている必要があります。
- PSV MEのインストールプログラムは、256色800x600の解像度以上の能力を持つビデオアダプタが必要です。
- アプリケーションについての補足情報に関しては、オンラインヘルプを参照してください。
- PSV MEはPrintSuperVision 1.2.xと互換性はありません。
- Windows Vista/Windows Vista (x64版)では動作しません。

Web Driver Installer

- Web Driver Installer は「プリンタソフトウェア CD-ROM」には格納されておりません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- Web Driver Installer のインストール方法，操作方法については、Web Driver Installer のマニュアルを参照してください。
- Web Driver Installer のマニュアルは、沖データホームページから入手できます。

Web Driver Installer とは

Web Driver Installer は、Web ベースのアプリケーションです。以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- TCP/IP ネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索したプリンタを Web ページに表示します。
- ユーザに検索したプリンタのプリンタドライバインストールプログラムがダウンロードできる URL を e-mail で通知します。

また、部門やフロアごとにグループを作成してプリンタとユーザを管理できます。

特徴

グループ管理

Windows エクスプローラのように、プリンタやユーザを階層的に管理することができます。

自動検索機能

Web Driver Installer は、ネットワーク上に新しく接続されたプリンタがあるかを一定時間間隔で検索します。この間隔は、管理者が 5 分から 2 週間の間で設定します。この機能は、無効にすることもできます。無効にした場合、管理者は手動で検索する必要があります。
Web Driver Installer に登録されているプリンタドライバがサポートしているプリンタを検出した場合に、ユーザに e-mail を送信します。

プリンタドライバ登録機能

Web Driver Installer にはあらかじめ、登録できるプリンタとプリンタドライバの種類が記憶されています。管理者は、Web Driver Installer の運用を開始する前に TCP/IP ネットワーク上に接続されているプリンタのためのプリンタドライバを登録できます。また、運用中に自動検索機能により、新しく検索されたプリンタのプリンタドライバが登録されていないことを通知する e-mail を受け、e-mail に記載されているプリンタドライバを登録できます。
この作業は、Web Driver Installer をインストールしたサーバコンピュータ上で行う必要があります。

e-mail 送信機能

Web Driver Installer は、登録されているユーザに自動的に e-mail を送信します。

プリンタドライバインストール機能

ユーザは Web ブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
また、e-mail による［プリンタの追加］通知に記載されている URL へアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ(以下、サーバコンピュータと略す)

Windows Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000/ Windows NT4.0(サービスパック6a)日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 4 以上がインストールされているコンピュータ

サーバコンピュータから Web Driver Installer に Web ブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5 以上または、Netscape Navigator 6.0 以上が必要です。
Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installer のインストール前に Microsoft のホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installer をインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、TCP ポート番号と、サイトを変更すると Web Driver Installer は動作しません。
- Windows NT4.0 では、64bit版Windows用のドライバの登録、および配布をサポートしていません。
- Windows XP、Windows Server 2003 をお使いの場合は Web Driver Installer ユーザーズマニュアルの「Windows XP Service Pack2、Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項」をご覧ください。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ(以下、クライアントコンピュータと略す)

Windows 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Internet Explorer 5.5 以上または Netscape Navigator 6.0 以上がインストールされているコンピュータ
e-mail が受信できるように設定されているコンピュータ
OKI LPR ユーティリティのバージョン 3.08 以上がインストールされているコンピュータ
また、Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

- Web Driver Installer の「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- Windows Vista/Windows Vista(x64版)では動作しません。

ネットワークステータスモニタ

ネットワークにつながっているプリンタの状態を監視することができます。

ネットワークステータスモニタは「プリンタソフトウェア CD-ROM」には格納されておりません。沖データホームページからダウンロードしてください。

動作環境

Windows Vista/XP/2000/Server 2003 日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ
Microsoft Internet Explorer Ver.4.0 以上がインストールされているコンピュータ

セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	:	Windows XP Home Edition
プリンタ	:	B430dn
IP アドレス	:	192.168.0.2

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

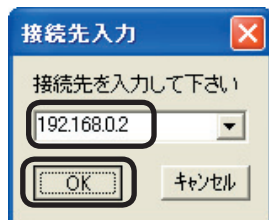
❷ 沖データホームページよりダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、セットアッププログラムが起動します。

❸ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](Windows 2000 では[プログラム])-[沖データ]-[ネットワークステータスモニタ]-[ネットワークステータスモニタ]を選択します。

❷ 接続するプリンタの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

メモ
- 複数のプリンタに接続したい場合は、手順❶～❷を繰り返します。
- すでにネットワークステータスモニタを起動してプリンタに接続している場合は、以前入力した IP アドレスが表示されます。

削除します

❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] (Windows 2000 では [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除]) を選択します。

❷ [OKI Network Status Monitor] を選択し、画面に従い削除します。

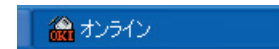
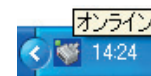
設定メニュー

[接続先変更]
接続したいプリンタのIPアドレスを入力して、接続しているプリンタを変更します。

[監視時間変更]
値を入力して監視間隔を変更します。初期値は5秒です。9桁までの数字を入力してください。0秒は設定できません。

表示メニュー

[最小化表示]
最小化時の表示状態を設定します。[タスクバー]、[アイコン]が選択できます。

・タスクバー設定時の表示

・アイコン設定時の表示

[サブウィンドウ]
詳細なステータス表示をするかしないかを設定します。

[ポップアップ]
接続しているプリンタにエラーが発生した場合、最小化状態からポップアップし、プリンタの状態を表示するかしないかを設定します。

Web ブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.x の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [プライバシー] - [設定] を「中」に設定します。

Netscape Navigator 6.x ～ 7 の場合は、[編集] メニューの [設定] - [プライバシーとセキュリティ] - [Cookie] - [すべての Cookie を有効にする] に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: B430dn
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
MAC アドレス	: 00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

MAC アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（182 ページ）

起動します

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）　正しい入力値：http://192.168.0.2/
　　　　誤った入力値：http://192.168.000.002/

設定します

注 Web ブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。MAC アドレスは、手順❶の画面に表示されています。

❸ ネットワーク上で確認できるプリンタ情報を設定し、［OK］または［スキップ］をクリックします。

- ［スキップ］をクリックすると、設定を省略できます。
- ［次回からこのページを表示しない］にチェックを付けて、［OK］または［スキップ］をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

❹ 下の画面が表示されます。

パスワードの設定

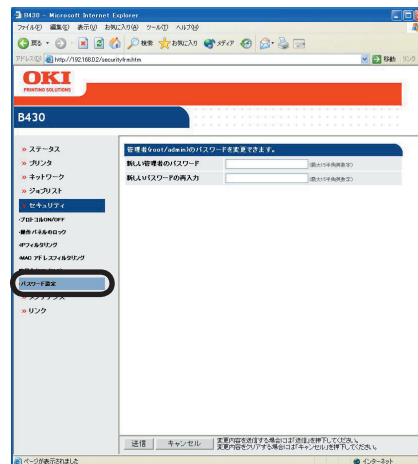
プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。MAC アドレスは、手順❶の画面に表示されています。

❸［セキュリティ］タブをクリックします。

❹［パスワード設定］をクリックします。

❺［新しい管理者のパスワード］に新しいパスワードを入力し、［新しいパスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

- パスワードを入力すると、画面上では「●●●●●」と表示されます。
- パスワードは 0 ～ 15 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❻［送信］をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、以下の画面が表示されます。

❼プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

このパスワードは TELNET、AdminManager のパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、AdminManager のパスワードも変更されます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[一般プリンタ設定]
ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

[印刷メニュー]
コピー枚数、自動トレイ切り替え、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[用紙メニュー]
各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[プリンタ構成メニュー]
パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

[エミュレーション]
サポートしているエミュレーションを設定できます。

[インタフェースメニュー]
ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

[メモリメニュー]
受信バッファサイズの設定。フラッシュメモリに保存されたデータの消去を実行します。

[保存 / 復元]
現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。

プリンタタブのメニュー設定が対象となります。

[Hex ダンプ]
受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

[設定印刷]
ネットワーク設定情報（Network Information）、デモページ等を印刷します。

ステータス　タブ

[プリンタステータス]
プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他､「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。
また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されている IP アドレスも確認することができます。

[プリンタ詳細情報]
プリンタのシステム情報を確認することができます。

[ネットワーク詳細情報]
ネットワークの設定情報を確認することができます。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[一般ネットワーク設定]
使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。

[TCP/IP]
TCP/IP に関する情報を設定できます。

[NetWare]
NetWare に関する情報を設定できます。

[EtherTalk]
EtherTalk に関する情報を設定できます。

[NetBEUI]
NetBEUI/WINS に関する情報を設定できます。

[Email]
プリンタに発生した事象を Email で通知する機能を設定できます。

[SNMP]
SNMP に関する情報を設定できます。

[IPP]
IPP 印刷をする機能を設定できます。

[SNTP]
プリンタに時刻を設定することができます。

[IEEE802.1X]
IEEE802.1X/EAP に関する情報を設定できます。

ジョブリスト　タブ

[表示項目設定]
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

3
Web ブラウザ

セキュリティ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［プロトコル ON/OFF］
使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。

［操作パネルのロック］
操作パネルの操作を禁止状態に設定します。

［IP フィルタリング］
TCP/IP によるアクセスを制限することができます。「IP アドレスでのアクセス制限（IP フィルタ）を使います」、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は IP アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［MAC アドレスフィルタリング ］
MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。
「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［暗号化（SSL/TLS）］
Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）ープリンタ間の通信を暗号化できます。

［パスワード設定］
管理者のパスワードを変更します。パスワードの初期値は MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[再起動 / 初期化]

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

プリンタの初期化

プリンタを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、手動で設定した情報は失われてしまいます。

ネットワークの初期化

ネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Page も表示できなくなります。

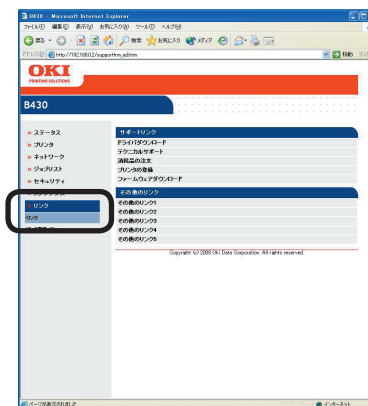
[LAN の規模の設定]

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つ HUB を使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを 1 対 1 で接続する場合などに効果を発揮します。

[時刻設定]

プリンタに時刻を設定することができます。

リンク　タブ

[リンク]

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

[リンク編集メニュー]

管理者が好きな URL を設定できます。
サポートリンクを 5 件、その他リンクを 5 件登録できます。
URL は、http:// も含めて入力してください。

ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を Web ブラウザで確認できます。

「Web ブラウザ」の「動作環境」（56 ページ）を確認してください。

機能説明

プリンタ状態アイコン	詳　細
（緑）	エラーなし / オンライン
（黄）	軽障害（印刷は可能）
（赤）	重障害（印刷は不可能）
（灰）	オフライン

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

〈カバーが開いている場合〉

TELNET

プリンタの各ネットワークプロトコルの設定ができます。

設定します

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　: Windows XP Professional
プリンタ　: B430dn
IP アドレス　: 192.168.0.2
MAC Address　: 00:80:87:84:9C:9B

注 MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（182 ページ）

❶ Windows のコマンドプロンプトを起動します。

❷ ping コマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

❸ telnet でプリンタに接続します。

注 ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「MAC Address の英数字下 6 桁」です。

```
telnet 192.168.0.2

B430 TELNET Server (Ver 01.01).

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  M E N U (level.1)
-----------------------------------------------------------------
  1 : Status / Information
  2 : Printer Config
  3 : Network Config
  4 : Security Config
  5 : Maintenance
 99 : Exit Setup
Please select(1 - 99)?
```

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

ストレージデバイスマネージャ

プリンタのフラッシュメモリの設定、フォームデータの登録や削除をするユーティリティです。

ストレージデバイスマネージャは「プリンタソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

動作環境

Windows XP(32bit版)/2000/Server 2003(32bit版)日本語版の動作するコンピュータ
InternetExplorer4.0 以上がインストールされていること

- Windows XP(x64版)/Server 2003(x64版)では使用できません。
- Windows Vista/Windows Vista(x64版)では動作しません。

インストールします

❶ 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、インストーラが起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

❶ [スタート] - [すべてのプログラム](Windows 2000 では [プログラム]) - [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

詳しくは
- 「フォームを登録したい(フォームオーバーレイ)」(121 ページ)
- 「フラッシュメモリを初期化したい」(161 ページ)
- 「フラッシュメモリの空き容量を確認したい(Windows)」(159 ページ)

をご覧ください。

プリントジョブアカウンティング Lite

プリントジョブアカウンティング Lite は、印刷ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うソフトウェアです。

プリントジョブアカウンティング Lite は「プリンタソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

動作環境

Windows Vista(32bit版)/XP(32bit版)/2000/Server 2003(32bit版)日本語版の動作するコンピュータ

Windows Vista(x64 版)/XP(x64 版)/Server 2003(x64 版) では使用できません。

インストールします

❶ 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、インストーラが起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

❶ [スタート] - [すべてのプログラム](Windows 2000 では [プログラム]) - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティング Lite] - [プリントジョブアカウンティング Lite] を選択します。

詳しくは「操作マニュアル」をご覧ください。「操作マニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

- 工場出荷時の状態での保存可能ログ数につきましては、「プリントジョブアカウンティングの使用について」(277 ページ) をご覧ください。
- プリントジョブアカウンティング Lite では、ユーザ ID を登録することはできません。

PS ハーフトーン調整ユーティリティ

プリンタのハーフトーン濃度を調整し、写真の印刷濃度を調整できます。

動作環境

Windows XP/2000/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ

 セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

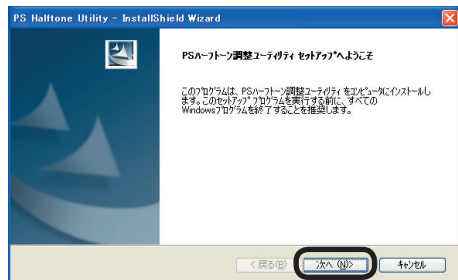
❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

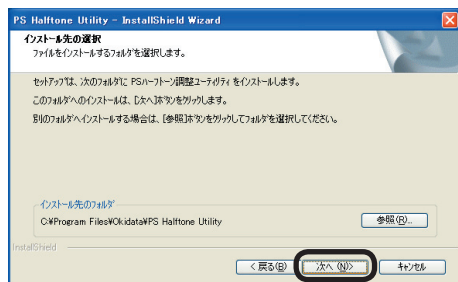
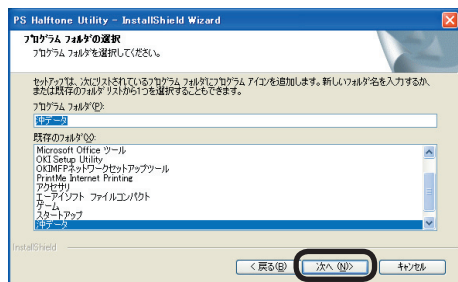
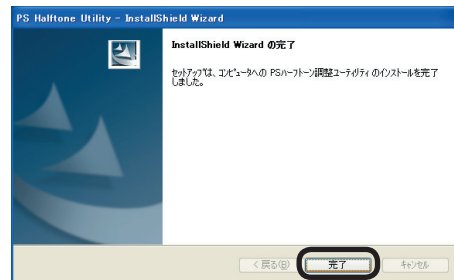
セットアッププログラムが起動します。

❸ B430 プリンタの画像をクリックします。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺［ソフトウェアセットアップ］をクリックします。

❻［PS ハーフトーン調整ユーティリティのインストール］をクリックします。

❼［次へ］をクリックします。

❽ インストール先を確認し、［次へ］をクリックします。

❾ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

❿［完了］をクリックします。

起動します

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

詳しくは
- 「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（145 ページ）

をご覧ください。

4 Macintosh ソフトウェア

MicrolinePS Utility

以下の設定を Macintosh で行うユーティリティです。

- ウェイトタイム、パワーセーブなどプリンタの操作パネルで行う各機能
- プリンタ名 / ゾーン名の変更
- ファイルのダウンロード
- フォントリスト表示
- フォントの置き換え
- ハーフトーン調整
- パネル言語ファイルのダウンロード

動作環境

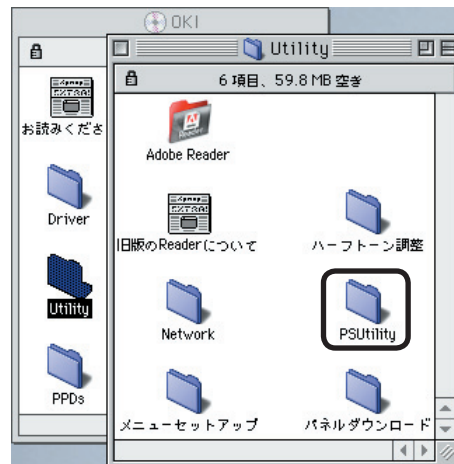
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk インタフェースを搭載している機種
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

Mac OS X では利用できません。

インストールします

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸［PSUtility］フォルダを開きます。

❹［PSUtility］フォルダ内の PSUtil for MacOS をダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで［LaserWriter8］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。
USB 接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

❷ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]フォルダ内の[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

MicrolinePS Utility

詳しくは

- 「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」（154 ページ）
- 「EtherTalk プリンタ名を変更したい」（222 ページ）
- 「EtherTalk ゾーンを変更したい」（223 ページ）
- 「プリンタ内蔵フォントを確認したい」（155 ページ）
- 「ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい」（143 ページ）
- 「プリンタフォントに置き換えて印刷したい」（133 ページ）
- 「コンピュータのフォントで印刷したい」（135 ページ）
- 「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（145 ページ）
- 「操作パネルの表示言語を変更したい」（166 ページ）

をご覧ください。

PS ハーフトーン調整ユーティリティ

以下の設定を Mac OS X で行うユーティリティです。

- ハーフトーン調整

動作環境

Mac OS X 10.2 ～ 10.5.2 日本語版が動作する Macintosh

MacOS 9.0 から 9.2.2 では利用できません。

インストールします

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸［ハーフトーン調整］フォルダを開きます。

❹ Halftone for MacOSX をダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

［アプリケーション］-［OKIDATA］-［Halftone］フォルダ内の［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

詳しくは

- 「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（145 ページ）

をご覧ください。

Web ブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Safari、Microsoft Internet Explorer Ver.5.1 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：B430dn
プリンタの IP アドレス	：192.168.0.2
MAC アドレス	：00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ	：Safari ver.2.0

起動します

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例） 正しい入力値： http://192.168.0.2/
　　　誤った入力値： http://192.168.000.002/

設定します

注 Web ブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［名前］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❶の画面に表示されています。

❸ プリンタ情報を設定し、[OK] をクリックします。または [スキップ] をクリックします。

注

- [スキップ] をクリックすると、設定を省略できます。
- [次回からこのページを表示しない] にチェックを付けて [OK] または [スキップ] をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

❹ 下の画面が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［名前］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❶の画面に表示されています。

❸［セキュリティ］タブをクリックします。

❹［パスワード設定］をクリックします。

❺［新しい管理者のパスワード］に新しいパスワードを入力し、［新しいパスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは 0 ～ 15 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❻［送信］をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、下の画面が表示されます。

❼プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

このパスワードは TELNET、Setup Utility のパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、Setup Utility のパスワードも変更されます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[一般プリンタ設定]

ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

[印刷メニュー]

コピー枚数、自動トレイ切り替え、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[用紙メニュー]

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[プリンタ構成メニュー]

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

[エミュレーション]

サポートしているエミュレーションを設定できます。

[インタフェースメニュー]

ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

[メモリメニュー]

受信バッファサイズの設定。フラッシュメモリに保存されたデータの消去を実行します。

[保存 / 復元]

現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。

プリンタタブのメニュー設定が対象となります。

[Hex ダンプ]

受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

[設定印刷]

ネットワーク設定情報（Network Information）、デモページ等を印刷します。

ステータス　タブ

[プリンタステータス]

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されている IP アドレスも確認することができます。

[プリンタ詳細情報]

プリンタのシステム情報を確認することができます。

[ネットワーク詳細情報]

ネットワークの設定情報を確認することができます。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[一般ネットワーク設定]
使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。

[TCP/IP]
TCP/IP に関する情報を設定できます。

[NetWare]
NetWare に関する情報を設定できます。

[EtherTalk]
EtherTalk に関する情報を設定できます。

[NetBEUI]
NetBEUI に関する情報を設定できます。

[Email]
プリンタに発生した事象を Email で通知する機能を設定できます。

[SNMP]
プリンタに発生した事象を SNMP で通知する機能を設定できます。

[IPP]
IPP 印刷をする機能を設定できます。

[SNTP]
プリンタに時刻を設定することができます。

[IEEE802.1X]
IEEE802.1X/EAP に関する情報を設定できます。

ジョブリスト　タブ

[表示項目設定]
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

セキュリティ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[プロトコル ON/OFF]
使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。

[操作パネルのロック]
操作パネルの操作を禁止状態に設定します。

[IP フィルタリング]
TCP/IP によるアクセスを制限することができます。「IP アドレスでのアクセス制限（IP フィルタ）を使います」、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は IP アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

[MAC アドレスフィルタリング]
MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

[暗号化（SSL/TLS）]
Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）ープリンタ間の通信を暗号化できます。

[パスワード設定]
管理者のパスワードを変更します。パスワードの初期値は MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[再起動 / 初期化]

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web Page は表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web Page は表示されません。

プリンタの初期化

プリンタを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、手動で設定した情報は失われてしまいます。

ネットワークの初期化

ネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Page も表示できなくなってしまいます。

[LAN の規模の設定]

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つ HUB を使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを 1 対 1 で接続する場合などに効果を発揮します。

[時刻設定]

プリンタに時刻を設定することができます。

リンク　タブ

[リンク]

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

[リンク編集メニュー]

管理者が好きな URL を設定できます。

サポートリンクを 5 件、その他リンクを 5 件登録できます。

URL は、http:// も含めて入力してください。

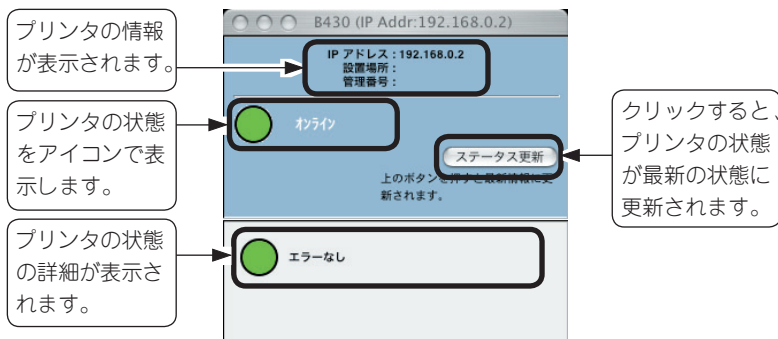
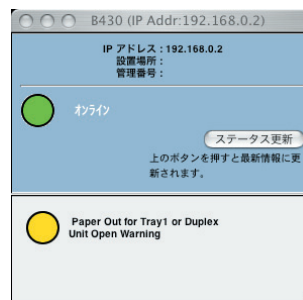
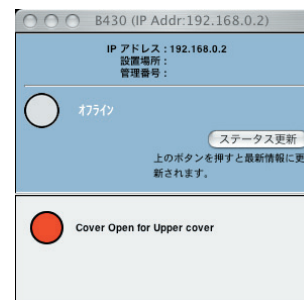
ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を Web ブラウザで確認できます。

「Web ブラウザ」の「動作環境」(73 ページ)を確認してください。

機能説明

プリンタ状態アイコン	詳　細
(緑)	エラーなし / オンライン
(黄)	軽障害(印刷は可能)
(赤)	重障害(印刷は不可能)
(灰)	オフライン

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

〈カバーが開いている場合〉

Setup Utility

プリンタのネットワークの設定ができます。

Mac OS 9.0 ～ 9.2.2 日本語版

動作環境

MacOS 9.0 ～ 9.2.2 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。[コントロールパネル]-[TCP/IP]で設定を行ってください。

起動します

すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

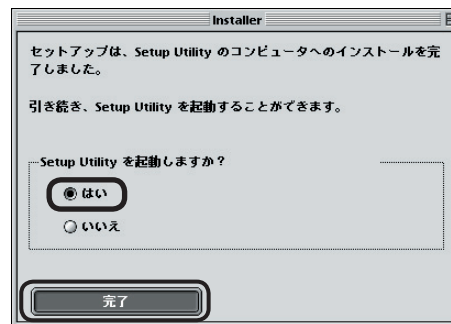
❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ Macintosh が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ [Utility] - [Network] - [Mac OS] フォルダの中の [Installer] をダブルクリックします。

❹ [Japanese] を選択し、[OK] をクリックします。

❺ インストール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

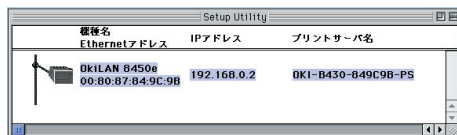
初期設定では、Macintosh HD の[Oki Tools]フォルダにインストールされます。

❻ [Setup Utility を起動しますか?] で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

Setup Utility が起動します。

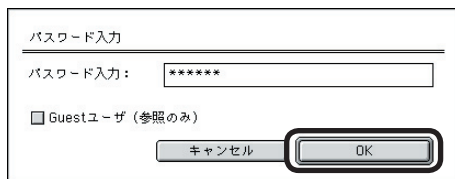
Oki Device の設定

各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（170 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、B430dn の代わりに OkiLAN 8450e と表示されます。

注 Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（182 ページ）

❷［設定］メニューの［Oki Device の設定］を選択します。

❸［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの英数字下 6 桁］を入力し、[OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順❶で選択した「イーサネットアドレス」の英数字下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を設定し、［設定］をクリックします。

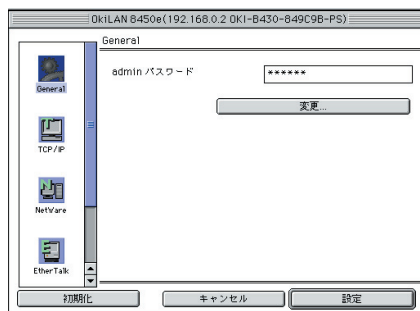
❺ 設定に間違いがなければ、[OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

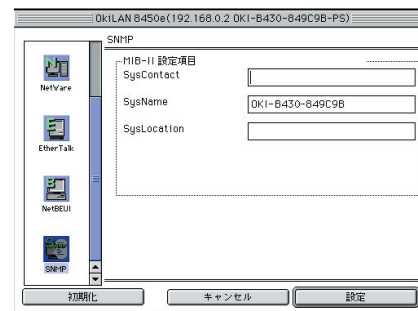
❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

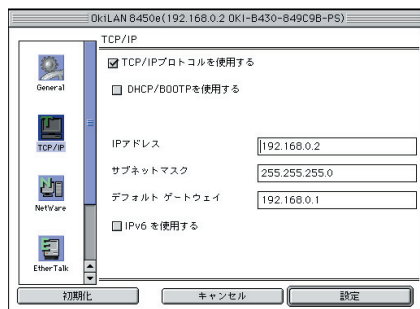
注 リブート後、プリンタは新しい設定値で動作します。

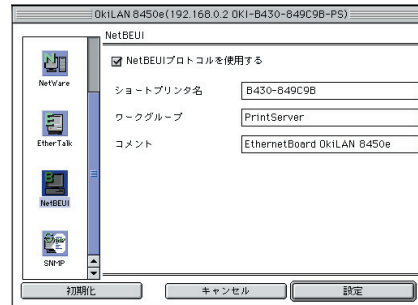
❼ Setup Utility を終了します。

General

パスワードを変更します。

EtherTalk

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

SNMP

SNMP を利用する場合に設定します。

TCP/IP

IP アドレスなどの設定をします。

NetBEUI

NetBEUI を利用する場合に設定します。

Mac OS X 日本語版

動作環境

Mac OS X 10.2 ～ 10.5.2 日本語版
TCP/IP が動作している Macintosh

Macintosh に TCP/IP の設定が必要です。[コントロールパネル]-[TCP/IP]で設定を行ってください。

起動します

注 すでに Setup Utility がインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

❶ プリンタの電源が ON になっていることを確認します。

❷ Macintosh が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ [Utility] - [Network] - [Mac OS X] フォルダの中の [Installer] をダブルクリックします。

❹ インストール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。

初期設定では、ログインユーザのホームディレクトリの[Oki Tools]フォルダにインストールされます。

❺ [Setup Utility を起動しますか？] で [はい] を選択し、[完了] をクリックします。

Setup Utility が起動します。

Oki Device の設定

各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（170 ページ）をご覧ください。

❶ 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、B430dn の代わりに OkiLAN 8450e と表示されます。

注 Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として表示されています。（182 ページ）

❷［設定］メニューの［Oki Device の設定］を選択します。

❸［パスワード入力］に［Ethernet アドレスの英数字下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernet アドレス」の英数字下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を設定し、［設定］をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 リブート後、プリンタは新しい設定値で動作します。

❼ Setup Utility を終了します。

General

パスワードを変更します。

EtherTalk

EtherTalk プリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

SNMP

SNMP を利用する場合に設定します。

TCP/IP

IP アドレスなどの設定をします。

NetBEUI

NetBEUI を利用する場合に設定します。

プリンタ表示言語セットアップ

Macintosh 上で、プリンタの操作パネルの表示やメニュー印刷に使用する言語を設定します。

動作環境

Mac OS X 10.2 ～ 10.5.2（日本語版）

MacOS9 ではご使用になれません。

インストールします

画面は Mac OS X 10.4 を例にしています。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸［パネルダウンロード］フォルダを開きます。

❹ OPLangDW-J for MacOSX をダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

（起動ディスク）：アプリケーション：OKIDATA：Operator Panel Language Setup：［機種名フォルダ］：プリンタ表示言語セットアップをダブルクリックします。

詳しくは

• 「操作パネルの表示言語を変更したい（Macintosh）」（166 ページ）

をご覧ください。

5 いろいろな用紙に印刷するための設定

- この章では、Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］、Mac OS X では［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

はがき、往復はがき、封筒はマルチパーパストレイから印刷することができます。

- はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。
- 用紙をセットするまでの時間がシステムコウセイメニューのテサシタイム（工場出荷時の設定値は 1 分）を過ぎるとジョブは自動的に破棄されます。（マルチパーパストレイを手差しとして扱って印刷した場合）

1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

❶ マルチパーパストレイに用紙をセットし、左右の手差しガイドを合わせます。

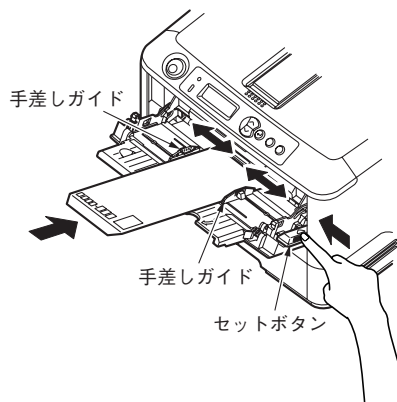
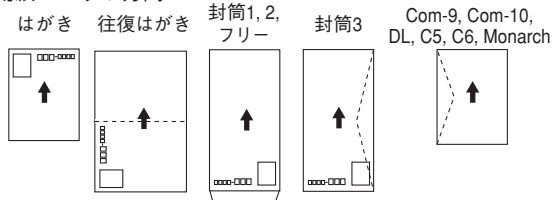
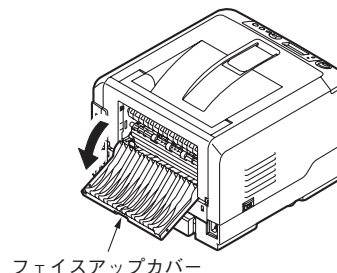
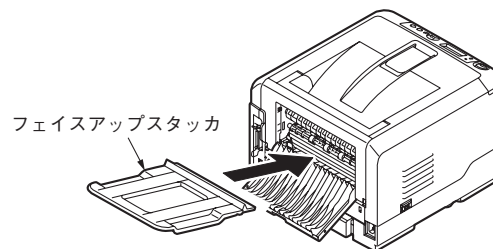
❷ セットボタンを押します。

用紙のセット方向

2 フェイスアップカバーを開きます。

3 フェイスアップスタッカを取り付けます。

5

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

4 用紙サイズと用紙厚を設定します。

ここでは、はがきに設定する手順を説明します。

操作パネルを使用して設定します。

❶ または ボタンを数回押し、[メディアメニュー] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❷ または ボタンを数回押し、[MP　トレイ　ヨウシサイズ／A4] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❸ または ボタンを押し、[ハガキ] を表示します。

❹ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に [✱] を付けます。

❺ 「戻る」ボタンを押し、 または ボタンを数回押し、[MP　トレイ　メディアウエイト／フツウシ] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❻ または ボタンを押し、[ヨリアツイカミ] を表示します。

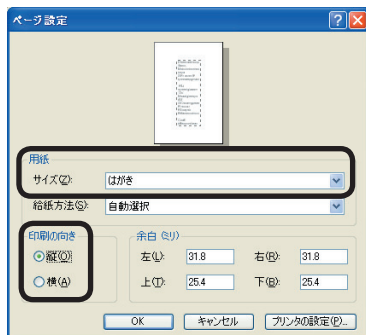
❼ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に [✱] を付けます。

❽ 「オンライン」ボタンを押し、[オンライン] にします。

5 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

6 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

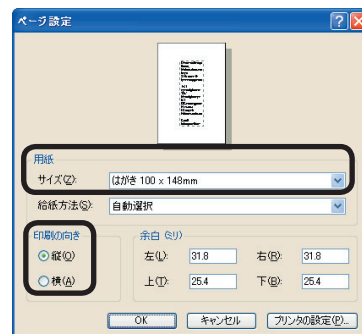
❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

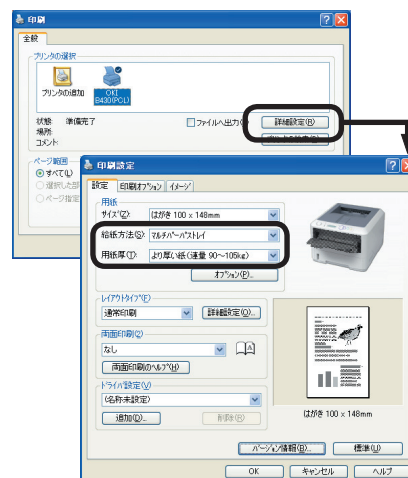
❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

- 封筒 1 ～ 4 で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒 1 ～ 4 で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［用紙 / 品質］タブの［詳細設定］をクリックして［180°］で［回転あり］を選択します。

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または封筒サイズ、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh PS（LaserWriter8）プリンタドライバをお使いの方

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒1］～［封筒4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

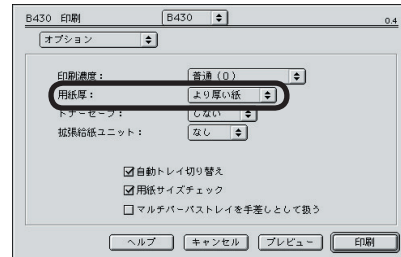
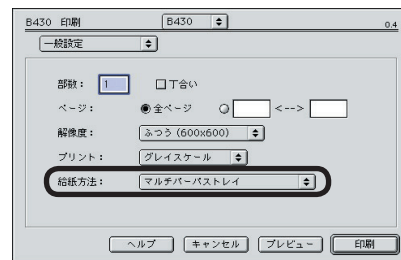
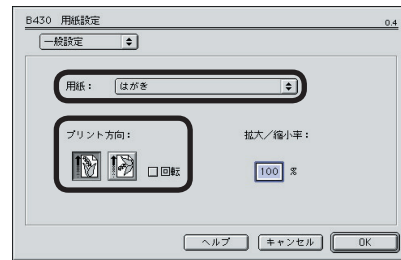
❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ

- 封筒１～４で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で横方向を選択します。
- 封筒１～４で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［ジョブオプション］パネルで［180°］にチェックを付けます。

❺ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Macintosh PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［はがき］、［往復はがき］または封筒サイズ、［プリント方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［オプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

❻ ［印刷］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し､［用紙サイズ］で［はがき］､［往復はがき］または封筒サイズ､［方向］で適切な方向を選択し､［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

- 封筒１～４で､縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合､180゜逆に印刷される制限があります。
- 封筒１～４で､横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合､「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。

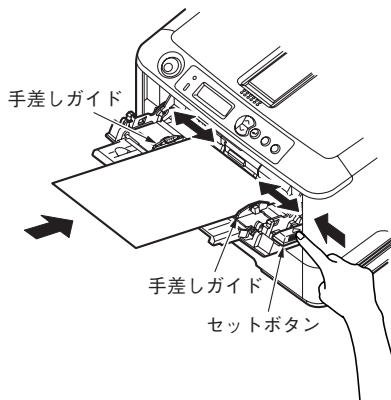
❺ PCL プリンタドライバをお使いの方は､［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログにプリンタオプションが表示されていない場合は､［プリンタ］ポップアップメニューの横にある◆三角ボタンをクリックしてください。

❻［プリント］をクリックし､印刷します。

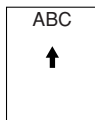
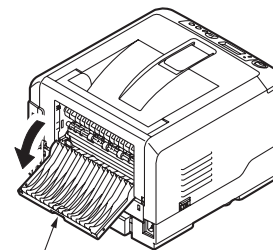
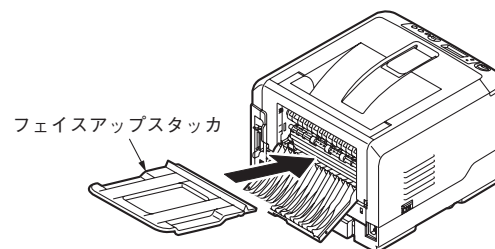
ラベル紙、OHP シートに印刷したい

ラベル紙、OHP シートはマルチパーパストレイから印刷することができます。

- ラベル紙、OHP シートは用紙カセットからの印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。
- 用紙をセットするまでの時間がシステムコウセイメニューのテサシタイム（工場出荷時の設定値は 1 分）を過ぎるとジョブは自動的に破棄されます。（マルチパーパストレイを手差しとして扱って印刷した場合）

1 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

❶ マルチパーパストレイに用紙をセットし、左右の手差しガイドを合わせます。

❷ セットボタンを押します。

用紙のセット方向

2 フェイスアップカバーを開きます。

3 フェイスアップスタッカを取り付けます。

4 用紙サイズと用紙厚を設定します。

ここでは、ラベル紙に設定する手順を説明します。

操作パネルを使用して設定します。

❶ ボタンを数回押し、[メディアメニュー] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❷ または ボタンを数回押し、[MP　トレイ　メディアタイプ／フツウシ] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❸ または ボタンを押し、[ラベルシ] を表示します。

❹「設定」ボタンを押し、設定値の右側に [*] を付けます。

❺「戻る」ボタンを押し、 または ボタンを数回押し、[MP　トレイ　メディアウエイト／フツウシ] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❻ または ボタンを押し、[ヨリアツイカミ] を表示します。

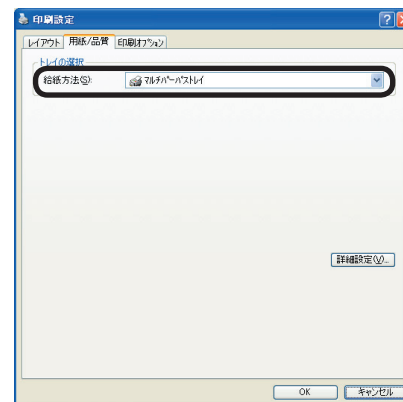
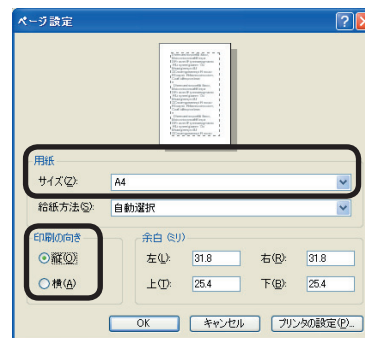
❼「設定」ボタンを押し、設定値の右側に [*] を付けます。

❽「オンライン」ボタンを押し、[オンライン] にします。

5 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

6 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル]メニューの [ページ設定]を選択します。

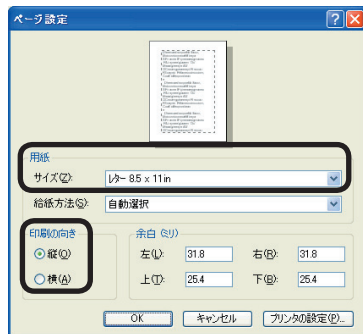
❷ [サイズ] で [A4] または [レター]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。

❹ [詳細設定] をクリックします。(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❺ [用紙 / 品質] タブの [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択し、[OK] をクリックします。(Windows 2000 では、[OK] をクリックする必要はありません。)

❻「印刷」画面で [印刷] をクリックし、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［レター］または［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

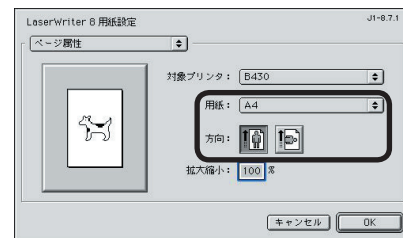
❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［OK］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

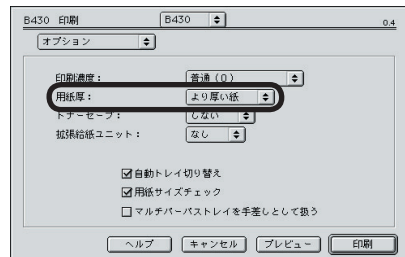
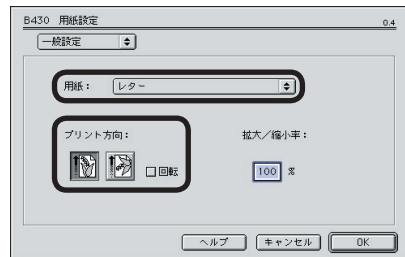
Macintosh PS（LaserWriter8）プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［プリント］をクリックし、印刷します。

Macintosh PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［レター］または［A4］、［プリント方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

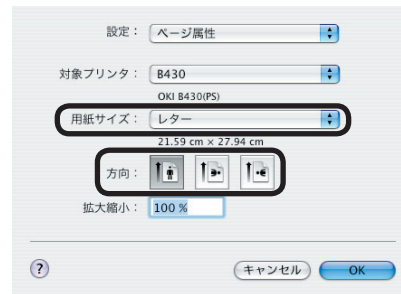
❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［オプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

メモ　イーサネット接続の場合は、［オプション］パネルに［拡張給紙ユニット］は表示されません。

❻［印刷］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［レター］または［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択します。

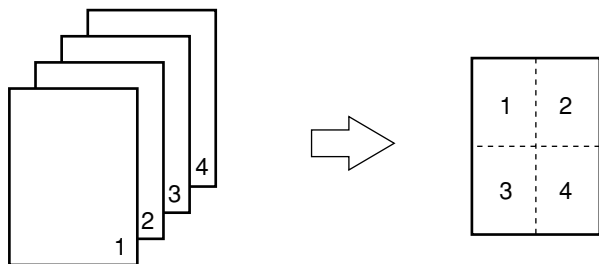
メモ　Mac OS X 10.5で［プリント］ダイアログにプリンタオプションが表示されていない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある⬍三角ボタンをクリックしてください。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

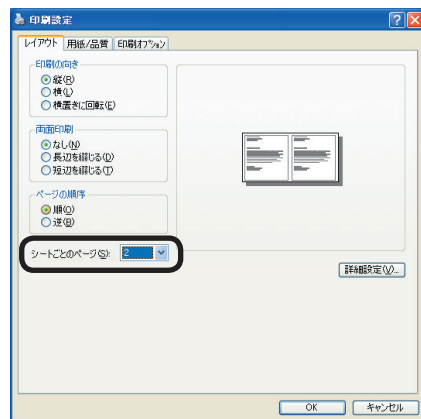
6 便利な印刷機能

- この章では、Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［SimpleText］、Mac OS X では［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

複数ページを 1 枚に印刷したい

複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

注

- この機能は、データを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合や印刷が薄くなる場合があります。
- Macintosh の［レイアウト］パネルは［プリント］ダイアログでも選択できます。
- とじ代の値を変更すると、とじ代の幅に合わせてページ全体を縮小して印刷するため他の辺の余白も大きくなります。

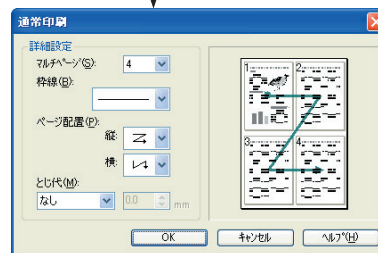
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［シートごとのページ］を選択します。

Windows Vista をお使いの方は、必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。また「詳細設定」-「シートごとのページレイアウト」でページ配置を変更することもできます。

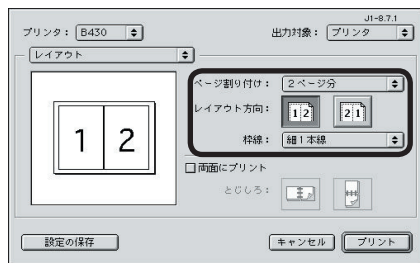
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に 0 ～ 30mm まで設定できます。

Macintosh PS (LaserWriter8) プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

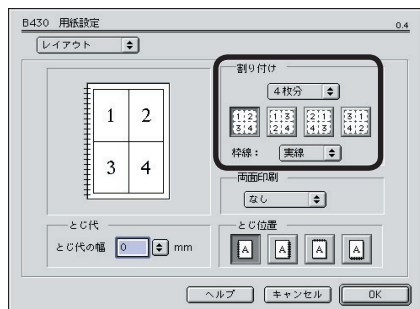
❸ [レイアウト] パネルの [ページ割り付け]、[レイアウト方向]、[枠線] を選択します。

ページ割り付け

割り付けるページ数、配置を選択します。
必ず [2ページ分]、[4ページ分] …を選択してください。[4 (縦方向)]、[6 (縦方向)] …は選択しないでください。

枠線

各ページを枠線で囲むことができます。

Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❸ [レイアウト] パネルの [割り付け]、[枠線] を選択します。

❹ 必要に応じて [とじ代] を設定します。
とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

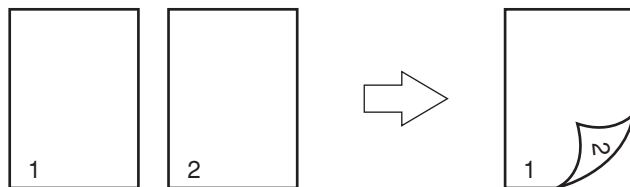
Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

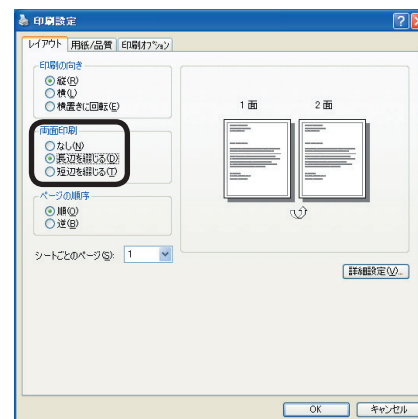
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [レイアウト] パネルの [ページ数/枚]、[レイアウト方向]、[境界線] を選択します。

自動的に両面印刷したい

用紙の両面に自動的に印刷することができます。
自動両面印刷できる用紙サイズは A4、レター、リーガル（13 インチ）、リーガル（14 インチ）およびカスタムサイズです。
自動両面印刷できるカスタムサイズは、幅 210 ～ 215.9mm、長さ 279.4 ～ 355.6mm です。
自動両面印刷できる用紙の厚さは、連量 55kg～90kg(59～105g/m²)です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- Macintosh PCL プリンタドライバでは使用できません。
- フェイスアップスタッカへの排出はできません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）
❹［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）
❹［設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ（自動）］または［短辺とじ（自動）］を選択します。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［両面にプリント］にチェックを付け、［とじしろ］のアイコンを選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

（Mac OS X 10.3 未満の場合）

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［両面］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。Mac OS X 10.3 未満では、［両面印刷］パネルの［両面にプリントする］にチェックを付け、［製本］のアイコンを選択します。

Mac OS X PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［両面］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

手動で両面印刷したい（手動両面印刷）

手動で用紙の両面に印刷します。片面を印刷した後、用紙を再セットし、もう片方の面を印刷します。
手動両面印刷できる用紙サイズは、A4、A5、A6、B5、レター、リーガル（13 インチ）、リーガル（14 インチ）、ステートメント、エグゼクティブおよびカスタムサイズです。カスタムサイズについては、下の表をご覧ください。
A6 用紙は、用紙カセットがトレイ 1、トレイ 2 では使用できません。
手動両面印刷できる用紙の厚さは、連量 55kg ～ 105kg（坪量 64 ～ 120g/m^2）です。
手動両面印刷を行う用紙は、印刷品質や用紙走行などに支障がないことを事前に確認してご使用ください。

- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバ では利用できません。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 複数部数の指定、複数ページを 1 枚に印刷する指定はできません。
- 片面を印刷した後、一定の時間を過ぎても（初期設定では、1 分間）オンラインスイッチが押されない（手差しの場合は、用紙がセットされない）場合、印刷されていないデータは破棄されます。

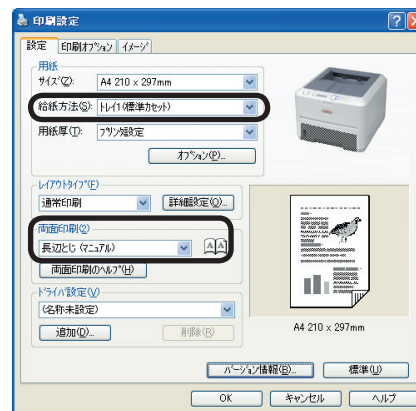
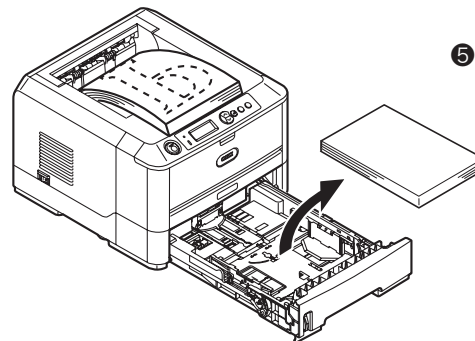
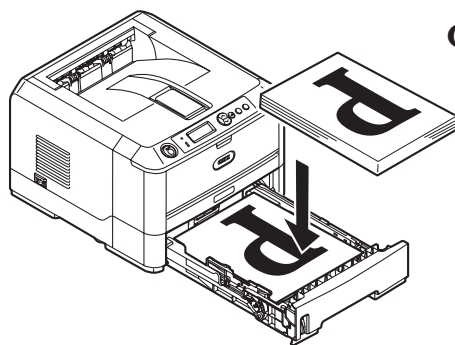
手動両面印刷できるカスタムサイズ

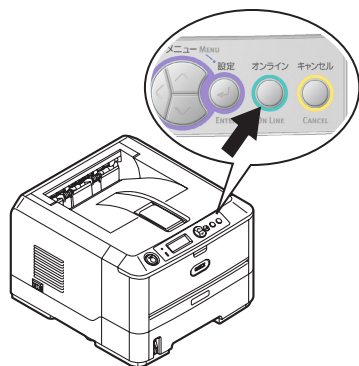
トレイ 1	幅 100 ～ 215.9mm	長さ 210 ～ 355.6mm
トレイ 2	幅 148 ～ 215.9mm	長さ 210 ～ 355.6mm
マルチパーパストレイ	幅 86 ～ 215.9mm	長さ 140 ～ 355.6mm

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

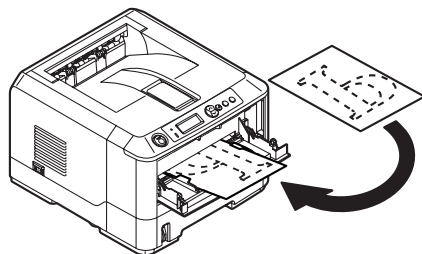
用紙カセットを使う場合

片面をまとめて印刷し、用紙を再セットして、もう片方の面をまとめて印刷します。

一度に印刷できるページ数は 100 ページ（両面印刷すると 50 枚）です。

❶ アプリケーションを起動します。
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）
❹［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1（標準カセット）］を選択します。［両面印刷］で［長辺とじ（マニュアル）］または［短辺とじ（マニュアル）］を選択し印刷します。

❺ 片面の印刷が終わったら、トレイに残っている用紙を取り出します。

❻ 片面印刷済みの用紙を裏にして図のようにセットし直します。

注 もう片方の面の印刷は、片面印刷済みの用紙の裏面に印刷します。
裏面の印刷データがない場合は片面が白紙になっていることがありますが、そのままの順でカセットに戻し印刷します。

❼ オンラインスイッチを押し、もう片方の面の印刷を開始します。

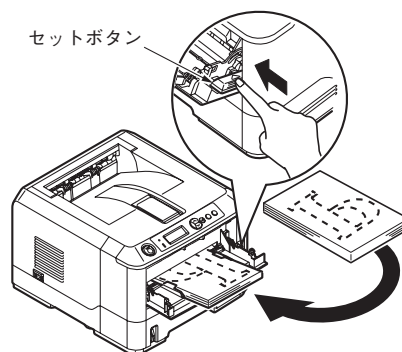
一定の時間（初期設定では１分間）を過ぎてもオンラインスイッチが押されない場合、印刷されていないデータは破棄されます。

メモ　２ページのものを印刷する場合、❺の手順を省略して、スタッカ上の印刷されていない面を上側にしたまま 180 度回転し、マルチパーパストレイにセットして印刷することもできます。

マルチパーパストレイを使う場合

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。［両面印刷］で［長辺とじ（マニュアル）］または［短辺とじ（マニュアル）］を選択し印刷します。

❺ 片面の印刷が終わったら、用紙を図のようにセットしなおします。

注 用紙をセットしたら、セットボタンを押してください。

❻ オンラインスイッチを押し、もう片方の面を印刷します。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ）

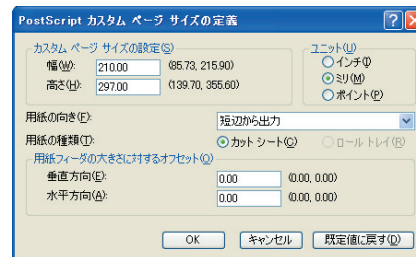
独自の用紙サイズを設定して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

 用紙サイズは必ず縦長に設定してください。

［設定できるサイズ］

幅　：86 ～ 215.9mm
長さ：140 ～ 355.6mm

※・トレイ 1 は、幅 100 ～ 215.9mm、長さ（高さ）210 ～ 355.6mm
・トレイ 2 は、幅 148 ～ 215.9mm、長さ（高さ）210 ～ 355.6mm
・マルチパーパストレイは、幅 86 ～ 215.9mm、長さ（高さ）140 ～ 355.6mm

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista では［スタート］-［コントロールパネル］-［コントロールパネルホーム］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI B430(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❹［用紙サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を選択します。

❺「PostScript カスタムページサイズの定義」画面で［幅］と［高さ］を入力します。

❻［OK］をクリックします。

 ［用紙フィーダの大きさに対するオフセット］の設定はできません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル] - [コントロールパネルホーム] から [ハードウエアとサウンド] の [プリンタFAX]を選択します。
Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] を選択します。
Windows Server 2003 では [スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]- [プリンタ]を選択します。

❷ [OKI B430(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ [設定] タブの [オプション] をクリックします。

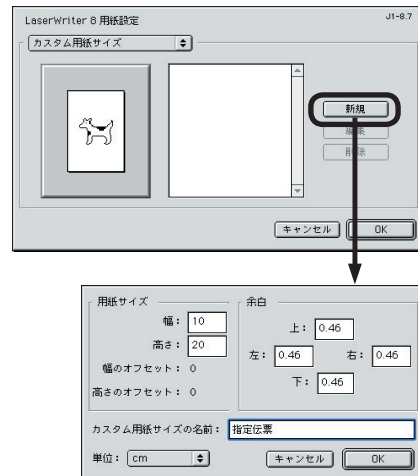
❹「オプション」画面で [用紙サイズの追加] をクリックします。

❺「用紙サイズの追加」画面で [用紙種類] を選択し、[名称]、[幅]、[長さ] を入力します。

❻ [追加] をクリックします。

❼ [OK] をクリックします。

作成した用紙は、[設定] タブの [サイズ] リストの下の方に表示されます。合計 32 個まで定義できます。

Macintosh PS(LaserWriter8) プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

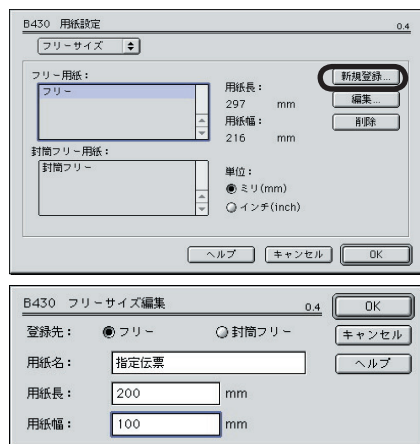
❷ [ファイル] メニューの [用紙設定] を選択します。

❸ [カスタム用紙サイズ] パネルで [新規] をクリックし、[幅] と [高さ]、[カスタム用紙サイズの名前] を入力します。

余白
上下左右の余白を設定します。

❹ [OK] をクリックします。

作成した用紙は、[ページ属性] パネルの [用紙] リストの下の方に表示されます。

Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

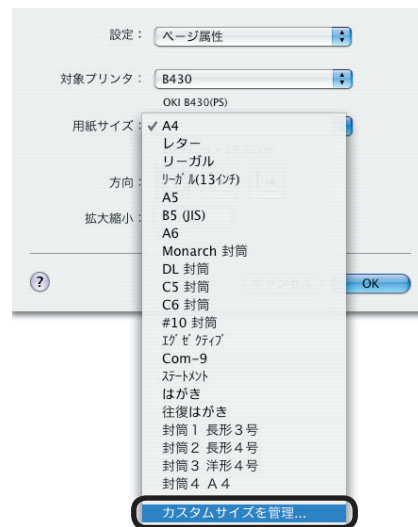
❸［フリーサイズ］パネルの［新規登録］をクリックします。

❹「フリーサイズ編集」画面で［登録先］を選択し、［用紙名］、［用紙長］、［用紙幅］を入力します。

❺［OK］をクリックします。

作成した用紙は、［用紙設定］ダイアログの［一般設定］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。フリー用紙、封筒フリー用紙を 8 個まで定義できます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

Mac OS X 10.2.3 以前のバージョンでは利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［用紙サイズ］-［カスタムサイズを管理］をクリックします。（Mac OS X 10.4 未満では［設定］で［カスタム用紙サイズ］をクリックします。）

❹「カスタム・ページ・サイズ」画面で、［+］をクリックし（Mac OS X 10.4 未満では［新規］をクリック）、カスタム用紙の名前、［幅］、［高さ］を入力します。

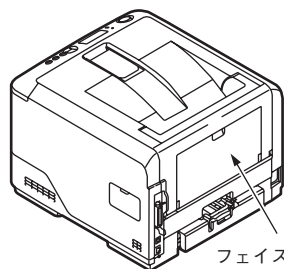
❺［OK］（Mac OS X 10.4 未満では［保存］）をクリックします。

作成した用紙は［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］リストの下の方に表示されます。

ページ順に取り出したい

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。
二通りの方法があります。

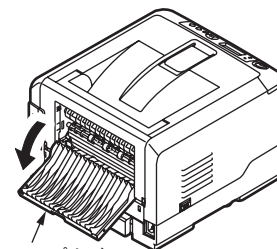
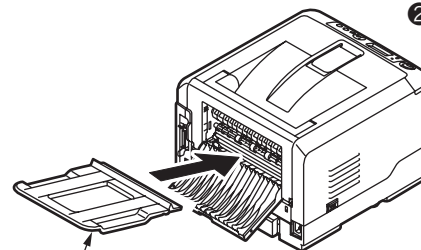
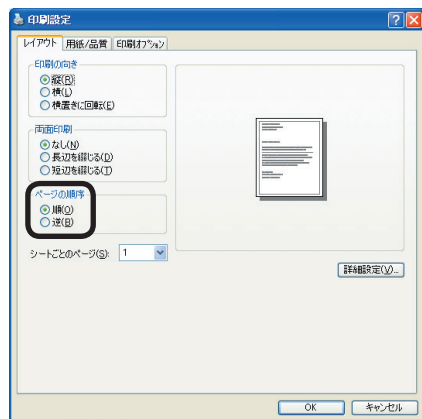
フェイスダウンスタッカに排出する

印刷面が下になって排出されます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップカバーが閉じていることを確認します。

連量が 151 ～ 189kg（176 ～ 220g/m²）の用紙、A6 サイズ、長さが 210 ミリ未満の用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートは必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

フェイスアップスタッカを使い、逆順に印刷する

印刷面が上になって排出されます。

Windows PS ドライバのみ利用できます。

❶ プリンタ背面のフェイスアップカバーを開きます。

❷ フェイスアップスタッカを取り付けます。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの［印刷]を選択します。

❸ [詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

[ページの順序]項目が表示されない場合は、[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダの[OKI B430(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]タブで[詳細な印刷機能を有効にする]にチェックを付けてください。

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（用紙カセット（トレイ 1、2（2 はオプション））、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。

- 必ず操作パネルで、用紙カセット（トレイ 1、2）、マルチパーパストレイの用紙サイズと用紙厚を設定してください。
- Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X PCL プリンタドライバでは利用できません。
- メニュー設定の「MP トレイ　ノ　ツカイカタ」の初期値は、「シヨウシナイ」になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。

1 操作パネルで MP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

❶ ボタンを数回押し、［インサツ　メニュー］を表示します。

❷「設定」ボタンを押します。

❸ ボタンまたは ボタンを数回押し、［MP トレイ　ノ　ツカイカタ］を表示します。

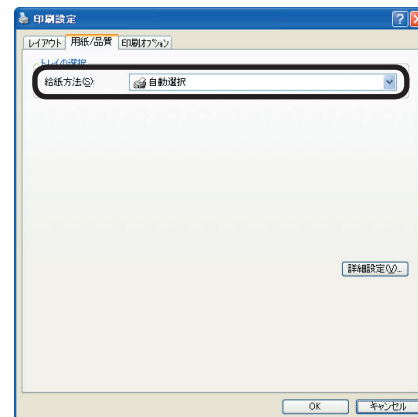
❹「設定」ボタンを押します。

❺ ボタンまたは ボタンを数回押し、［ヨウシチガイ　ノ　トキ］を表示します。

❻「設定」ボタンを押し、設定値の右側に［✽］を付けます。

❼「オンライン」ボタンを押し、［オンライン］にします。

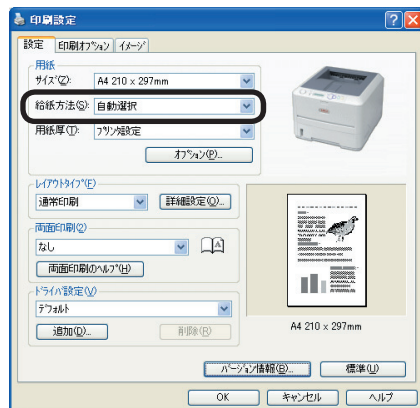
2 プリンタドライバで［給紙方法］を設定します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

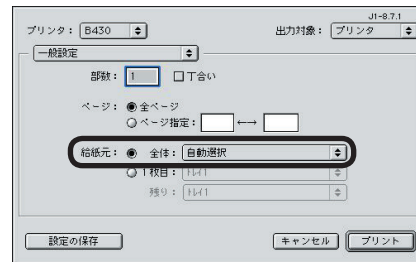
❹［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［一般設定］パネルの［給紙元］で［全体］、［自動選択］を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［給紙］パネルで［全体］、［自動選択］を選択します。

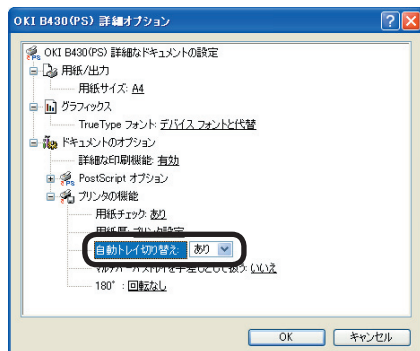
同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ（用紙カセット（トレイ 1、2（2 はオプション））、マルチパーパストレイ）に同じ用紙サイズ、同じ用紙厚の用紙をセットしている場合に、トレイの用紙がなくなったら、他のトレイから印刷することができます。

- 必ず操作パネルで、用紙カセット（トレイ 1、2）、マルチパーパストレイの用紙サイズと用紙厚を一致させてください。各トレイの用紙サイズ、用紙厚が異なる場合、自動トレイ切り替えはできません。
- メニュー設定の「MP トレイ　ノ　ツカイカタ」の初期値は、「シヨウシナイ」になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。

1 操作パネルで MP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。（111 ページ参照）

2 プリンタドライバで［自動トレイ切り替え］を設定します。

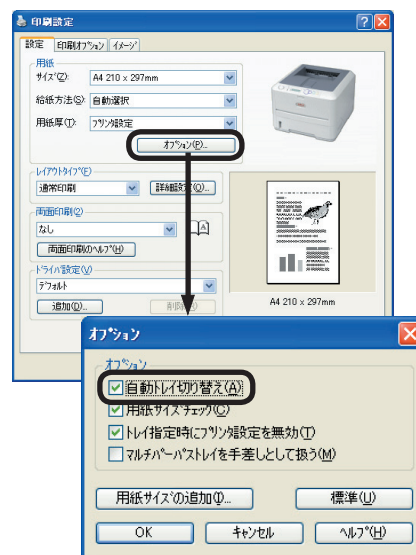
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

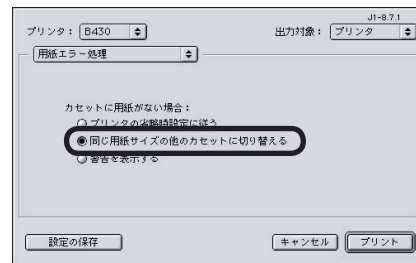
Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

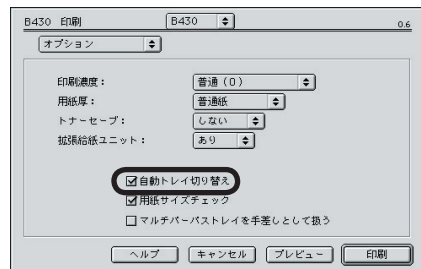
❹［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［用紙エラー処理］パネルの［カセットに用紙がない場合］で［同じ用紙サイズの他のカセットに切り替える］を選択します。

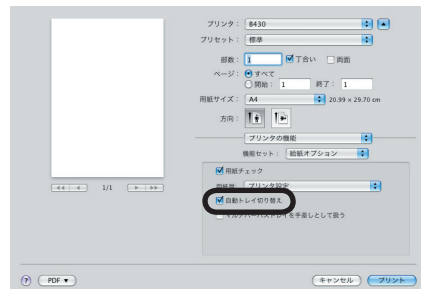
Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ USB 接続の場合、［オプション］パネルの［拡張給紙ユニット］が［あり］になっていることを確認します。

❹［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

［自動トレイ切り替え］の設定は印刷する書類が異なっても常に有効です。

Mac OS X PS プリンタドライバ（Mac OS X 10.5）をお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能パネルの［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある⬍三角ボタンをクリックしてください。

Mac OS X PS プリンタドライバ（Mac OS X 10.5 以外）をお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［エラー処理］パネルの［トレイ切り替え］で［同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える］を選択します。

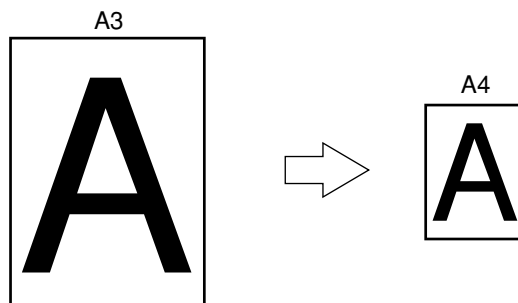
Mac OS X PCL プリンタドライバをお使いの方

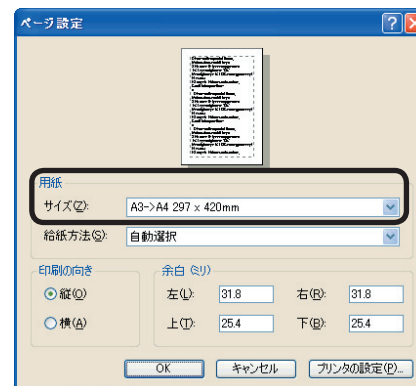
❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタオプション］パネルの［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

- Windows PS プリンタドライバ、Macintosh PS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- 用紙サイズを変換できるのは［A3 → A4］、［B4 → A4］のみです。
- アプリケーションによっては、正常に動作しない場合があります。
- Windows のプロパティの［印刷オプション］タブの［拡大・縮小］（または Macintosh の［用紙設定］ダイアログの［一般設定］パネルの［拡大／縮小率］）はデータを縮小するもので、用紙サイズを変換するものではありません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［サイズ］で［A3 → A4］または［B4 → A4］を選択します。

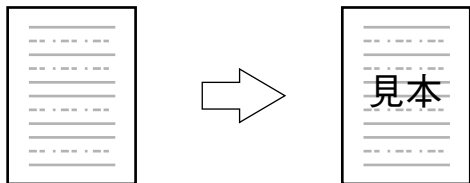
Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

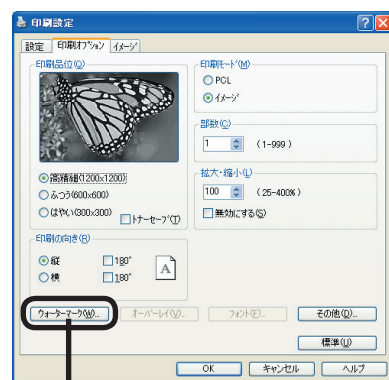
❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸［一般設定］パネルの［用紙］で［A3 → A4］または［B4 → A4］を選択します。

ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）

アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

Macintosh PS プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows プリンタドライバをお使いの方

（Windows PCL プリンタドライバの画面）

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺［新規］をクリックします。

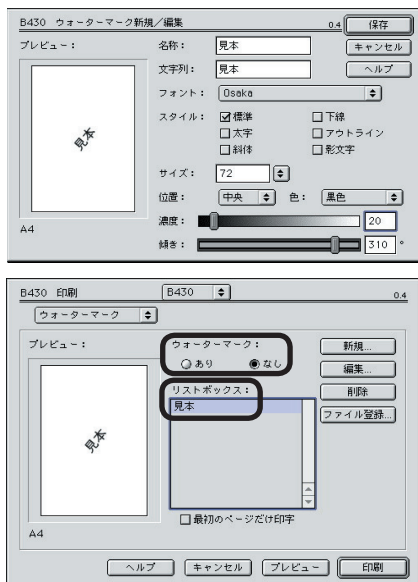
❻「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し、［フォント］、［サイズ］他を選択します。

❼［OK］をクリックします。

❽ 印刷するウォーターマークが選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

6

ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）

Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ウォーターマーク] パネルの [新規] をクリックします。

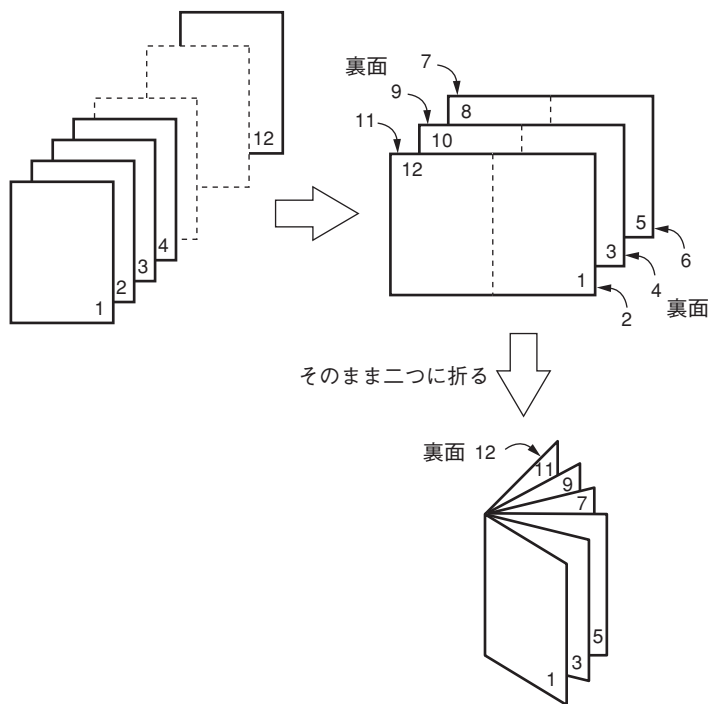
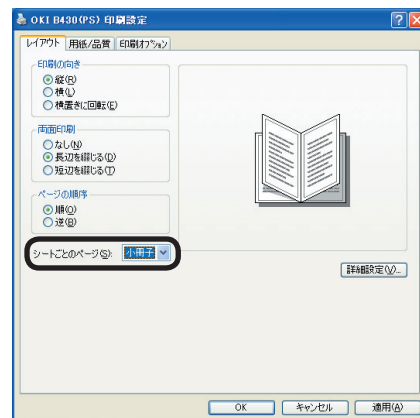
❹ [名称]、[文字列] を入力し [フォント]、[サイズ] 他を選択し、[保存] をクリックします。

❺ [ウォーターマーク] パネルの [ウォーターマーク] を [あり] にし、[リストボックス] で印刷するウォーターマークが選択されていることを確認します。

メモ　[ファイル登録] をクリックし PICT 形式のファイルを指定すると、画像をウォーターマークにすることができます。

小冊子を作りたい（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Windows PCL プリンタドライバでは利用できません。
- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。

❺ Windows Vista をお使いの方は、必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。

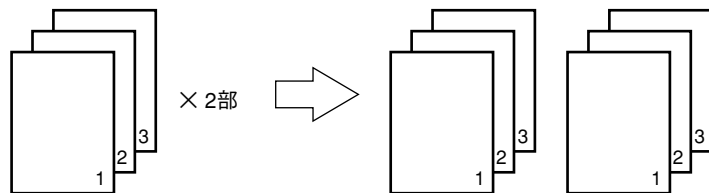
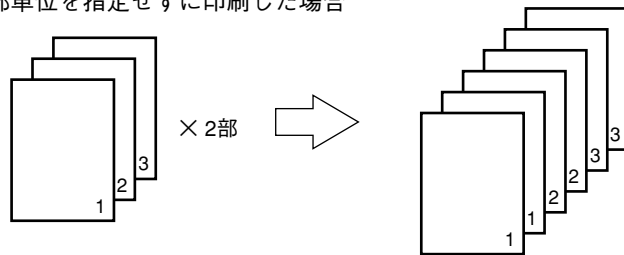
❻ ［詳細設定］をクリックし、［用紙サイズ］で実際に使用する用紙サイズを選択します。

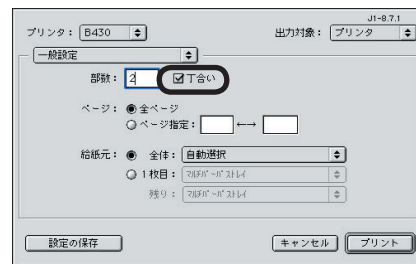
- （例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合
  ［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。
- 右折の小冊子（1 ページ目を表にした時、右側が綴じ位置になる冊子）を作る場合、「詳細設定」の「小冊子綴じ」で「右の端」を選択します。

- ［小冊子］印刷ができない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI B430(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。
- ［小冊子］印刷では、ウォーターマークは正しく印刷できません。
- アプリケーション自身で PostScript データを生成する場合には、小冊子の指定は正常に動作しないことがあります。回避方法の有無はアプリケーションに依存します。お使いのアプリケーションのマニュアルをご確認ください。例えば Adobe Acrobat Professional または Adobe Reader では印刷ダイアログの詳細設定で、「画像として印刷」にチェックすることで小冊子の印刷が正常に動作するようになります。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

複数ページの印刷ジョブを部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

- アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- Windows では利用できません。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［丁合い］にチェックを付けます。

Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［丁合い］にチェックを付けます。

6 文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [印刷部数と印刷ページ］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、[丁合い］にチェックを付けます。

メモ　Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、[プリンタ］ポップアップメニューの横にある◆三角ボタンをクリックしてください。

フォームを登録したい（フォームオーバーレイ）

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」（66 ページ）をご覧ください。
- Windows PS プリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

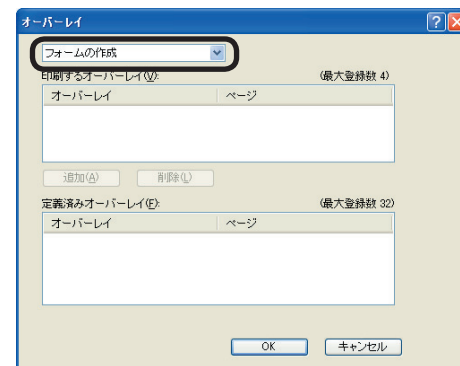
1 フォームを作成します。

❶［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは、「印刷データをファイルに出力したい」（140 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションを起動し、プリンタに登録したいフォームを作成します。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、［フォームの作成］を選択します。

（Windows XP の画面）

❻ 印刷します。
保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❼［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

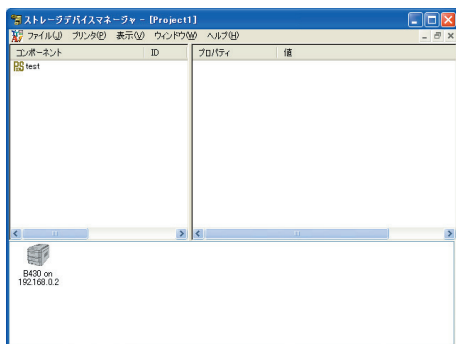
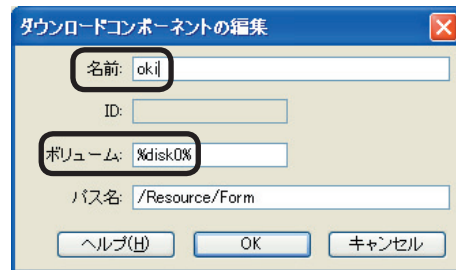
❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ ［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺ ［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。

プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、「名前」を入力し、ボリュームを %flash0% と書き換えて、［OK］をクリックします。パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

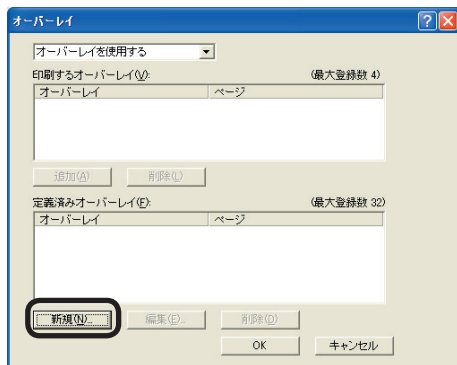
❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ Windows Vista では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

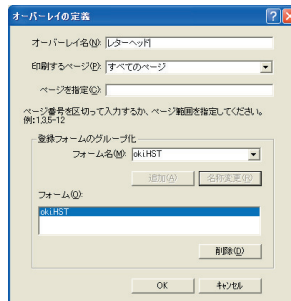
❷ [OKI B430(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

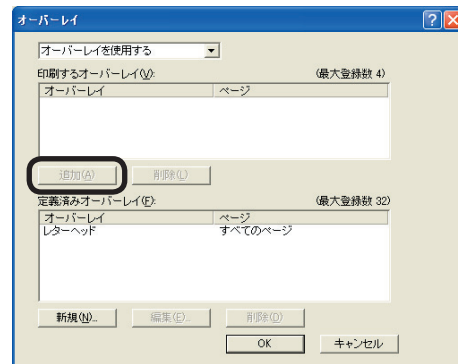
❸ オーバーレイを使用する設定をします。

[印刷オプション]タブの[オーバーレイ]をクリックし、[オーバーレイを使用する] を選択します。

❹ [新規] をクリックします。

❺ [フォーム名] に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォーム名を入力し、[追加] をクリックします。

❻ [オーバーレイ名] を入力し、[印刷するページ] でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、[ページを指定] に適用するページを入力します。

メモ　オーバーレイは、フォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ [OK] をクリックします。

❽ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加]をクリックします。

❾ 印刷します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成します。

❶［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」（140 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹［印刷先のポート］を元に戻します。

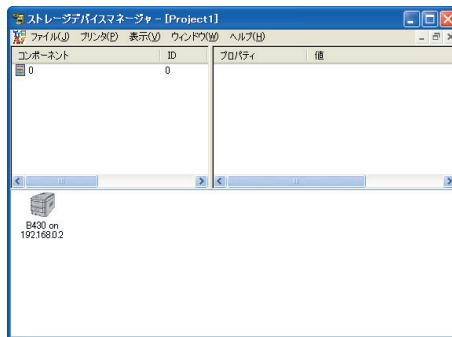
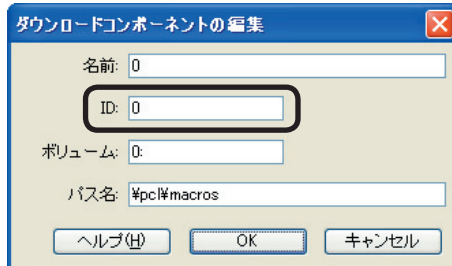
2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 1 で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、[ID]に任意の数字を入力し、[OK]をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

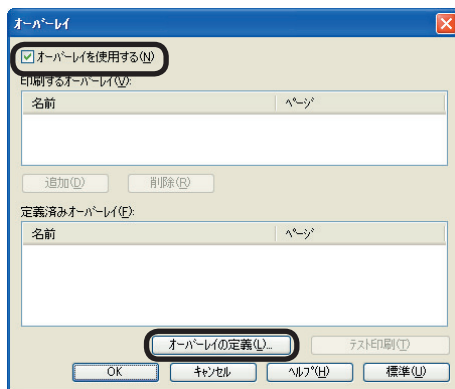
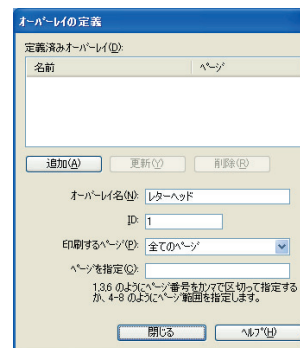
3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

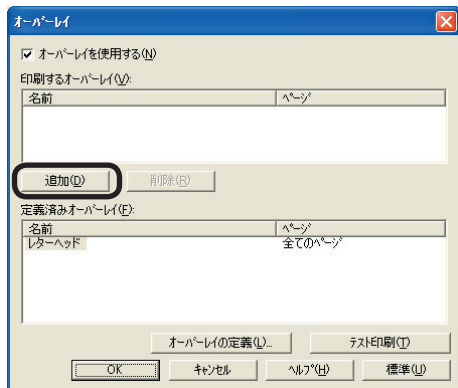
❹［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

❺「オーバーレイ」画面の［オーバーレイを使用する］にチェックを付け、［オーバーレイの定義］をクリックします。

❻［オーバーレイ名］を入力し、［ID］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームの ID を入力します。

メモ　オーバーレイはフォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽［追加］をクリックします。

❾［閉じる］をクリックします。

⑩ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加]をクリックします。

⑪ 印刷します。

高解像度で印刷したい

1200 × 1200dpi の高解像度で印刷することができます。

- ［高精細］を指定すると複雑なファイルを印刷できないことがあります。このようなときは［ふつう］で印刷してください。
- このプリンタは印刷処理をコンピュータ側でも行っています。処理速度の速いコンピュータを使用すると印刷時間を短くできます。
- Macintosh PCL プリンタドライバでは利用できません。
- Macintosh のアプリケーションによっては、プリンタドライバが通知する PICT 解像度によって印刷品位が変わる場合があります。このようなときは「プリンタドライバの初期設定を変更したい」(138 ページ) で PICT 解像度を変更してください。

Windows プリンタドライバをお使いの方

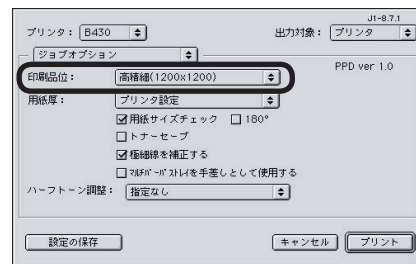
(Windows PCL プリンタドライバの画面)

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❹［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［高精細］を選択します。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブオプション］パネルの［印刷品位］で［高精細］を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタ機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［印刷品質］で［高精細］を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある⬍三角ボタンをクリックしてください。

Mac OS X PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [印刷品質] パネルで [高精細] を選択します。

Mac OS X 10.5 で [プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニューの横にある◆三角ボタンをクリックしてください。

印刷濃度を濃くしたい、薄くしたい

印刷濃度を 5 段階に変更できます。小さな文字がつぶれたり、イメージデータが濃くなる場合は「薄い（マイナス）」の方向に設定してください。細い線が途切れる場合は「濃い（プラス）」の方向に設定してください。

- PS プリンタドライバでは利用できません。
- Macintosh ではプリンタドライバの設定が常に優先されます。
- Windows では［プリンタの印刷濃度を調整する］にチェックを付けると、プリンタドライバの設定が優先されます。

操作パネルを使う場合

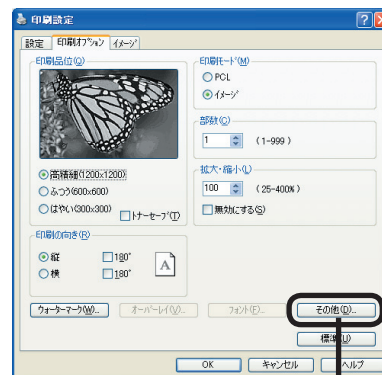
❶ ［∧］または［∨］ボタンを数回押し、［メンテナンスメニュー］を表示し、［↵］「設定」ボタンを押します。

❷ ［∧］または［∨］ボタンを数回押し、［インサツノウド／ 0］を表示し、［↵］「設定」ボタンを押します。

❸ ［∧］または［∨］ボタンを押し、目的の値を表示します。

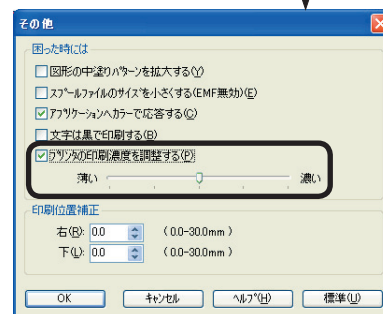
❹ ［↵］「設定」ボタンを押し、設定値の右側に［＊］を付けます。

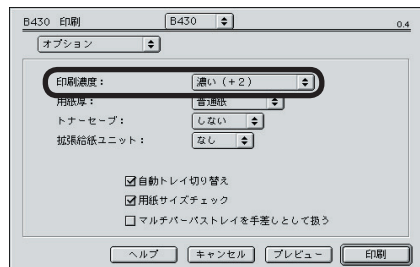
❺ ［○］「オンライン」ボタンを押し、［オンライン］にします。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［プリンタの印刷濃度を調整する］にチェックを付け、適切な値を選択します。

Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［オプション］パネルの［印刷濃度］で適切な値を選択します。

［印刷濃度］の設定は印刷する書類が異なっても常に有効です。

Mac OS X PCL プリンタドライバをお使いの方

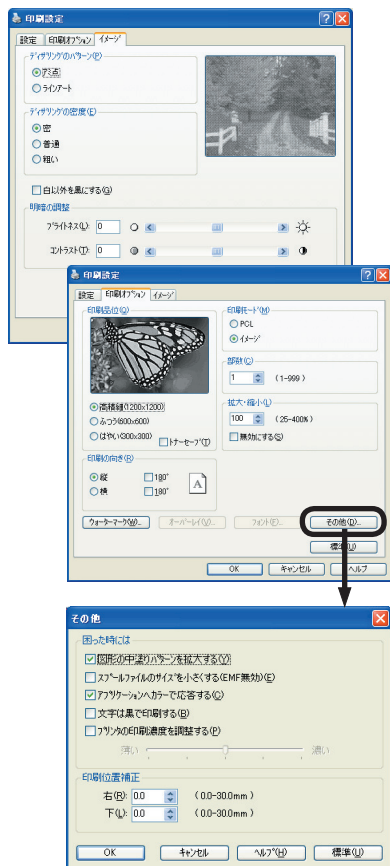
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタオプション］パネルの［印刷濃度］で適切な値を選択します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある⬍三角ボタンをクリックしてください。

画像印刷の仕上りを変更したい

プリンタドライバの設定によって画像の印刷結果が総合的に決まります。希望する結果が得られるまでこれらの設定をいろいろ変更してください。

PS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［イメージ］タブの［ディザリングのパターン］、［ディザリングの密度］、［明暗の調整］の設定を変更します。

❺［印刷オプション］タブの［印刷品位］を選択します。

❻［その他］をクリックします。

❼［図形の中塗りパターンを拡大する］の設定を変更します。

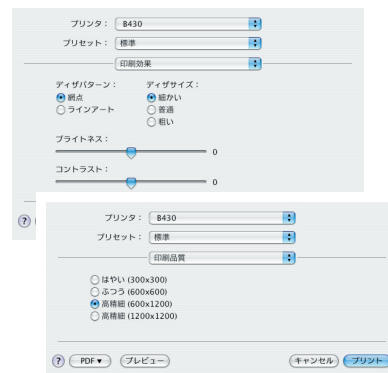
Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［印刷効果］パネルの［ディザパターン］、［ディザサイズ］、［パターンサイズ］、［ブライトネス］、［コントラスト］の設定を変更します。

❹［一般設定］パネルの［解像度］、［プリント］の設定を変更します。

Mac OS X PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［印刷効果］パネルの［ディザパターン］、［ディザサイズ］、［ブライトネス］、［コントラスト］の設定を変更します。

メモ Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある⬍三角ボタンをクリックしてください。

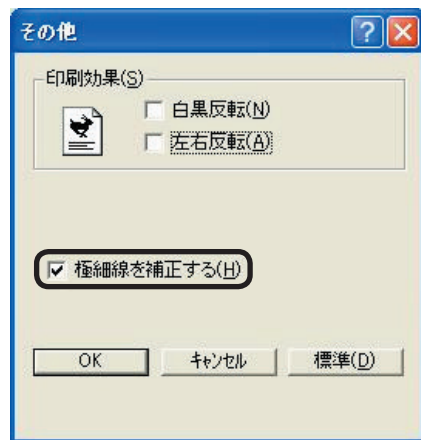
❹［印刷品質］パネルで［印刷品質］の設定を変更します。

細線がかすれるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

PCL プリンタドライバでは利用できません。

アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

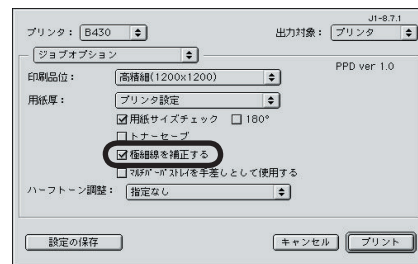
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺［極細線を補正する］にチェックを付けます。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブオプション］パネルの［極細線を補正する］にチェックを付けます。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

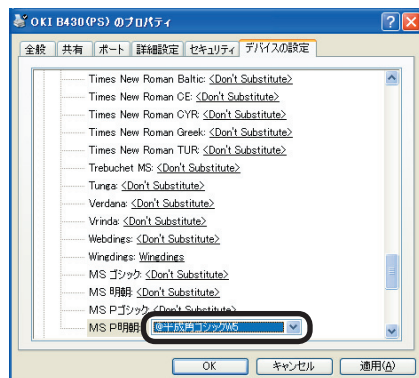
❸［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［極細線を補正する］にチェックを付けます。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニューの横にある⬍三角ボタンをクリックしてください。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

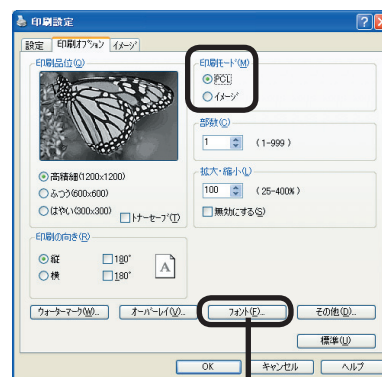
TrueType フォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。
- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。

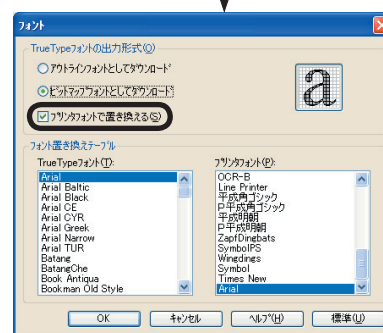
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista では、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では、[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では、[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI B430(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスの設定] タブの [フォント代替表] で、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換え、[OK] をクリックします。

❹ アプリケーションの [ファイル] メニューから[印刷]を選択します。

❺ [詳細設定] をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❻ [レイアウト] タブの [詳細設定] をクリックします。

❼ [TrueType フォント]で[デバイスフォントと代替]を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

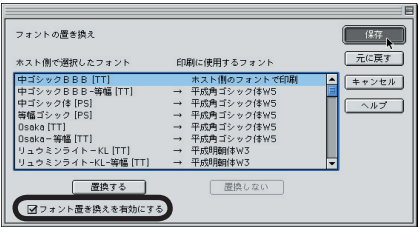
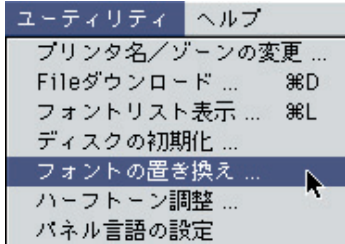
❸ [詳細設定] をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブの[印刷モード] で [PCL] を選択します。

❺ [フォント] をクリックします。

❻ [プリンタフォントで置き換える] にチェックします。

❼ [フォント置き換えテーブル] で TrueType フォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷［ユーティリティ］メニューから［フォントの置き換え ...］を選択します。

❸［ホスト側で選択したフォント］ごとに、[置換する]または[置換しない]をクリックします。

❹［フォント置き換えを有効にする］にチェックを付けます。

❺［保存］をクリックします。

置き換えフォント一覧表

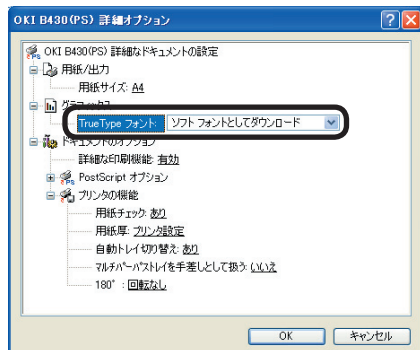
コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator 等の表示		
中ゴシック BBB 中ゴシック BBB- 等幅 中ゴシック体 等幅ゴシック	ChuGothicBBB Medium ChuGothicBBB Medium Mono GothicBBB-Medium ―	TT TT PS PS	平成角ゴシック体 W5 平成角ゴシック体 W5 平成角ゴシック体 W5 平成角ゴシック体 W5
Osaka Osaka- 等幅	Osaka Regular Osaka Regular-Mono	TT TT	平成角ゴシック体 W5 平成角ゴシック体 W5
リュウミンライト -KL リュウミンライト -KL- 等幅 細明朝体 等幅明朝	Ryumin Light KL Ryumin Light KL Mono Ryumin Light ―	TT TT PS PS	平成明朝体 W3 平成明朝体 W3 平成明朝体 W3 平成明朝体 W3
平成角ゴシック 平成明朝 本明朝 -M	HeiseiKakuGothic W5 HeiseiMincho W3 HonMincho-Medium	TT TT TT	平成角ゴシック体 W5 平成明朝体 W3 平成明朝体 W3
B 太ゴ B101 B 太ミン A101 見出ゴ MB31 見出ミン MA31	FutoGoB101-Bold FutoMinA101-Bold MidashiGo-MB31 MidashiMin-MA31	PS PS PS PS	平成角ゴシック体 W5 平成明朝体 W3 平成角ゴシック体 W5 平成明朝体 W3
丸ゴシック -M	MaruGothic-Medium	TT	―

TT：TrueType フォント
PS：PostScript フォント

コンピュータのフォントで印刷したい

TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。

- Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは設定の必要はありません。
- 印刷時間が長くなることがあります。

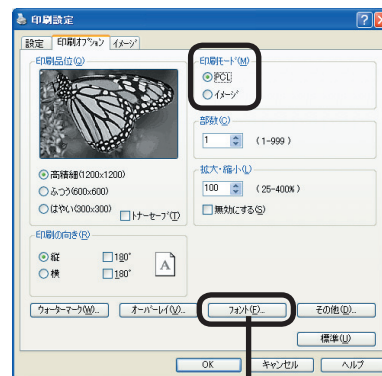
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

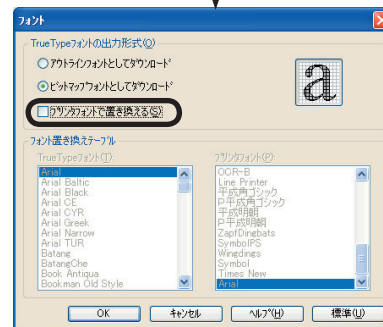
❺［TrueType フォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

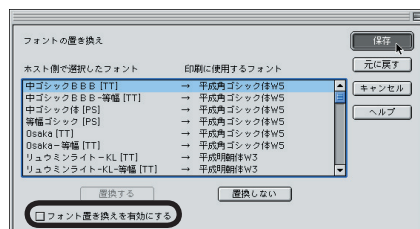
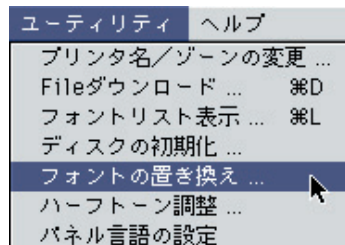
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［印刷モード］で［PCL］を選択します。

❺［フォント］をクリックします。

❻［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード
プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ] メニューから [フォントの置き換え ...] を選択します。

❸ [フォント置き換えを有効にする] のチェックを外します。

❹ [保存] をクリックします。

6

コンピュータのフォントで印刷したい

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

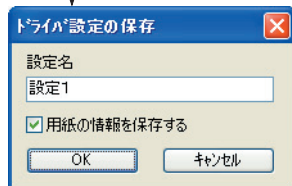
プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

Windows PS プリンタドライバ、Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバでは利用できません。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルホーム]から[ハードウエアとサウンド]の[プリンタ]を選択します。
Windows XP では［スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI B430(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹［設定］タブの［ドライバ設定］で［追加］を選択します。

❺［設定名］に設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。

用紙情報を保存する

チェックを付けると、[設定］タブの［用紙］の設定も保存します。

最大 14 個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、[OK］をクリックします。

プリンタドライバの初期設定を変更したい

頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルホーム]から[ハードウエアとサウンド]の[プリンタ]を選択します。
Windows XP では［スタート］-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア] -［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI B430(PS)］または［OKI B430(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

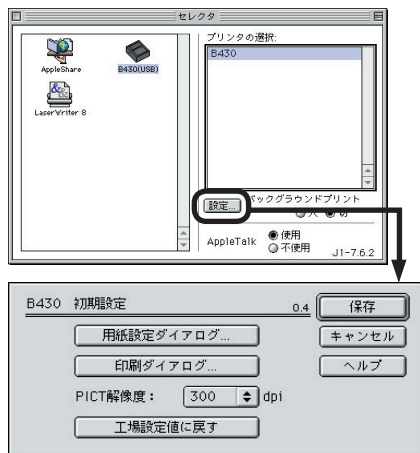
❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［設定の保存］をクリックします。

❹ 確認画面で[OK]をクリックします。

- ［用紙設定］ダイアログの初期設定は変更できません。
- アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ [アップル]メニューの[セレクタ]を選択します。

❷ [B430(USB)]アイコンをクリックします。

❸ 右側のボックスからプリンタ名を選択し、[設定] をクリックします。

❹ [用紙設定ダイアログ] をクリックし、各設定を変更し、[設定] をクリックします。

❺ [印刷ダイアログ] をクリックし、各設定を変更し、[設定] をクリックします。

❻ [保存] をクリックし、セレクタを閉じます。

[部数]、[ページ] は変更できません。

メモ　PICT 解像度
プリンタドライバがアプリケーションに通知する解像度を選択します。アプリケーションによっては印刷品位と印刷時間に影響します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 各設定を変更します。

Mac OS X 10.5 で［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、[プリンタ］ポップアップメニューの横にある⬍三角ボタンをクリックしてください。

❹ Mac OS X 10.2 以降の場合は、[プリセット] で [別名で保存] を選択し、「プリセットを保存」画面で適切な設定名を入力し、[OK] をクリックします。

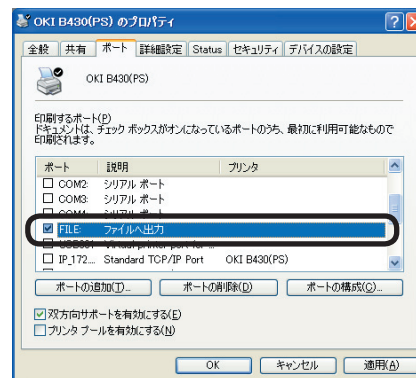
❺ [キャンセル] をクリックします。

- ［ページ設定］ダイアログの初期設定は変更できません。
- 印刷時に［プリセット］で保存した設定名を選択してください。
- 他のプリンタドライバで保存した設定は動作保証できません。機種名がわかる名前で設定を保存してください。

印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

- Macintosh PCL プリンタドライバ、Mac OS X PCL プリンタドライバでは利用できません。
- Windows XP/2000/Server 2003 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows Vista では、印刷データをファイルへ出力する場合、セキュリティの制限により出力先として指定したファイルにアクセスできない場合があります。その場合には、出力先には C:\Users\（ログオンユーザ名）\Documents など印刷するユーザがアクセス可能なフォルダとファイルを指定する必要があります。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルホーム]から[ハードウエアとサウンド]の[プリンタ]を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI B430(PS)］または［OKI B430(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［ポート］タブの［印刷するポート］で「FILE:」を選択し、[OK] をクリックします。

❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［出力先ファイル名］を入力し、[OK] をクリックします。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [出力先] で [ファイル]を選択します。

❹ [ファイルとして保存] パネルで設定を行います。

フォーマット
　ポストスクリプトファイル形式を指定します。

PostScript レベル
　出力するプリンタに合わせて指定します。

データフォーマット
　アスキー / バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。
　バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。

フォントの保持
　ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScript フォントしか使っていない場合は [なし] を選択します。

❺ 印刷します。[名前]に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存]をクリックします。

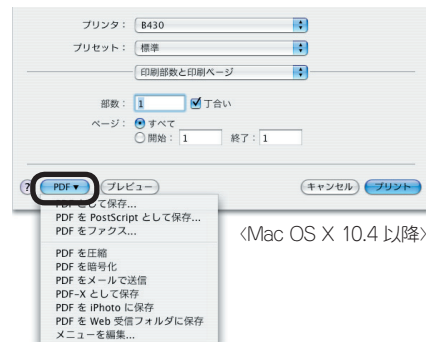
Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

〈Mac OS X 10.4 以降〉

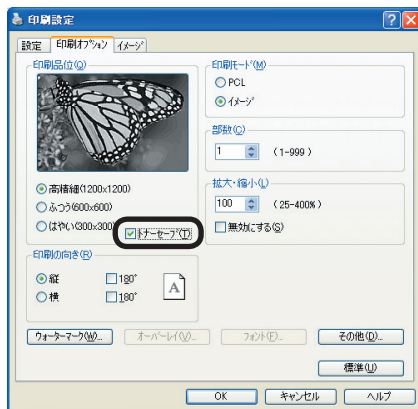
〈Mac OS X 10.3 以前〉

❸ [PDF] をクリックし、保存方法を選択します。(Mac OS X 10.3 以前では [出力オプション] パネルで [ファイルとして保存] にチェックを付け、[フォーマット] で [PostScript] を選択し、[保存] をクリックします。)

❹ [名前] (Mac OS X 10.3 以前では [別名で保存]) に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存] をクリックします。

トナーをセーブして試し印刷をしたい

トナーの消費量を節約するように印刷します。

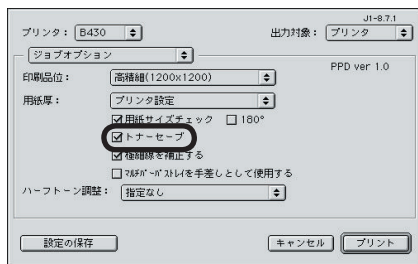
トナーセーブを設定した場合は、印字品質は保証できません。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイルメニュー］の［印刷］を選択します。

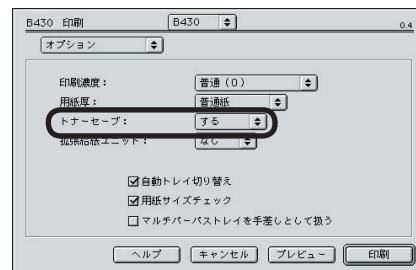
❸ ［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 ではこの操作は必要ありません）

❹ ［印刷オプション］タブの［トナーセーブ］にチェックを付けます。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブオプション］パネルの［トナーセーブ］にチェックします。

Macintosh PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［オプション］パネルの［トナーセーブ］で［する］を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［トナーセーブ］にチェックを付けます。

Mac OS X PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

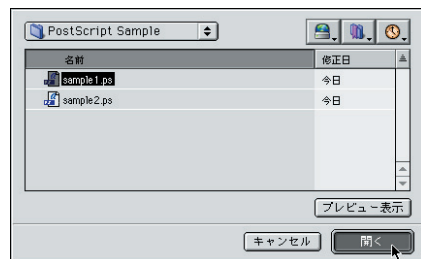
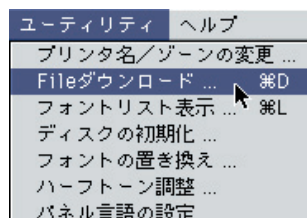
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタオプション］パネルの［トナーセーブ］で［する］を選択します。

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使います

Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[PS File ダウンロード ...]を選択します。

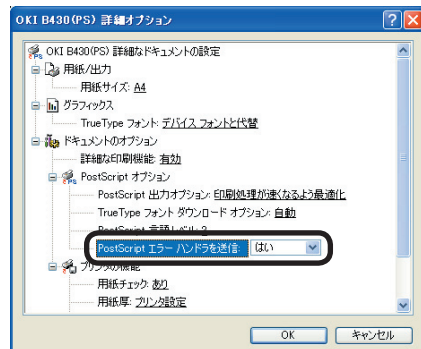
❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

メモ ポストスクリプトファイルを MicrolinePS Utility のアイコンやメインダイアログにドラッグ＆ドロップすることでも、ダウンロードできます。

ポストスクリプトエラーを印刷したい

ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

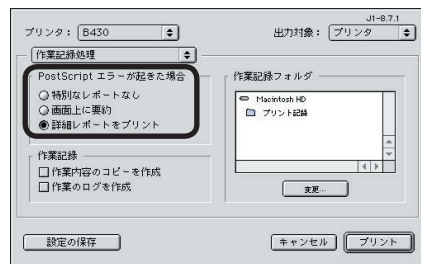
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［PostScript オプション］-［PostScript エラーハンドラを送信］で［はい］を選択します。

Macintosh PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［作業記録処理］パネルの［PostScript エラーが起きた場合］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

Mac OS X 10.5 では、この機能は利用できません。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［エラー処理］パネルの［PostScript エラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）

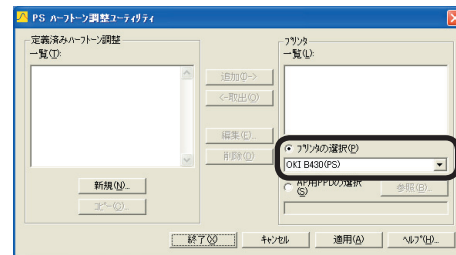
プリンタのハーフトーン濃度を調整することができます。
写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

- PCL プリンタドライバでは利用できません。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティのセットアップについては、Windows の場合は 67 ページ、Mac OS X の場合は 72 ページをご覧ください。
- Windows では［ハーフトーン調整名］を登録後、プリンタドライバの［用紙 / 品質］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5J の場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、または EPS ファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［プリンタと FAX］(Windows 2000 では［プリンタ］) フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンタに有効となります。

Windows PS プリンタドライバ

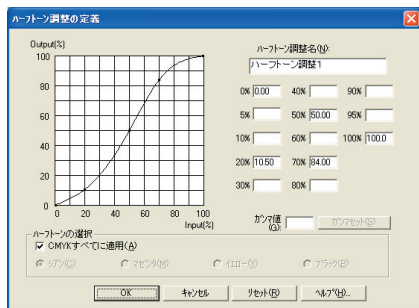
1 ハーフトーン調整名を登録します。

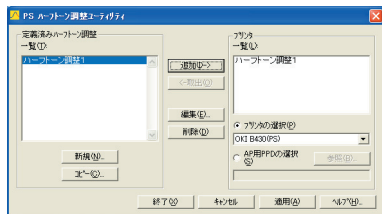
❶［スタート］-［すべてのプログラム］(Windows 2000 では［プログラム］) -［沖データ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

❷［プリンタの選択］からプリンタを選択します。

アプリケーション(Adobe PageMaker 等)によっては印刷時に独自に用意された PPD ファイルを使用するものがあります。この場合は[AP用PPD の選択]を選択し、[参照]をクリックしてアプリケーションの使用する PPD ファイルを選択します。

❸［新規］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから［OK］をクリックします。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、[ガンマセット]をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺［追加→］をクリックします。
ハーフトーン調整名が［プリンタ］の［一覧］に表示されます。

❻［適用］をクリックします。
1 つの PPD ファイルに最大 6 つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPD への登録完了画面で［OK］をクリックします。

❽［終了］をクリックし、PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

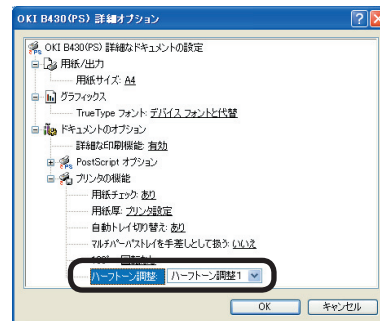
2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

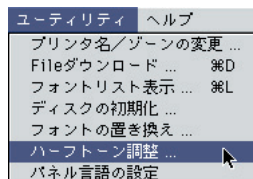
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［ハーフトーン調整］で、手順 1 の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバ

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ] メニューから [ハーフトーン調整 ...] を選択します。

❸ [新規ハーフトーン調整の定義] をクリックします。

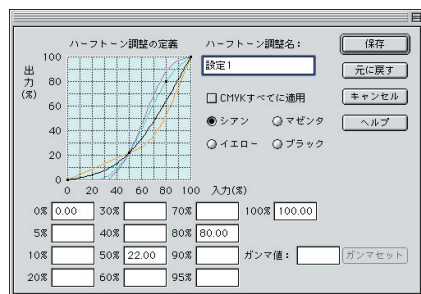
❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、[保存] をクリックします。

- グラフ線を直接操作する。

  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。

- ガンマ値を入力する。

  ガンマ値を入力し、[ガンマセット] をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。

- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルが選択されているか確認します。

別の PPD ファイルが選択されている場合は [PPD ファイルの選択 ...] をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

❻ [追加→] をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

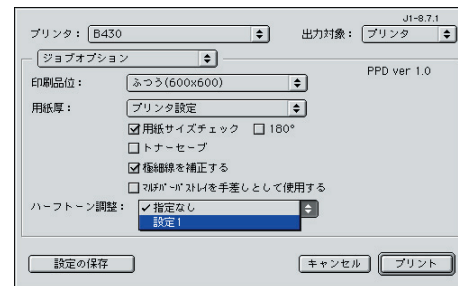
❼ [保存] をクリックします。

登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

❽ MicrolinePS Utility を終了します。

❾ アプリケーションを起動します。

❿ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

⓫ [プリンタ固有機能] パネルの [ハーフトーン調整] で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバ

❶ ［アプリケーション］-［OKIDATA］-［Halftone］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

PSハーフトーン調整ユーティリティ

❷ ［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

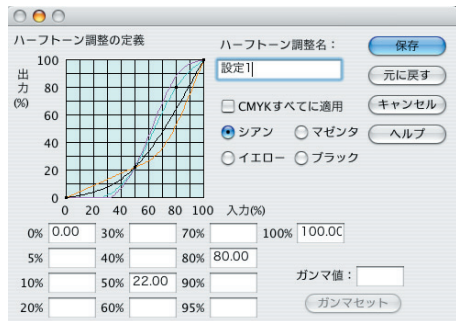
❸ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。

- グラフ線を直接操作する。

  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。

- ガンマ値を入力する。

  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。

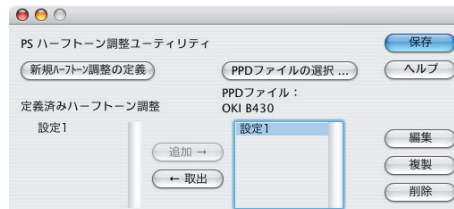
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❹ ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルが選択されているか確認します。

別の PPD ファイルが選択されている場合は［PPD ファイルの選択 ...］をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

❺ ［追加→］をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❻ ［保存］をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザ名とパスワードを入力します。

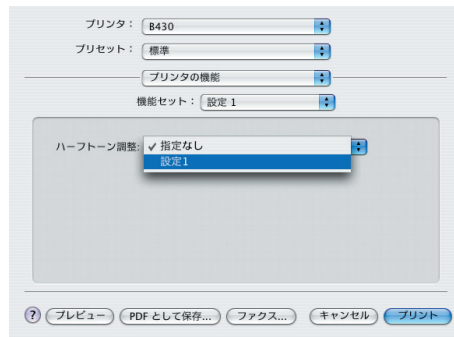
登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

❼ PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

❽ ［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているハーフトーン調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

❾ アプリケーションを起動します。

❿ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

⓫ ［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［ハーフトーン調整］で、手順❸で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

6
写真の印刷濃度を調節したい（ハーフトーン調整）

7 プリンタメニューの使い方について

省電力モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい

省電力モードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ
10ﾌﾝ　＊

「1 フン」　1 分間データを受信しないと省電力モードになります。
「5 フン」
*「10 フン」
「15 フン」
「30 フン」
「60 フン」
「120 フン」
「240 フン」

＊印は初期の値です。

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶ または ボタンを数回押し、［システムコウセイメニュー］を表示し、「設定」ボタンを押します。

❷ または ボタンを数回押し、［パワーセーブ　イコウジカン／10 フン］を表示し、「設定」ボタンを押します。

❸ または ボタンを押し、目的の値を表示します。

❹ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に［＊］を付けます。

❺ 「オンライン」ボタンを押し、［オンライン］にします。

注 プリンタのメンテナンスメニューで［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つため電力を消費します。プリンタを使用しないときは電源を OFF にしてください。

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

印刷が開始されたジョブはキャンセルできません。

1 コンピュータで印刷ジョブを削除します。

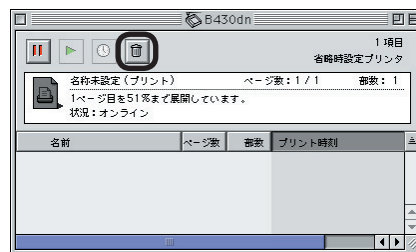
Windowsプリンタドライバをお使いの方

❶ Windows Vistaでは[スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルホーム]から[ハードウエアとサウンド]の[プリンタ]を選択します。
Windows XPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows Server 2003では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000では［スタート］-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ プリンタのアイコンをダブルクリックします。

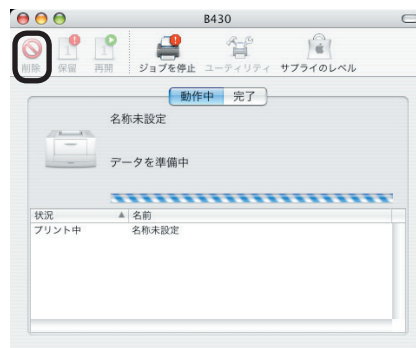
❸ 印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

❹ キーボード上の「Delete」キーを押します。

Macintoshプリンタドライバをお使いの方

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをダブルクリックします。

❷ 印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

❸「ごみ箱」アイコンをクリックします。

Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶ ハードディスクの［アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター]、Mac OS X 10.5では[アップルメニュー］-［システム環境設定］-［プリンタとファクス])をダブルクリックします。

❷ プリンタのアイコンをダブルクリックします。

❸ 印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

❹「削除」アイコンをクリックします。

2 操作パネルの表示を確認します。

［ショリチュウ］または［データアリ］が表示されている場合はプリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

3 プリンタの操作パネルの「キャンセル」スイッチを押し、印刷をキャンセルします。

注 Macintosh と USB 接続している場合、Macintosh からの印刷をキャンセルした後正常に印刷できないときは、USB ケーブルを差し直すか、プリンタの電源を OFF/ON してください。

コンピュータからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

Windows の場合、PrintSuperVision、ネットワークステータスモニタでも行うことができます。詳しくは「3　Windows ソフトウェア」（25 ページ）をご覧ください。

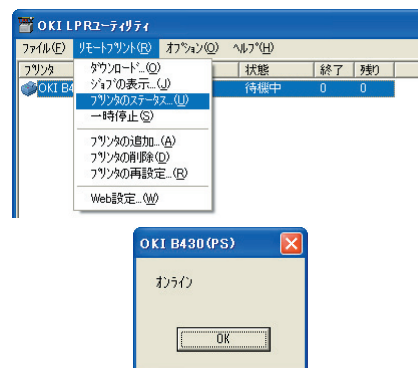
Webブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、[アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

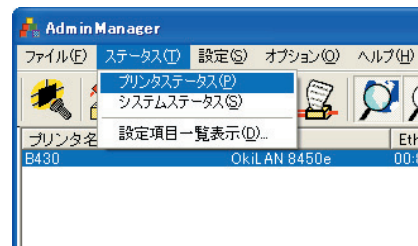
OKI LPRユーティリティ（Windows）を使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷ [リモートプリント] メニューの [プリンタのステータス ...] または [ジョブの表示 ...] を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

AdminManager（Windows）を使う場合

TCP/IP または IPX/SPX でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ AdminManager を起動します。

❷ [ステータス] メニューの [プリンタステータス] を選択します。

プリンタステータス画面が表示されます。

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

プリンタの設定の一部を変更することができます。

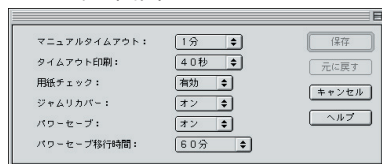
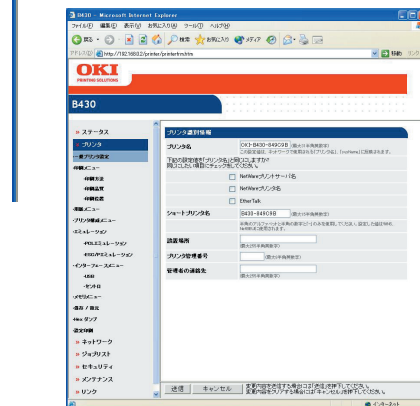
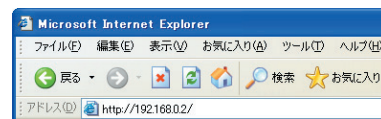
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

- プリンタの機種や現在の設定内容によって、各画面の表示内容は異なります。
- ［タイムアウト印刷］の値は［5 秒］、［20 秒］、［40 秒］、［5 分］、［無限］のみ表示・設定できます。プリンタでこれ以外に設定されている場合は近い値を表示します。
- Mac OS X では利用できません。

❶［MicrolinePS］－［MicrolinePS Utility］－［MicrolinePS Utilty］をダブルクリックします。

❷ 設定を変更し［設定］をクリックします。

メイン画面

オプション画面

Webブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷［管理者のログイン］をクリックし、［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードの初期値は、「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、❶の画面に表示されています。

❸ 上のタブから設定を変更したい項目の種類をクリックします。項目の詳細が左のフレームに表示されますので、設定を変更したい項目をクリックします。

❹ 必要な変更をした後、［送信］をクリックします。

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

プリントジョブアカウンティングで[ローカルプリント]が[印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

❶ 用紙カセットに A4 用紙をセットします。

A4 用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

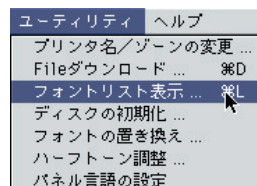
❷ または ボタンを押し、[インフォメーション　メニュー] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❸ または ボタンを数回押し、[PCL　フォント／インサツ] を表示します。

❹「設定」ボタンを押します。

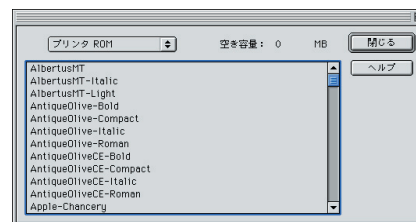
フォントリストが印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ] メニューから [フォントリスト表示 ...] を選択します。

❸ [プリンタ　ROM] を選択するとプリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

パラレルインタフェースの転送モードを変更したい

コンピュータと転送モードを一致させる場合に変更してください。

双方向セントロを無効にするには

❶ または ボタンを数回押し、[セントロメニュー] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❷ または ボタンを数回押し、[ソウホウコウ　セントロ／ユウコウ] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❸ または ボタンを押し、[ムコウ] を表示します。

❹ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に [✱] を付けます。

❺ 「オンライン」ボタンを押し、[オンライン] にします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

ECPを無効にするには

❶ または ボタンを数回押し、[セントロメニュー] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❷ または ボタンを数回押し、[ECP ／ユウコウ] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❸ または ボタンを押し、[ムコウ] を表示します。

❹ 「設定」ボタンを押し、設定値の右側に [✱] を付けます。

❺ 「オンライン」ボタンを押し、[オンライン] にします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IP アドレスを設定してください。

プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「AdminManager」、「Setup Utility」で設定することもできます。「AdminManager」での設定方法は「AdminManager」（28 ページ）、「Setup Utility」での設定方法は「Setup Utility」（82 ページ）をご覧ください。

❶ または ボタンを数回押し、［ネットワークメニュー］を表示し、「設定」ボタンを押します。

❷ または ボタンを数回押し、［TCP/IP ／ユウコウ　＊］を表示します。
［TCP/IP ／ムコウ　＊］と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定」ボタンを押します。
② ボタンを押し、［TCP/IP ／ユウコウ］を表示します。
③ 「設定」ボタンを押し、［ユウコウ］の右側に［＊］を付けます。
④ 「戻る」ボタンを押します。

❸ または ボタンを押し、［IP アドレス／ xxx.xxx.xxx.xxx］を表示し、「設定」ボタンを押します。

❹ または ボタンを押し、IP アドレスの 1 桁目を設定します。

❺ 「設定」ボタンを押し次の行に移動します。

❻ ❹と❺を繰り返して、全ての桁を設定します。

4 桁目を設定して 「設定」ボタンを押すと、値の右側に［＊］が付きます。

メモ　［サブネットマスク］と［ゲートウェイアドレス］も同様に設定する場合は、手順❻の次に 「戻る」ボタンを押し、［IP アドレス］と同様の手順で設定します。

❼ 「オンライン」ボタンを押し、［オンライン］にします。

注　設定変更後、新たに設定した値が有効になるまで時間がかかる場合があります。

フラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）

フラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

「OKI ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、66 ページをご覧ください。

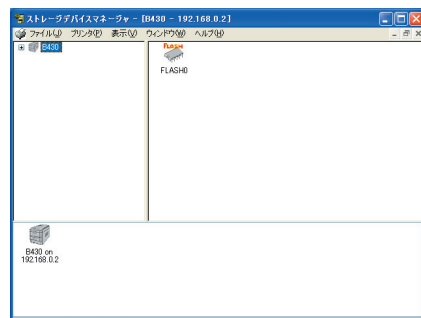
❶［スタート］-［すべてのプログラム］(Windows 2000 では［プログラム］)-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［終了］をクリックします。

❹［閉じる］をクリックします。

❺ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［リソースを表示する］を選択します。

❻［表示］メニューから［詳細］を選択します。

名前	サイズ	空き領域	ロケーション	用途
ボリューム 0:	8026112	5718016	FLASH0	MIX
ボリューム %fla...	8026112	5718016	FLASH0	PS

❼ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き領域欄にパーティションごとの空き容量が Byte 単位で表示されます。

［PS］と［MIX］が別々に表示されますが、同じパーティションを示します。

フラッシュメモリの空き容量を確保したい

フラッシュメモリの初期化をします

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

- 登録したフォーム
- エラーログ

操作パネルを使う場合

注 [OP MENU] の「FILE SYS MAINTE1」は工場出荷時の設定では表示されません。[OP MENU] で [FILE SYS MAINTE2] - [INITIAL LOCK] を[YES]に変更する必要があります。詳しくは「操作パネルのメニュー一覧」の「OP MENU」（セットアップ編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を切ります。

❷ プリンタの操作パネルの「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❸ 操作パネルに「OP MENU」と表示されたら、「設定」ボタンを離します。

❹ または ボタンを数回押し、[FILE SYS MAINTE2] を表示し、「設定」ボタンを押します。

❺ [INITIAL LOCK] が表示されるので、「設定」ボタンを押し、[NO] を選択します。

❻ 「オンライン」ボタンを押すと、プリンタは自動的にリブートします。

❼ [オンライン] の画面になったら、再びプリンタの電源を切ります。

❽ プリンタの操作パネルの「設定」ボタンを押しながら電源を入れます。

注 「設定」ボタンは押したままにしてください。

❾ 操作パネルに [OP MENU] と表示されたら、「設定」ボタンを離します。

❿ または ボタンを数回押し、[FILE SYS MAINTE1] を表示し、「設定」ボタンを押します。

⓫ [FLASH INITIALIZE／EXECUTE] が表示されたら、「設定」ボタンを押します。

⓬ [ARE YOU SURE？／YES]と表示されるので、「設定」ボタンを押します。

プリンタは自動的にリブートします。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

メモ 「OKI ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、66 ページをご覧ください。

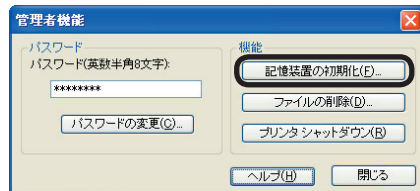
❶ [スタート]-[すべてのプログラム]（Windows 2000 では[プログラム]）-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ リストから Flash パーティションを選択し、［フラッシュ全体の初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［はい］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［OK］をクリックします。

❿ 完了画面で[OK]をクリックします。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

フラッシュメモリを初期化したい

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリのパーティションには［PS］、［共通］があります。

［PS］
　PostScript モードのフォームを格納するエリアです。
［共通］
　PCL モードのフォームを登録したり、エラーログを格納するエリアです。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

・登録したフォーム
・エラーログ

プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、フラッシュメモリの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのフラッシュメモリからいったん削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

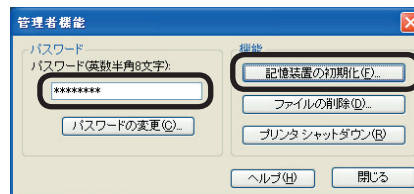
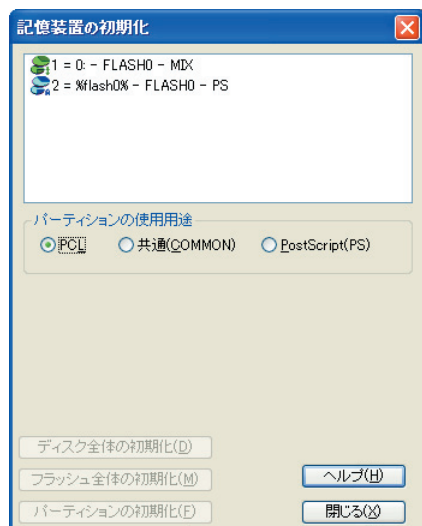
❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ 初期化する場合は［フラッシュ全体の初期化］をクリックします。

特定のパーティションをフォーマットする場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、［パーティションの初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［はい］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［はい］をクリックします。

❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

操作パネルの表示言語を変更したい（Windows）

プリンタの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

動作環境

Windows Vista/XP/2000/Server 2003 日本語版が動作しているコンピュータ

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

本プログラムは、プリンタドライバを使用します。あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。詳しくは、ユーザーズマニュアル（セットアップ編）をご覧ください。

起動します

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。セットアッププログラムが起動します。

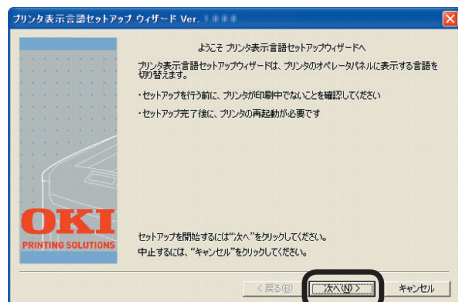
- Windows Vista で、［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。
- Windows Vista で、［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

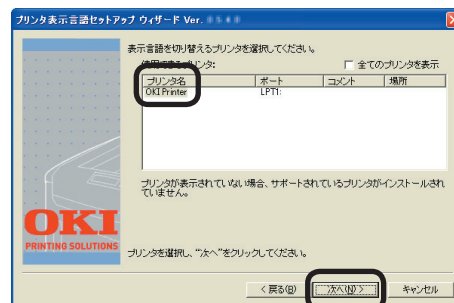
❸ B430 プリンタの画像を画像をクリックします。

❹［使用許諾契約］をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺［ソフトウェア　セットアップ］をクリックします。

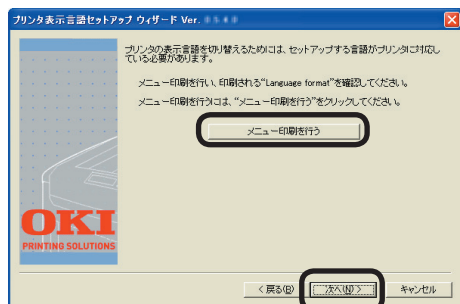
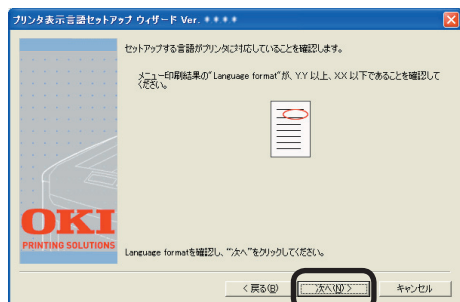
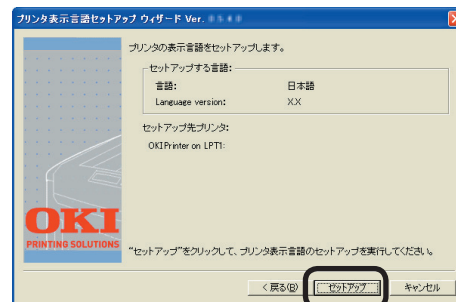
❻［プリンタ表示言語セットアップの起動］をクリックします。

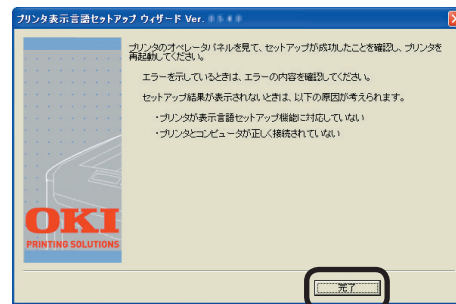
❼プリンタ表示言語セットアップが起動します。［次へ］をクリックします。

メモ タイトルバーの「プリンタ表示言語セットアップ ウィザード Ver.」の後に本ツールのバージョンが表示されます。

❽言語を切り替えるプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

メモ ［使用できるプリンタ］リストには本ツールがサポートされているプリンタが表示されます。

❾セットアップする言語を選択し、［次へ］をクリックします。

⑩［メニュー印刷を行う］をクリックし、メニュー印刷を実行します。［次へ］をクリックします。

メモ 印刷されたメニューマップはこの後の画面で使用します。

⑪メニュー印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認し、［次へ］をクリックします。

⑫セットアップする内容を確認し、［セットアップ］をクリックします。

メモ 画面の［Language version:］の右の "X.X" は、本ツールに含まれる言語ファイルの Language version が表示されます。

⑬［完了］をクリックします。

⑭プリンタの操作パネルを見てダウンロードが成功したことを確認し、プリンタを再起動してください。

DOWNLOAD MESSAGE SUCCESS	ダウンロードメッセージ カキコミカンリョウ
英語表示イメージ	日本語表示イメージ

操作パネルの表示言語を変更したい（Macintosh）

プリンタの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。デフォルトは、日本語です。

設定します

❶ プリンタの操作パネルでメニュー印刷を出力します。

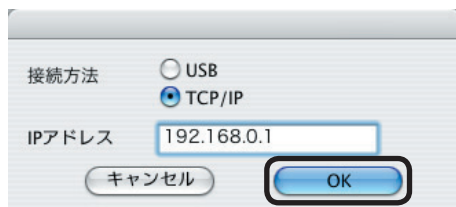
❷ メニューマップに印刷されている「Language format」の数字を確認します。

❸ TCP/IP 接続する場合、メニューマップに印刷されているプリンタの IP アドレスを確認します。

Macintosh OS Xの場合

❹ [OKIDATA]-[Operator Panel Language Setup]-[機種名フォルダ]-[プリンタ表示言語セットアップ］をダブルクリックします。

❺ 接続方法を選択するためのダイアログが表示されます。[USB］もしくは［TCP/IP］を選択してください。TCP/IP 接続を選択した場合は、メニューマップで確認したプリンタの IP アドレスを入力します。

❻ [OK］ボタンをクリックすると、メインダイアログが表示されます。

❼ メニューマップ印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認します。

- 画面右上の Language version は、本ツールが書き込む言語ファイルのバージョンです。
- ツールの言語ファイルのバージョンは、マニュアルに記載のバージョンとは異なる場合があります。

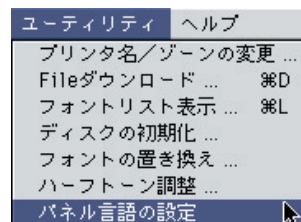
❽ [言語の選択］ポップアップメニューから、使用したい言語を選択します。

❾［ダウンロード］ボタンをクリックします。言語を設定するためのファイルがプリンタに送信されます。送信が終了すると、終了した旨を知らせるための画面が表示されます。

❿プリンタを再起動します。

Macintosh OS 9の場合

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷［ユーティリティ］メニューから［パネル言語の設定］を選択します。

❸メニューマップ印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認します。

メニューマップ印刷　B430

プリンタシリアル番号:　プリンタ管理番号:
CU version:D0. 89 [I01. 18 U00. 51 S3. 1. 1f B00. 50 PPC405PS 297MHz 000 00000000 00000000 00000000 F50 J0]
PU version:00. 00. 92 [PI02. 08] ET:11400000
PCL Program version:04. 35 [04. 30 X03. 18]　PSE Program version:3015, PSE10 01. 00
両面印刷:installed　トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [F50]
JP1　LCD:T1 DPR:1. 5 58
Network version:t0. 06　Web Remote:00. 06

ENGINE:6047 T:0, I:0

Language format:1. 0
Language version:1. 0
Language:JAPANESE

❹［言語の選択］ポップアップメニューから、使用したい言語を選択します。

❺［ダウンロード］ボタンをクリックします。言語を設定するためのファイルがプリンタに送信されます。送信が終了すると、終了した旨を知らせるための画面が表示されます。

❻プリンタを再起動します。

8 ネットワーク機能について

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、メニューマップ印刷のネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。（182 ページ）
設定値を変更するには、TELNET, Web ブラウザ , AdminManager, Setup Utility を使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
TCP/IP	－	TCP/IP プロトコルを使用する	TCP/IP プロトコルを使用する	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address Set	IP アドレス設定	DHCP/BOOTP を使用する	DHCP/BOOTP を使用する	AUTO（自動） MANUAL（手動）	DHCP/BOOTP サーバへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
IP Address	IP アドレス	IP アドレス	IP アドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルト ゲートウェイ	デフォルト ゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
DNS Server (Pri.)	DNS サーバアドレス（プライマリ）	プライマリサーバ	－	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNS サーバアドレス（セカンダリ）	セカンダリサーバ	－	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
Dynamic DNS	ダイナミック DNS	DDNS を使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP アドレスなどが、変更されたときに、それらの情報を DNS サーバに登録し直すか、しないかを設定します。
Domain Name	ドメイン名	ドメイン名	－	なし	プリンタが属するドメイン名を設定します。
WINS Server (Pri.)	WINS サーバ（プライマリ）	プライマリサーバ	－	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
WINS Server (Sec.)	WINS サーバ（セカンダリ）	セカンダリサーバ	―	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。
Scope ID	スコープ ID	スコープ ID	―	なし	WINS の ScopeID を設定します。1 ～ 223 文字の英数字です。
Windows	Windows	Network PnP を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	Windows の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Macin-tosh	Macintosh	Bonjour を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	Macintosh の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	プリンタ名	プリンタ名	―	「OKI」＋「-」＋「製品名」＋「-」＋「MAC アドレス下 6 桁」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	admin パスワード	MAC アドレス下 6 桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更でき なくなります。
IP Ver-sion	IPv6	IPv6 を使用する	IPv6 を使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効） （TELNET では「IPv4 Only」「IPv4+v6」「IPv6 Only」となります）	IPv6 の機能の使用／非使用を設定します。
WSD Print	WSD Print	―	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	WSD Print の使用／非使用を設定します。
LLTD	LLTD	―	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	LLTD の使用／非使用を設定します。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Contact to Admin	管理者の連絡先	SysCon-tact	SysCon-tact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で 255 文字以内です。
Printer Name	プリンタ名	SysName	SysName	「OKI」＋「-」＋「製品名」＋「-」＋「MAC アドレス下 6 桁」	プリンタの名前を入力します。半角で 31 文字以内です。
Printer Location	設置場所	SysLoca-tion	SysLoca-tion	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で 255 文字以内です。
Printer Asset Number	プリンタ管理番号	―	―	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で 8 文字以内です。
SNMP Version	使用する SNMP 設定	―	―	SNMPv1 SNMPv3 SNMPv3+SNMPv1	使用する SNMP バージョンを設定します。
User Name	ユーザ名	ユーザ名	―	root	SNMPv3 におけるユーザ名を設定します。1 ～ 32 文字の英数字です。
Auth Pass-phrase	認証設定パスフレーズ	パスフレーズ	―	なし	SNMPv3 パケット認証に使用する認証キーを生成するためのパスワードを設定します。 8 ～ 32 文字の英数字です。
Auth Key	―	認証キー（HEX コード）	―	なし	SNMPv3 パケット認証に使用される認証キーを HEX コードで設定します。選択されたアルゴリズムによって入力文字数が変動します。 MD5：16 オクテット（HEX コード 32 文字） SHA：20 オクテット（HEX コード 40 文字）
Auth Algorithm	認証設定アルゴリズム	アルゴリズム	―	MD5 SHA	SNMPv3 パケット認証で使用するアルゴリズムを設定します。
Privacy Pass-phrase	暗号化設定パスフレーズ	パスフレーズ	―	なし	SNMPv3 パケット暗号化に使用するプライバシーキーを生成するためのパスワードを設定します。 英数字 8 ～ 32 文字です。
Privacy Key	―	プライバシーキー（HEX コード）	―	なし	SNMPv3 パケット暗号化に使用されるパスワードを HEX コードで設定します。 DES：16 オクテット（HEX コード 32 文字）
Privacy Algorithm	暗号化設定アルゴリズム	アルゴリズム	―	DES	SNMPv3 パケット暗号化で使用するアルゴリズムを設定します。 設定値は“DES”固定です。
Read Commu-nity	SNMP Read コミュニティの設定	SNMP Read Commu-nity	―	public	SNMPv1 で使用する、Read Community を設定します。15 文字以内の英数字です。

網かけ部は初期値です。

項 目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Write Commu-nity	SNMP Write コミュニティの設定	SNMP Write Commu-nity	―	public	SNMPv1 で使用する、Write Com-munity を設定します。15 文字以内の英数字です。

EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項 目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalk プロトコルを使用する	EtherTalk プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalk の使用／非使用を設定します。
Printer Name	EtherTalk プリンタ名	プリンタ名	プリンタ名	製品名	EtherTalk のプリンタ名を指定します。31 文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalk ゾーン名	ゾーン名	ゾーン名	＊	EtherTalk ゾーン名を指定します。32 文字以内の英数字です。

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項 目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUI プロトコルを使用する	NetBEUI プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUI の使用／非使用を設定します。
Short Printer Name	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	「製品名」+「MAC アドレス下 6 桁」	コンピュータ名を設定します。この名前で NetBEUI 上で識別されます。Windows であればネットワークコンピュータ中の PrintServer グループに表示されます。15 文字以内の英数字です。*1
Work-group Name	ワークグループ名	ワークグループ	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称で Windows のネットワークコンピュータ中に表示されます。15 文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	コメント	Ethernet Board OkiLAN 8450e	コメントを設定します。Windows のネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48 文字以内の英数字です。

*1: 表示されたアイコンを開くと、下表のようなファイルが存在します。

ディレクトリ	ファイル名	機 能
SETUP	Config.ini	IP アドレスの設定変更ができます。 このファイル中の IP アドレスを変更して、またもとの位置に戻すだけでプリンタの IP アドレスをファイルに記載した値に変更することができます。
	Websetup	プリンタのもつ Web Page を起動します。
REPORT	Status. txt	プリンタに設定されている設定値の概要を表示します。 このファイルは変更することができません。現在の設定を表示するファイルですから、Report.txt とは内容が異なる場合があります。
	Report. txt	プリンタに設定されている設定値の詳細を表示します。 このファイルは変更することができません。設定値を表示するファイルですから、Status.txt とは内容が異なる場合があります。

- 本プリンタの Master Browser 機能は、Workgroup 名が「PrintServer」の場合にのみ起動します。Master Browser 機能は同一 Workgroup 内に存在するマシンの情報を管理し、他の Workgroup からの一覧要求に応答する機能です。
- 沖データ製プリンタ以外の機器の Workgroup に「PrintServer」の名前をつけた場合、その機器は正常に管理されなくなります。（その機器がネットワーク上で見えなくなることがあります。）
- 本プリンタの Master Browser 機能で管理できるプリンタは最大 8 台です。
- NetBEUI プロトコルでは、他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Prn-Trap Commu-nity	プリンタ Trap コミュニティ名設定	プリンタ Trap コミュニティ名	－	public	プリンタ Trap のコミュニティ名を設定します。31 文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap En-able	Trap 送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trap を有効にする	－	ENABLE DISABLE	TCP #1-5 でプリンタ Trap を使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート	－	ENABLE DISABLE	プリンタが再起動したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Il-legal Trap	不正 Trap 受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常	－	ENABLE DISABLE	「プリンタ Trap コミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときに Trap を使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン	－	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン	－	ENABLE DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし	－	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム	－	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン	－	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー	－	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Ad-dress	アドレス #1-5	TCP#1-5	－	0.0.0.0	TCP/IP の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は 10 進数「***.***.***.***」形式で入力します。IP アドレスが 0.0.0.0 の場合は、Trap を送信しません。アドレスは 5 か所まで指定できます。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
IPX Trap Enable	IPX Trap 送信許可	IPX Printer Trap を有効にする	－	ENABLE DISABLE	IPX でプリンタ Trap を使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン	－	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX Of-fline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン	－	ENABLE DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし	－	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム	－	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン	－	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー	－	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Net/Ad-dress	IPX	IPX	－	00000000: 000000000000	IPX の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス (8 桁)+ ノードアドレス (12 桁) で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは 1 か所のみ指定できます。

SMTP（Email 送信）

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
SMTP Send	SMTP 送信	SMTP 送信を使用する	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	SMTP(Email) 送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP Server Name	SMTP サーバ名	SMTP サーバ名	−	なし	SMTP サーバ名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec) の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTP ポート番号	SMTP ポート番号	−	25	SMTP のポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
Printer Email Address	プリンタ Email アドレス	送信元アドレス	−	なし	プリンタの Email アドレスを設定します。
Reply-To Address	返信先 Email アドレス	返信先アドレス	−	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Email Address1-5	Email アドレス 1-5	送信先アドレス 1-5	−	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは 5 ヶ所まで指定できます。
Notify Mode 1-5	障害通知方法	モード設定	−	EVENT（障害発生時の通知） PERIOD（定期的な通知）	障害を通知する方法を設定します。
Email Alert Interval(Hours) 1-5	メール通知間隔	定期通知間隔	−	1 〜 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consumable Warning Event 1-5	消耗品警告	消耗品の注意	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable Warning Period 1-5	消耗品警告	消耗品の注意	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable Error Event 1-5	消耗品エラー	消耗品のエラー	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable Error Period 1-5	消耗品エラー	消耗品のエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Warning Event 1-5	メンテナンスユニット警告	メンテナンスの注意	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Warning Period 1-5	メンテナンスユニット警告	メンテナンスの注意	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Error Event 1-5	メンテナンスユニットエラー	メンテナンスのエラー	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Error Period 1-5	メンテナンスユニットエラー	メンテナンスのエラー	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Warning Event 1-5	用紙の補充　警告	用紙の補充の注意	−	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 0 H 15 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Paper Supply Warning Period 1-5	用紙の補充　警告	用紙の補充の注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Event 1-5	用紙の補充　エラー	用紙の補充のエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Period 1-5	用紙の補充　エラー	用紙の補充のエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Event 1-5	印刷中の用紙　警告	印刷中の用紙の注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Period 1-5	印刷中の用紙　警告	印刷中の用紙の注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Event 1-5	印刷中の用紙　エラー	印刷中の用紙のエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 2 H 0 M ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Period 1-5	印刷中の用紙　エラー	印刷中の用紙のエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Event 1-5	ストレージデバイス	ストレージデバイス	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Period 1-5	ストレージデバイス	ストレージデバイス	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果　警告	印刷の結果の注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果　警告	印刷の結果の注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果　エラー	印刷の結果のエラー	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 2 H 0 M ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果　エラー	印刷の結果のエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Event 1-5	インターフェースの異常警告	I/F の注意	―	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	インターフェース (ネットワーク etc.) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インターフェースの異常警告	I/F の注意	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	インターフェース (ネットワーク etc.) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インターフェースの異常エラー	I/F のエラー	―	DISABLE Immediate(即時) ～ 2 H 0 M ～ 48 H 45 M ENABLE	インタフェース (ネットワーク etc.) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インターフェースの異常エラー	I/F のエラー	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	インタフェース (ネットワーク etc.) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Other Error Event 1-5	その他	その他のエラー	—	DISABLE(無効) Immediate(即時) ≀ 2 H 0 M ≀ 48 H 45 M ENABLE(有効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	その他のエラー	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Attached Info Printer Model	付加情報設定 プリンタモデル	付加情報設定 プリンタモデル	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Network Model	付加情報設定 ネットワークインタフェース	付加情報設定 ネットワークインタフェース	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインタフェース名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Serial Number	付加情報設定 プリンタシリアルナンバー	付加情報設定 シリアル番号	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Asset Number	付加情報設定 プリンタ管理番号	付加情報設定 Asset 番号	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Name	付加情報設定 プリンタ名	付加情報設定 システム名	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemName を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Location	付加情報設定 設置場所	付加情報設定 プリンタロケーション	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocation を含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Attached Info IP Address	付加情報設定 IP アドレス	付加情報設定 IP アドレス	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、IP アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info MAC Address	付加情報設定 MAC アドレス	付加情報設定 Ethernet アドレス	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、MAC アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Short Printer Name	付加情報設定 ショートプリンタ名	付加情報設定 ショートプリンタ名	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピュータ名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer URL	付加情報設定 プリンタ URL	付加情報設定 プリンタ URL	—	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの URL を含めるかどうかを設定します。
Comment Line 1-4	コメント	コメント 1-4	—	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4 行設定できます。1 行は 63 文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
SMTP Auth	SMTP 認証設定	SMTP 認証設定	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP 認証をするかどうかを設定します。
User ID	ユーザ ID	ユーザ ID	—	なし	SMTP 認証のユーザ ID を設定します。
User Password	パスワード	パスワード	—	なし	SMTP 認証のパスワードを設定します。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
LAN Scale Setting	LAN の規模の設定	LAN Scale	−	NORMAL（普通） SMALL（小規模）	Normal(普通)：通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小規模)：コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
HEX Dump Mode	HEX ダンプモード	−	−	NO YES	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。
HUB Link Setting	HUB との接続の設定			AUTO NEGOTIATION 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB との通信速度と通信方法を設定することができます。通常は、AUTO NEGOTIATION を設定します。

Security

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
FTP	FTP	FTP Service を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して FTP でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Telnet	Telnet	Telnet Service を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して TELNET でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Web (Default Port 80)	Web（ポート番号：80）	Web Service を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して WEB ブラウザでのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Web (IPP)	Web	−	−	1 ～ 80 ～ 65535	プリンタの Web ページにアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP (Default Port 631)	IPP（ポート番号：631）	IPP Service を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
SNMP	SNMP	SNMP Service を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して SNMP でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。通常は ENABLE（使用する）でお使いください。
SMTP (E-mail)	−	SMTP 送信を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP 送信の使用 / 非使用を設定します。
SMTP	SMTP	SMTP ポート番号	−	1 ～ 25 ～ 65535	SMTP プロトコルのポート番号を設定します。
SNTP	SNTP	SNTP を使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
Local Ports	Local Ports	−	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	独自プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
TCP/IP	−	TCP/IP プロトコルを使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	TCP/IP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUI プロトコルを使用する	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUI プロトコルの使用 / 非使用を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
NetWare	NetWare	NetWare プロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetWare プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalk プロトコルを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EhterTalk プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	―	MAC アドレス下 6 桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
―	―	設定データの暗号化通信を使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ツール（AdminManager）とプリンタ間の設定データ通信を暗号化します。設定すると、バージョンが古いツールから、プリンタの設定が行えなくなります。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
IP Filtering	IP フィルタリング	IP フィルタを使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP アドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。ただし、この機能は IP アドレスについて充分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE(使用しない) になるように設定しておいてください。ENABLE(使用する) に設定し、以下の設定をしないと TCP/IP によるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Start Address #1-10	開始アドレス #1-10	開始アドレス #1-10	―	0.0.0.0	プリンタへアクセスを許可する IP アドレスを指定します。単一の IP アドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0 を入力すると無効になります。
End Address #1-10	終了アドレス #1-10	終了アドレス #1-10	―	0.0.0.0	
IP Address Range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10	―	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの印刷を許可します。
IP Address Range #1-10 Configu-ration	設定 #1-10	設定を許可する #1-10	―	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者の IP アドレス	管理者の IP アドレス	―	0.0.0.0	管理者の IP アドレスを指定します。このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

MAC Address Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
MAC Address Filtering	MAC アドレスフィルタリング	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	MAC アドレス毎のアクセスを制御する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能は MAC アドレスについて十分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE（使用しない）になるように設定しておいてください。ENABLE（使用する）に設定し、以下の設定をしないとネットワークによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
MAC Address Access	MAC アドレスからの通信	－	－	ACCEPT(許可) DENY(拒否)	MAC Address Access #1-50 で設定した MAC アドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。
MAC Address #1-50	フィルタする MAC アドレス #1-50	－	－	00:00:00:00:00:00	プリンタへアクセスを許可 (拒否) する MAC アドレスを指定します。00:00:00:00:00:00 を入力すると無効になります。
Admin MAC Address	設定される管理者の MAC アドレス	－	－	00:00:00:00:00:00	管理者の MAC アドレスを指定します。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

SSL/TLS

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
Cipher (SSL/TLS)	SSL/TLS	SSL/TLS を使用する	－	ON（オン） OFF（オフ）	SSL/TLS の使用 / 非使用を設定します。
Ciper Strength	暗号化強度	暗号化強度	－	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	暗号化の強度を設定します。
－	使用する証明書の作成	証明書作成	－	自身で署名した証明書を使用する（自己署名証明書） 認証局が発行した証明書を使用する（認証局証明書）	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付する CSR の作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
－	Common Name	Common Name	－	（プリンタ自身の IP アドレス）	自己署名証明書作成時には装置の IP アドレス（固定）となります。
－	Organization	Organization	－	なし	組織名：所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は 64 文字。
－	Organizational Unit	Organizational Unit	－	なし	組織単位：属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は 64 文字。
－	Locality	Locality	－	なし	都市名：組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
－	State/Province	State/Province	－	なし	州 / 県：組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
－	Country/Region	Country/Region	－	なし	国コード:2 文字の ISO 国 / 地域コードを入力します。（JP（日本）,US（アメリカ合衆国） 等） 入力可能文字数は 2 文字
－	鍵タイプ	鍵交換の方法	－	RSA	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
－	鍵サイズ	鍵のサイズ	－	2048 bit 1024 bit 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを設定します。

SNTP

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
SNTP	SNTP	SNTP を使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NTP Server (Pri.)	NTP サーバ（プライマリ）	NTP サーバ名 1	ー	なし	時間取得をする NTP サーバー（プライマリ）の IP アドレスを設定します。
NTP Server (Sec.)	NTP サーバ（セカンダリ）	NTP サーバ名 2	ー	なし	時間取得をする NTP サーバー（セカンダリ）の IP アドレスを設定します。
Adjust Interval	調整間隔	時間補正間隔	ー	1 hour（時間） 12 hours（時間） 24 hours（時間）	NTP Server 1 または、NTP Server 2 に時間取得に行くインターバルを設定します。
Local Time Zone	タイムゾーン	ローカル時間設定	ー	00:00	GMT との時間差を設定します。
Daylight Saving	夏時間	夏時間設定	ー	ON（オン） OFF（オフ）	サマータイムの設定をします。

Job List

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
ー	ジョブキュー表示項目設定	ー	ー	ドキュメント名 ジョブ状態 ジョブ種類 コンピュータ名 ユーザ名 印刷済み面数 送信時間 送信ポート	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ（印刷データ）の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

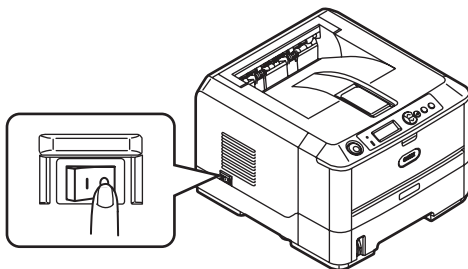
IEEE802.1X

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	Admin Manager	Setup Utility		
802.1X	IEEE802.1X	IEEE802.1X を有効にする	ー	ENABLE（有効） DISEBLE（無効）	IEEE802.1X 機能の使用 / 非使用を設定します。
EAP Type	EAP タイプ	EAP タイプ	ー	EAP-TLS PEAP	EAP 方式を選択します。
EAP User	EAP ユーザ	EAP ユーザ	ー	なし	EAP で使用するユーザ名を指定します。EAP-TLS/PEAP 選択時に有効です。64 文字以内の英数字です。
EAP Password	EAP パスワード	EAP パスワード	ー	なし	EAP User に対応したパスワードを指定します。PEAP 選択時のみ有効です。64 文字以内の英数字です。
Use SSL Certificate	SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する	SSL/TLS の証明書を使用する	ー	ENABLE（有効） DISEBLE（無効）	SSL/TLS 用の証明書を IEEE802.1X 認証に使用するかどうかを選択します。SSL/TLS 用証明書がインストールされていない場合は "ENABLE（有効）" は選択できません。EAP-TLS 選択時のみ有効です。
Authenticate Server	サーバを認証する	サーバを認証する	ー	ENABLE（有効） DISEBLE（無効）	RADIUS サーバから送られてきた証明書を、CA 証明書を使って認証するか否かを選択します。
EAP retry	ー	ー	ー	1 ～ 3 ～ 9	IEEE802.1X 認証動作のリトライ回数を設定します。1 回 -9 回までの範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。
EAP timeout	ー	ー	ー	10 ～ 60	IEEE802.1X 認証中にサーバレスポンスを待つためのタイムアウト値を設定します。10 秒 -60 秒の範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。

ネットワーク機能を初期化します

初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

2 先端の細い道具（ボールペンなど）を使って、プッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源を ON にし、操作パネル上に［オンライン］が表示されたら、離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

ネットワークの設定情報（Network Information）を印刷します

1 プリンタの電源を ON にし、［オンライン］になったことを確認します。

2 先端の細い道具（ボールペンなど）を使って、プッシュスイッチを 3 秒間以上押し続けてから、離します。

ネットワークの設定情報（Network Information）が 2 枚印刷されます。

（例）

Network Information

Printer Information

Printer Name	OKI-B430-849C9B
Printer Serial Number	
Printer Asset Number	

General Information

Network Model	OkiLAN 8450e		
Firmware Version	01.01	File Version (WE/WJ/DF/LD/LO)	01.01 / 01.01 / 01.01 / 01.01 / 01.01
Web Remote	01.01	DLM Version (PNL/WEB/NIF/NSP)	01.01 / 01.01 / 01.01 / 01.01
MAC Address	00:80:87:84:9C:9B		
HUB Link Setting	AUTO NEGOTIATION		
HUB Link Status			
Network Status	Unicast Packets Received	Unsendable Packets	
	Packets Transmitted	Bad Packets Received	
	Total Packets Received		
IEEE802.1X Status	Disable		
Protocol ON/OFF			
TCP/IP	ENABLE	NetWare	ENABLE
NetBEUI	ENABLE	EtherTalk	ENABLE

TCP/IP Configuration

IP Address Set	MANUAL		
IP Address	192.168.0.2		
Subnet Mask	255.255.255.0		
Default Gateway	192.168.0.1		
WINS Server (Primary)	0.0.0.0		
WINS Server (Secondary)	0.0.0.0		
WINS Registration Status	The WINS server is not found.		
DNS Server (Primary)	0.0.0.0		
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0		
Dynamic DNS	DISABLE		
DDNS Host Name	B430-849C9B		
DDNS Domain Name			
DDNS Registration Status			
Auto Discovery			
Windows	DISABLE		
Macintosh	ENABLE		
Printer Name(Printer is identified by this name.)	OKI-B430-849C9B		
WindowsRally			
WSD Print	ENABLE	LLTD	ENABLE
Number of subscriber	0		

NetWare Configuration

NetWare Mode	Queue Server Mode(Print Server + Bindery/NDS + IPX)
Frame Type	AUTO
Network No.	00000000
P-Server Mode	
Print Server Name	OKI-B430-849C9B-PS
Job Polling Rate	4 Sec
Bindery Mode	ENABLE
NDS Mode	
Tree Name	
Context Name	
R-Printer Mode	
Printer Name	OKI-B430-849C9B-PR
Job Timeout	10 Sec

EtherTalk Configuration

EtherTalk Printer Name	B430
Type Name	LaserWriter
Zone Name	
Address	
Node	

Maintenance

LAN Scale Setting	NORMAL

IP アドレスの設定

IP アドレスとは…

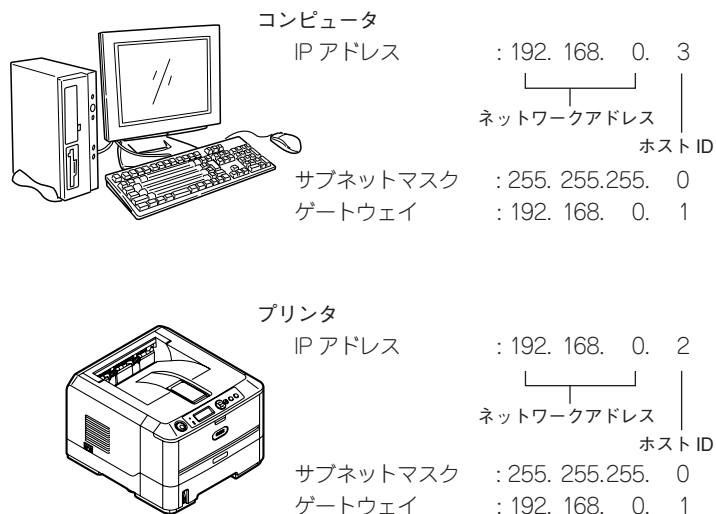
TCP/IP プロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスはネットワーク上に接続されたコンピュータやプリンタの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

- Macintosh をネットワーク接続する場合は、EtherTalk プロトコルを使用するため、IP アドレスを設定する必要はありません。
- Macintosh 環境で Web ブラウザ（73 ページ）や Setup Utility（82 ページ）を使用する場合には、IP アドレスを設定してください。

（例）

コンピュータ

IP アドレス	: 192. 168. 0. 3
サブネットマスク	: 255. 255.255. 0
ゲートウェイ	: 192. 168. 0. 1

（192. 168. 0. → ネットワークアドレス、3 → ホスト ID）

IP アドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3 桁の数字が 4 つに区切られた形で設定します。
例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホスト ID といいます。標準的なネットワークの場合、コンピュータとプリンタのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホスト ID は、どの機器とも重複しないような値で、1 ～ 254 の間で設定します。
また、IP アドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルータの IP アドレスを指定します。通常、コンピュータとプリンタに設定するサブネットマスクとゲートウェイは同じ値にします。

コンピュータの IP アドレス

お手元のコンピュータに設定されている IP アドレスを確認しましょう。

コンピュータの IP アドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。インターネットをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかや DHCP などのサーバがあるかどうかは、プロバイダやルータメーカに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

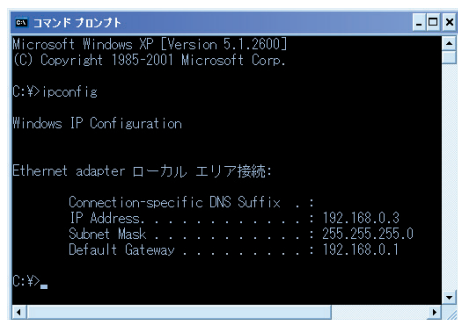
多くの場合、コンピュータは初期設定で「IP アドレスを自動取得する」設定になっています。一般の家庭用ルータ（ADSL ルータや ISDN ルータ）には DHCP サーバが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピュータに何も設定しなくても、ルータに接続し、コンピュータの電源を入れただけで、サーバより自動的に IP アドレスを取得します。

お手元のコンピュータの取得している IP アドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

Windows の場合

❶ Windows を起動します。

❷ コマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）を選択します。

〈Windows Vista/XP/Server 2003 の場合〉
［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を選択します。

〈Windows 2000 の場合〉
［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］を選択します。

❸ キーボードから［ipconfig］と入力し、［Enter］キーを押します。

現在設定されている IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。

（Windows XP の場合）

Macintosh の場合

❶ Macintosh を起動します。

❷〈Macintosh の場合〉
［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［TCP/IP］を選択します。

〈Mac OS X の場合〉
［アップルメニュー］-［システム環境設定］-［インターネットとネットワーク］-［ネットワーク］-［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択し、［TCP/IP］タブを選択します。

表示されない場合は、［すべて表示］をクリックしてください。

プリンタの IP アドレスを確認します

現在、プリンタにどんな IP アドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷し、IP アドレスを確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)の詳細は 182 ページをご覧ください。

Network Information

Printer Information

Printer Name　OKI-B430-849C9B
Printer Serial Number
Printer Asset Number

General Information

Network Model　OkiLAN 8450e
Firmware Version　01.01　File Version (WE/WJ/DF/LD/LO)　01.01 / 01.01 / 01.01 / 01.01 / 01.01
Web Remote　01.01　DLM Version (PNL/WEB/NIF/NSP)　01.01 / 01.01 / 01.01 / 01.01
MAC Address　00:80:87:84:9C:9B
HUB Link Setting　AUTO NEGOTIATION
HUB Link Status　LINK FAIL
Network Status　Unicast Packets Received　Unsendable Packets
Packets Transmitted　Bad Packets Received
Total Packets Received
IEEE802.1X Status　Disable

Protocol ON/OFF
TCP/IP　ENABLE　NetWare　ENABLE
NetBEUI　ENABLE　EtherTalk　ENABLE

TCP/IP Configuration

IP Address Set　MANUAL
IP Address　192.168.0.2
Subnet Mask　255.255.255.0
Default Gateway　192.168.0.1
WINS Server (Primary)　0.0.0.0
WINS Server (Secondary)　0.0.0.0
WINS Registration Status　The WINS server is not found.
DNS Server (Primary)　0.0.0.0
DNS Server (Secondary)　0.0.0.0
Dynamic DNS　DISABLE
DDNS Host Name　B430-849C9B
DDNS Domain Name
DDNS Registration Status

Auto Discovery
Windows　DISABLE
Macintosh　ENABLE
Printer Name(Printer is identified by this name.)　OKI-B430-849C9B
WindowsRally
WSD Print　ENABLE　LLTD　ENABLE
Number of subscriber　0

NetWare Configuration

NetWare Mode　Queue Server Mode(Print Server + Bindery/NDS + IPX)
Frame Type　AUTO
Network No.　00000000

P-Server Mode
Print Server Name　OKI-B430-849C9B-PS
Job Polling Rate　4 Sec

Bindery Mode　ENABLE
NDS Mode
Tree Name
Context Name

R-Printer Mode
Printer Name　OKI-B430-849C9B-PR
Job Timeout　10 Sec

EtherTalk Configuration

EtherTalk Printer Name　B430
Type Name　LaserWriter
Zone Name
Address
Node

プリンタの IP アドレスを設定します

ネットワークの環境に応じて、プリンタに IP アドレスを設定しましょう。

(1)　初期設定のまま使用します。

- ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがある場合
  プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンタの電源を入れただけで、サーバより自動的に IP アドレスを取得します。
  現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタの IP アドレスを設定したり変更をする必要はありません。
  - IP アドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
  - IP アドレスのホスト ID が、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
  - サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべて Windows XP の場合
  プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。「Auto」に設定されている場合、「サーバを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。そのため、ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがなくても、Windows XP と通信して自動的に IP アドレスを設定します。
  現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタの IP アドレスを設定したり変更をする必要はありません。
  - IP アドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
  - IP アドレスのホスト ID が、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
  - サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

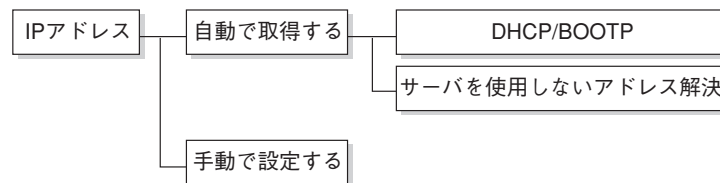
- ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべて Macintosh で、Web ブラウザや Setup Utility を使用しない場合
  Macintosh をネットワーク接続する場合は、EtherTalk プロトコルを使用するため、IP アドレスを設定する必要はありません。

(2) IP アドレスを手動で設定します。

- ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがなく、接続しているコンピュータのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められた IP アドレスを指定されたなど、(1) に当てはまらない場合
  プリンタに決められた IP アドレスを手動で設定してください。IP アドレスは、プリンタの操作パネルや AdminManager（Windows）、Setup Utility（Macintosh）、TELNET などで設定できます。

  設定の詳細は、「AdminManager」（28 ページ）、「Setup Utility」（82 ページ）、「TELNET」（65 ページ）、「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（157 ページ）をご覧ください。

IP アドレス設定のしくみ（参考）

IP アドレスを設定する機能は次のような構成になっています。

DHCP/BOOTP を使います

DHCP サーバまたは BOOTP サーバから IP アドレスを取得できます。

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCP サーバの設定

DHCP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに動的に IP アドレスを割り当てるためのプロトコルです。IP アドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

プリンタには、固定の IP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバを設定してください。ランダムに IP アドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定の IP アドレスを割り当てる方法については、各 DHCP サーバのマニュアルをご覧ください。

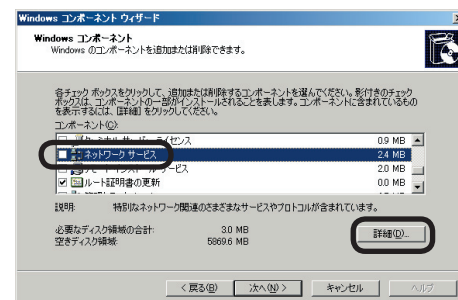
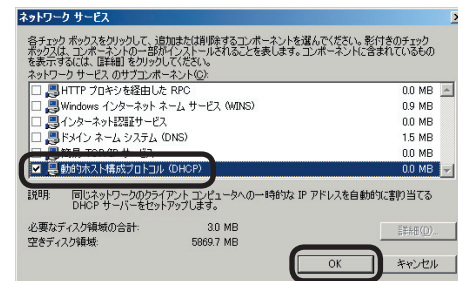
動作確認環境

Windows Server 2003 日本語版 DHCP サーバ
Windows 2000 Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows 2000 Advanced Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows NT Server4.0 日本語版 DHCP サーバ
Windows NT Server4.0 日本語版 DHCP リレーエージェント
Sun OS 4.1.3+WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

以下の説明は、Windows Server 2003 Standard Edition 日本語版を例にしています。

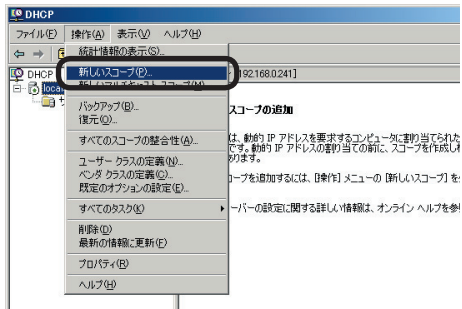
❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] を選択します。

❷ [Windows コンポーネントの追加と削除] を選択します。

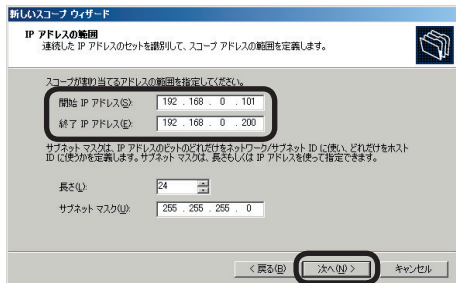
❸ [Windows コンポーネント ウィザード] が開いたら、[コンポーネント] から [ネットワークサービス] を選択して、[詳細] をクリックします。

❹ [動的ホスト構成プロトコル (DHCP)] を選択し、[OK] をクリックします。

❺ [次へ >] をクリックして、[コンポーネントの構成] が終了したら [完了] をクリックします。

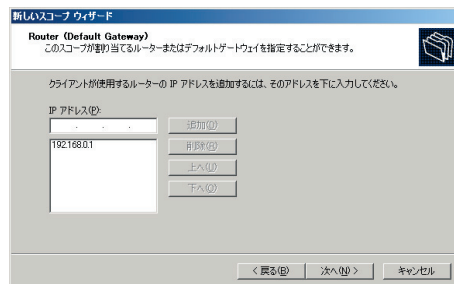
❻ ［プログラムの追加と削除］を終了します。

❼ ［スタート］-［管理ツール］-［DHCP］を選択します。

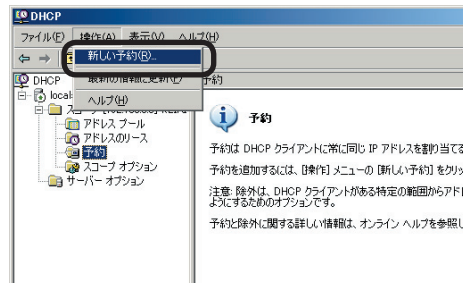
❽ 設定を行うサーバを選択した状態で、［操作］-［新しいスコープ］を実行します。

❾ ［新しいスコープウィザード］が開始されたら［次へ］をクリックします。

❿ ［スコープ名］の設定画面で、［名前］の項目に任意のスコープ名を入力し、［次へ］をクリックします。

⓫ ［IP アドレスの範囲］の設定画面で、DHCP サーバに管理させる IP アドレスの範囲を入力し、［DHCP オプションの構成］が表示されるまで［次へ］をクリックします。

⓬ ［DHCP オプションの構成］で、引き続きオプションの構成を行うかを選択します。ここでは、引き続きゲートウェイアドレスの設定を行うので、［今すぐオプションを構成する］を選択して［次へ］をクリックします。

⓭ ［IP アドレス］の項目にゲートウェイの IP アドレスを入力して［追加］をクリックした後、［スコープのアクティブ化］が表示されるまで［次へ］をクリックします。

⓮ ［今すぐアクティブにする］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓯ ［完了］をクリックして、新しいスコープの追加を終了します。

⓰ DHCP の管理画面から、追加したスコープの［予約］を選択し、［操作］-［新しい予約］を実行します。

⑰［新しい予約］の各項目を入力して［追加］をクリックした後、［閉じる］をクリックします。

・予約名　　　：任意の名前を入力します。
・IP アドレス　：プリンタに割り当てる IP アドレスを入力します。
・MAC アドレス：プリンタの MAC アドレスを入力します。

⑱ DHCP の管理画面を閉じて、設定を終了します。

BOOTP サーバの設定

BOOTP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、BOOTP サーバに登録した IP アドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション	：Red Hat Linux の BOOTP サーバ（bootp-2.4.3-7.i386rpm）
IP アドレス	：192.168.0.2
MAC Address	：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名	：B430dn

MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（182 ページ）

❶ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2    B430dn
```

❷ /etc/bootptab ファイルに次の設定を追加します。

`B430dn:\`	/etc/hosts ファイルに登録したホスト名
`ht=1:\`	ハードウェアタイプを 1 にします。
`ha=008087849C9B:\`	MAC Address
`ip=192.168.0.2:\`	IP アドレス
`sm=255.255.255.0:\`	サブネットマスク
`gw=192.168.0.1:\`	ゲートウェイ
`vm=rfc1048:\`	rfc1048 モードの指定

❸ BOOTP サーバを起動します。

```
# /usr/sbin/bootpd -s
```

❹ プリンタの電源を ON にします。

プリンタの設定

以下の説明は、AdminManager と Windows XP Home Edition を例にしています。

プリンタの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

- Windows Vista で、［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。
- Windows Vista で、［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❸ B430 プリンタの画像をクリックします。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺［ソフトウェア　セットアップ］をクリックします。

❻［NIC セットアップユーティリティの起動］をクリックします。

❼［日本語］をクリックします。

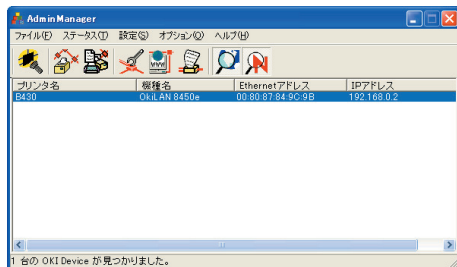
8
DHCP/BOOTP を使います

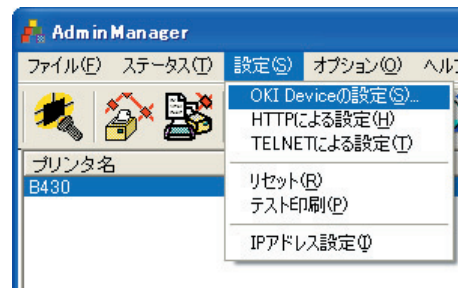
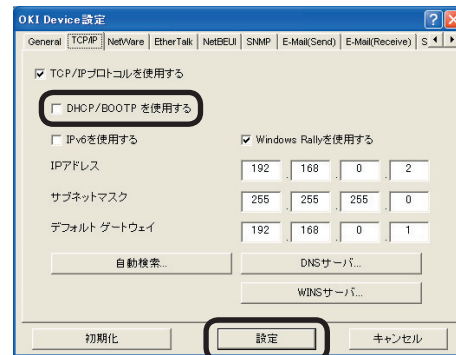
❽［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

❾［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

❿一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、OkiLAN 8450e と表示されます。

メモ MAC アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として、表示されています。（182 ページ）

⓫［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選びます。

⓬［TCP/IP］タブの［DHCP/BOOTP を使用する］をチェックし、［設定］をクリックします。

⓭設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓮設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 リブート後プリンタは新しい設定値で動作します。

通信を暗号化します（SSL/TLS）

Web ページからの設定及び IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）- プリンタ間の通信を暗号化できます。
（HTTP による通信の暗号化）

設定方法

1 暗号化設定ツールとしては以下のものがあります。
1）Web ページ
2）AdminManager
3）TELNET（暗号化強度（弱 / 標準 / 強）、SSL/TLS（暗号化）の ON/OFF（有効・無効）のみ変更可能）

2 設定の流れ
Web を使用してプリンタで証明書を作成する手順を示します。
作成できる証明書の種類は以下の 2 種類があります。
自己署名証明書
認証局証明書（CSR の作成）

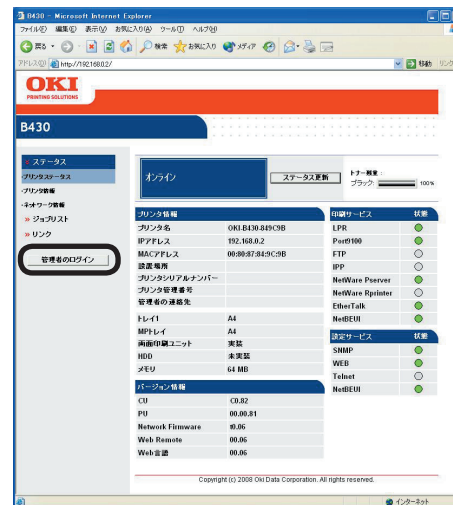
プリンタの IP アドレスが証明書作成時から変更されてしまうと、その証明書は無効になってしまいます。証明書作成後はプリンタの IP アドレスを変更しないでください。

証明書作成手順

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードの初期値は「MAC アドレス」の英数字下 6 桁です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［セキュリティ］タブをクリックします。

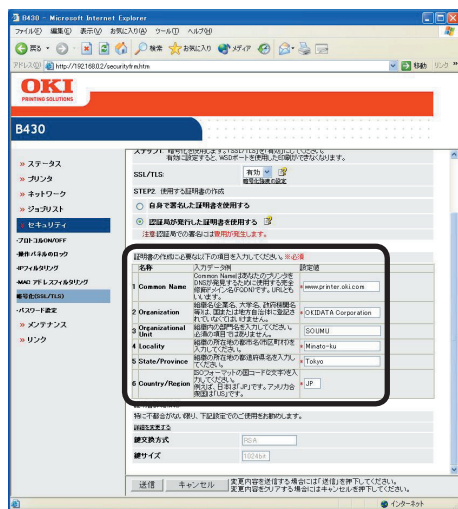
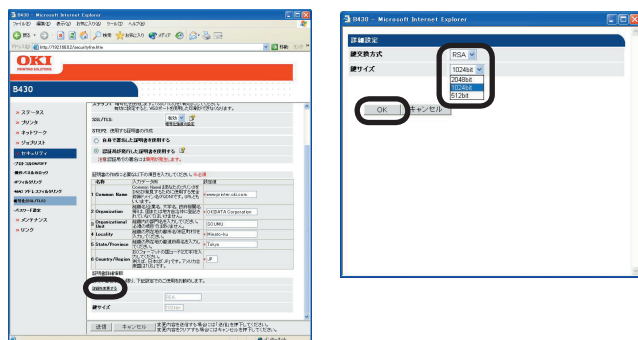
❻［暗号化（SSL/TLS）］をクリックします。

❼ SSL/TLS 設定を有効にします。

暗号化強度を変更したいときは？（通常は［標準］のままご使用ください。）

☞「暗号化強度の設定」をクリックし、［暗号化強度］の値を変更します。

❽ CommonName、Organization、等の項目を入力します。

「認証局が発行した証明書を使用する」を選択した場合、入力内容等証明書発行手続きの詳細は、認証局の手順に従ってください。

鍵交換方式、鍵サイズを変更したいときは?
(初期値は RSA、1024bit です。通常はそのまま変更せずにご使用ください。)
☞「詳細を変更する」をクリックします。

❾ 入力内容が表示されます。
内容を確認し、[OK] をクリックしてください。証明書を作成します。

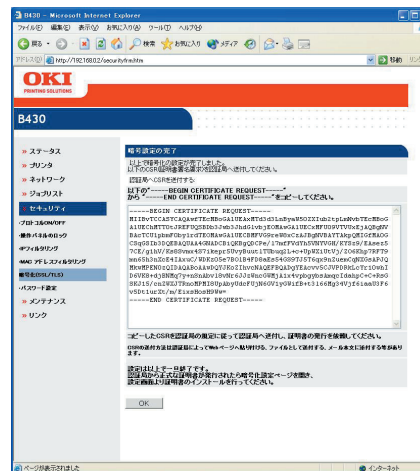
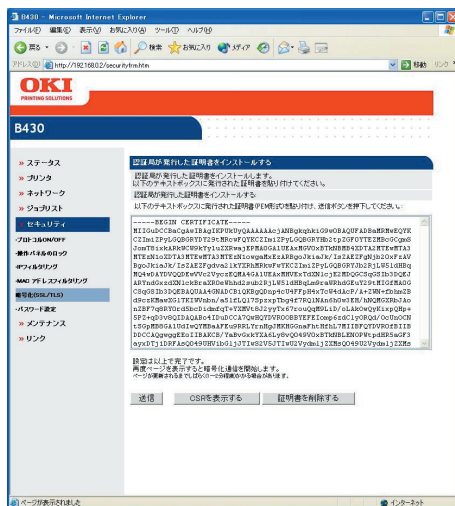
以上で自己署名証明書の作成は完了です。

認証局証明書の場合、続いて以下の手順が必要です。

❿ CSR を取り出し認証局へ送付します。(認証局証明書の場合)

テキストボックス内の「----- BEGIN CERTIFICATE REQUEST -----」から「----- END CERTIFICATE REQUEST -----」をコピーしてください。CSR の送付方法は、認証局によって Web ページへ貼り付ける、ファイルとして送付する、メール本文に添付する等があります。

8

信号を暗号化します (SSL/TLS)

⓫ 認証局から発行された証明書を（Web を使用して）インストールします。（認証局証明書の場合）

手順❶～❼に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示します。

発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付け、「送信」をクリックします。

これで認証局証明書の作成は完了です。

使用方法

Web ページからの設定

❶ Web ブラウザを起動し、アドレスに「https:// プリンタの IP アドレス」と入力し、接続します。

印刷（IPP 印刷）

環境

使用可能な OS	Windows Vista, Windows 2000 サーバ, Windows Server 2003, Windows XP, Windows 2000

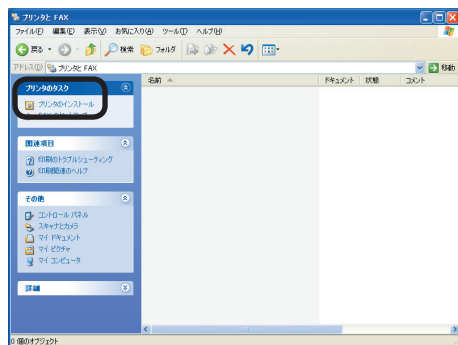
❶ コンピュータの電源を ON にし Windows を起動します。

工場出荷時の設定では、IPP は無効になっています。
IPP で印刷を行うためには、「Web ブラウザ」(56 ページ) を起動し、ネットワークタブの［IPP］(61 ページ) の設定を行ってください。

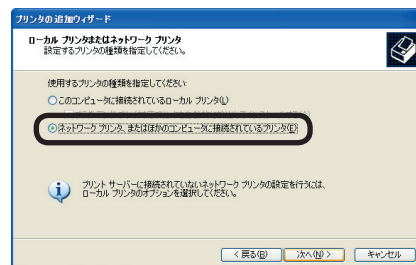
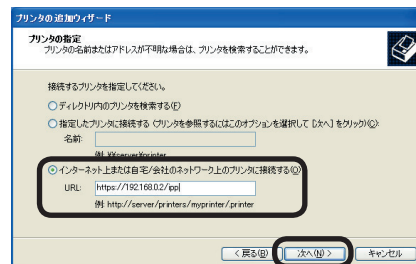
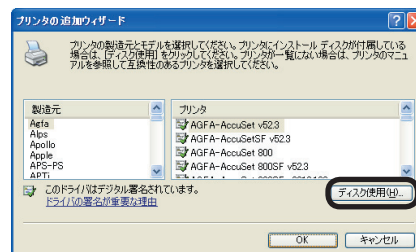
❷ プリンタを追加します。

〈Windows Vista の場合〉
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］をクリックします。［プリンタのインストール］をクリックします。

〈Windows XP の場合〉
［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタと FAX］をクリックします。
［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

〈Windows Server 2003 の場合〉
［スタート］-［プリンタと FAX］をクリックします。
［プリンタの追加］をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹［ネットワークプリンタまたは他のコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❺［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、URL の設定を https:// プリンタの IP アドレス /ipp または https:// プリンタの IP アドレス /ipp/lp と入力し、［次へ］をクリックします。

❻［ディスク使用］をクリックします。

❼「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

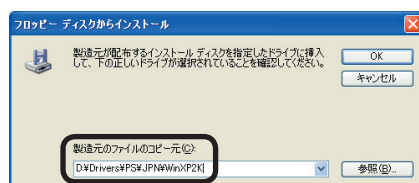
❽［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

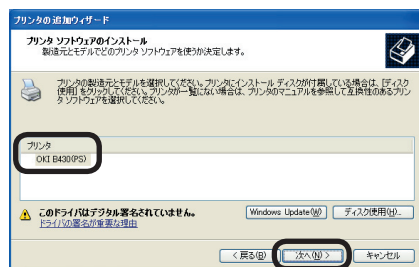
ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。

Windows Vista（32bit 版）/XP（32bit 版）/Server 2003（32bit 版）/2000 で PS プリンタドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥PS¥JPN¥WinXP2K

Windows Vista（32bit 版）/XP（32bit 版）/Server 2003（32bit 版）/2000 で PCL プリンタドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥PCL¥JPN¥WinXP2K

Windows Vista（x64 版）/XP（x64 版）/Server 2003（x64 版）で PS プリンタドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥PS¥JPN¥WinXP64

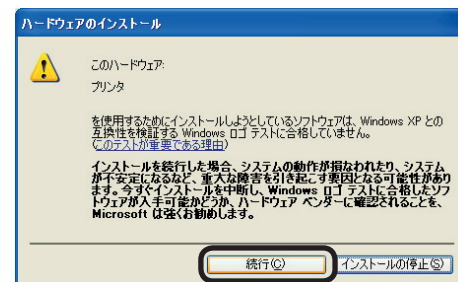
Windows Vista（x64 版）/XP（x64 版）/Server 2003（x64 版）で PCL プリンタドライバをインストールする場合
D:¥Drivers¥PCL¥JPN¥WinXP64

メモ　ポストスクリプトに対応しているアプリケーション（Adobe Illustrator など）から印刷する場合は PS を選択します。
その他のアプリケーションから印刷する場合は、どちらでも選択できます。

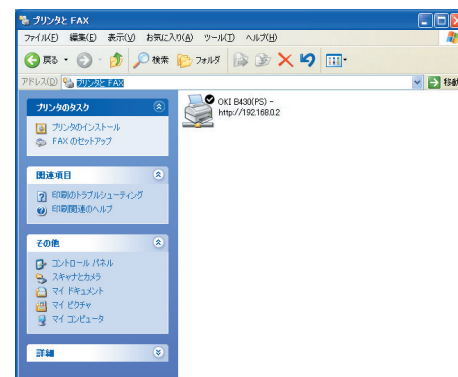
❾プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❿プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

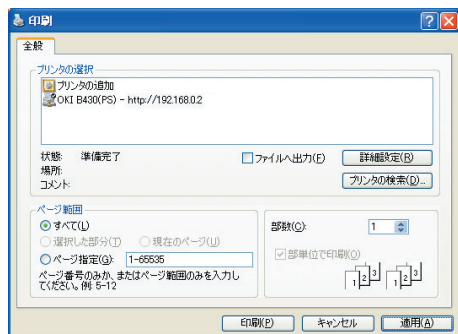
⓫［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬［完了］をクリックします。

⓭「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓮プリンタアイコンを選択し、右クリックでプロパティを開きます。［テストページの印刷］をクリックします。

プリンタ　テスト　ページが印刷されたら、セットアップは完了です。

印刷したいファイルを開きます。

⓯ [ファイル] - [印刷] を選択し、作成した IPP プリンタを指定して印刷を行います。

IP アドレスでのアクセス制限機能（IP フィルタ）を使います

プリンタへのアクセスを IP アドレスを用いて管理できます 。
AdminManager (Windows) 、Web ブラウザ 、TELNET で設定ができます 。

- プリンタの初期設定では、「IP フィルタ」が「無効」に設定されています 。
- IP アドレスの入力を間違えると、IP プロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります 。十分注意して設定してください 。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: B430dn
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

起動と設定方法

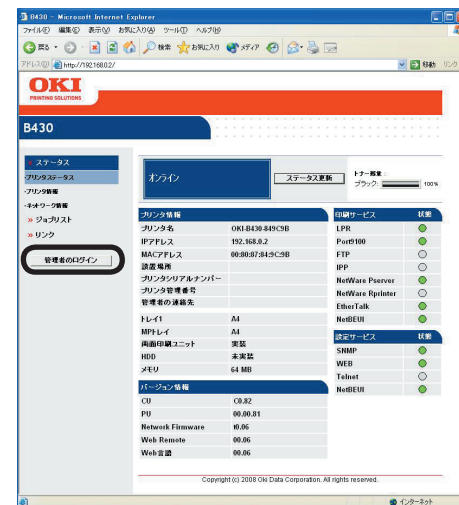
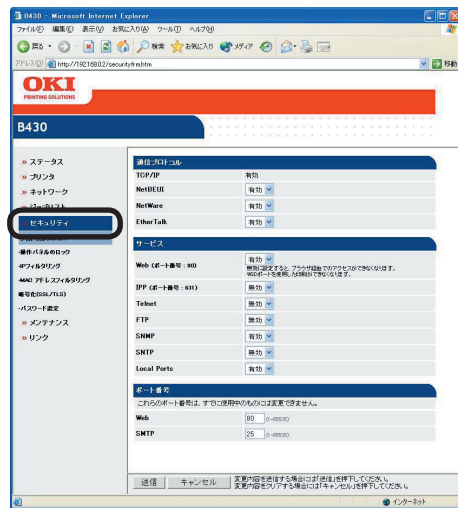
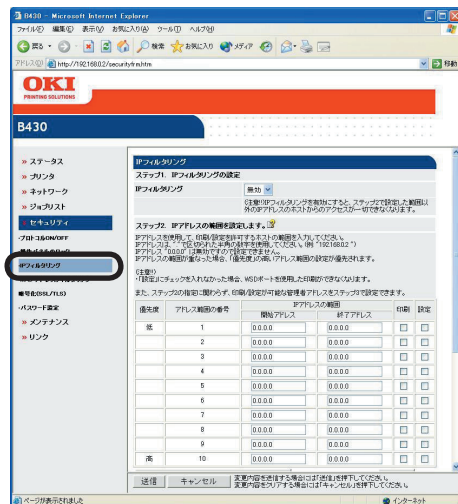
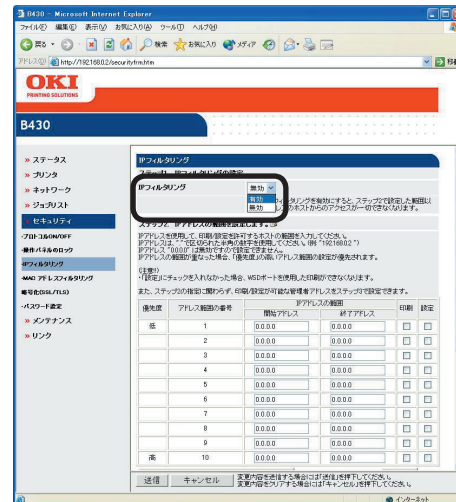
❶ Web ブラウザを起動します 。

❷ [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し 、Enter キーを押します 。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [管理者のログイン] をクリックします 。

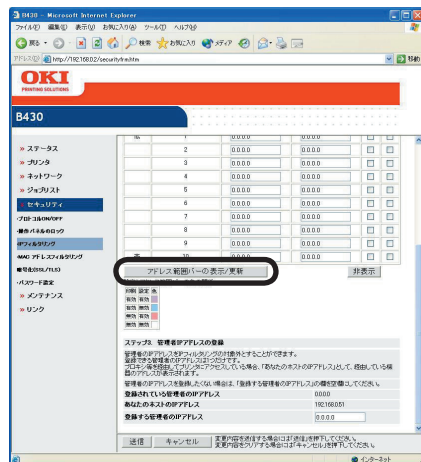
❹ [ユーザ名] に「root」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し 、[OK] をクリックします 。

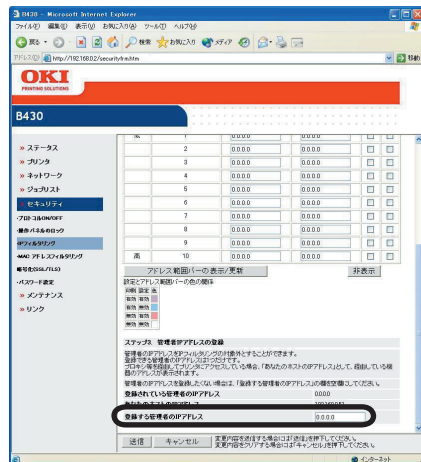
メモ
- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［セキュリティ］をクリックします。

❻［IP フィルタリング］をクリックします。

❼「ステップ 1」で、「IP フィルタリングの設定」を［有効］にします。

IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ2」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

❽「ステップ 2」で、IP アドレスの範囲を設定します。

注

- IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IP アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。
- IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ 2 の指定に関わらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

❾［アドレス範囲バーの表示 / 更新］ボタンをクリックします 。

IP アドレスの範囲を 、修正したい場合は 、該当する IP アドレスを入力し直し、再度 、［アドレス範囲バーの表示 / 更新］をクリックしてください 。

❿「ステップ 3」で 、「登録する管理者 IP アドレス」の値を設定します。

「登録する管理者 IP アドレス」に管理者の IP アドレスを入力することにより 、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも 、管理者は「登録する管理者 IP アドレス」で設定した IP アドレスのホストから再設定することができます 。

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホスト IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の IP アドレスを登録したくない場合は、「登録する管理者の IP アドレス」の欄を空欄にしてください。

⓫「送信」をクリックします 。

⓬ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

MAC アドレスでのアクセス制限機能を使います

プリンタへのアクセスを MAC アドレスを用いて管理できます。
AdminManager、Web ブラウザで設定ができます。

MAC アドレスの入力を間違えると、ネットワークを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　: B430dn
プリンタの IP アドレス : 192.168.0.2
Web ブラウザ　　　　: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

起動と設定方法

❶ Web ブラウザを起動します。

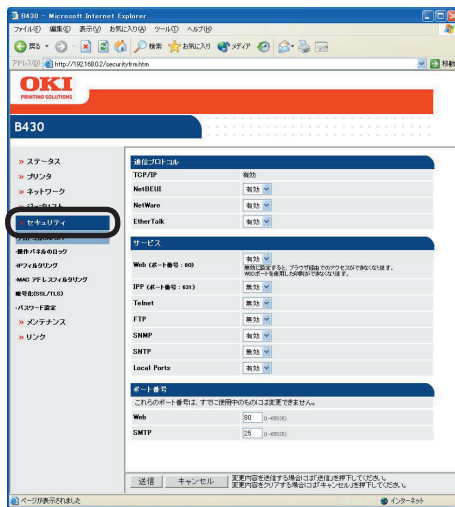
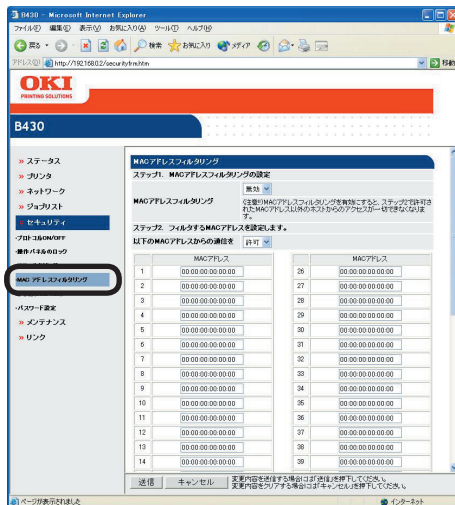
❷ [アドレス] に [http:// プリンタの IP アドレス] を入力し ,Enter キーを押します。

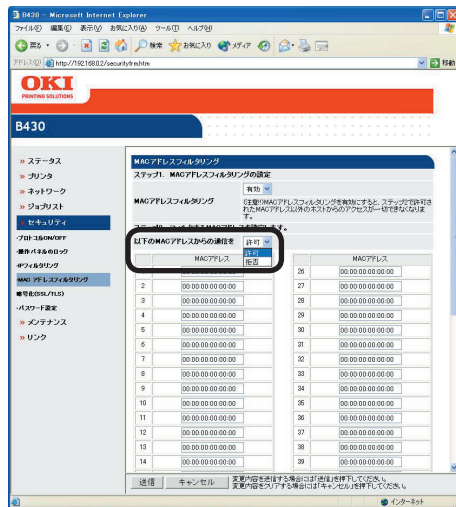
プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [管理者のログイン] をクリックします。

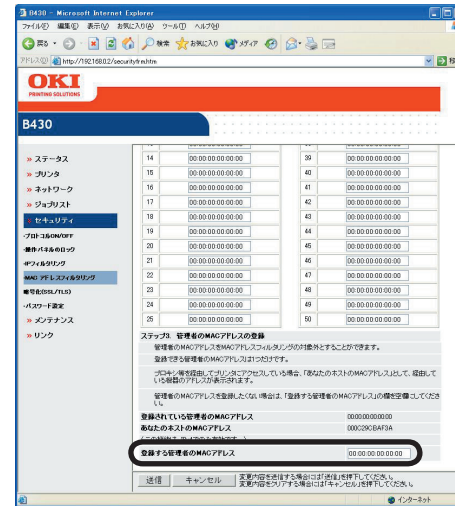
❹ [ユーザ名] に [root]、[パスワード] に現在のパスワードを入力し [OK] をクリックします。

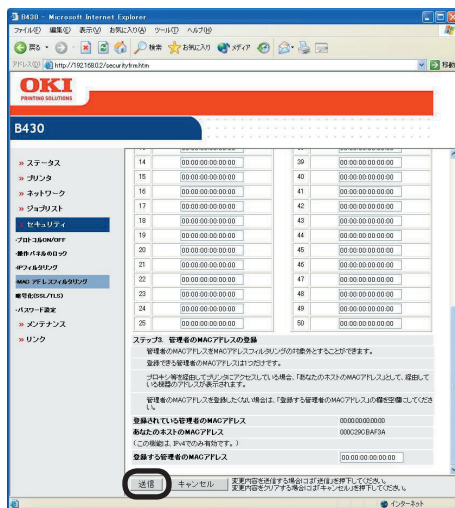
メモ
- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❼［セキュリティ］をクリックします。

❽［MAC アドレスフィルタリング］をクリックします。

❾［ステップ 1］で［MAC アドレスフィルタリングの設定］を「有効」にします。

⑩「ステップ 2」で特定の MAC アドレスからの通信を「許可 (拒否)」するかどうかを選択します。

・ MAC アドレスを使用して通信を許可 (拒否) するホストの MAC アドレスを入力してください。
・ MAC アドレスは、“：” で区切られた半角の数字を使用してください。
・ ステップ 2 の指定に関わらず、通信が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

⑪「ステップ 3」で、「登録する管理者 MAC アドレス」の値を設定します。

「登録する管理者 MAC アドレス」に管理者の MAC アドレスを入力することにより、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「登録する管理者 MAC アドレス」で設定した MAC アドレスのホストから再設定することができます。

・ プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストの MAC アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの MAC アドレス」が異なる場合があります。
・「管理者 MAC アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
・ 管理者の MAC アドレスを登録したくない場合は、「登録する管理者 MAC アドレス」の欄を 00:00:00:00:00:00 にしてください。

⓬「送信」をクリックします。

⓭ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メール送信機能（SMTP）を使います

メール送信機能（SMTP)を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。
Web ブラウザ、TELNET で設定ができます。
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: B430dn
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

電子メール送信の設定をします

❶ Web ブラウザを起動します。

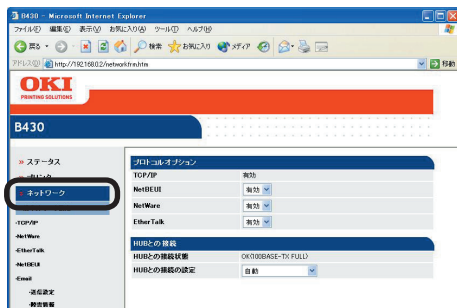
❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enter キーを押します。
ここでは、プリンタの IP アドレスが 192.168.0.2 の場合を例にしています。

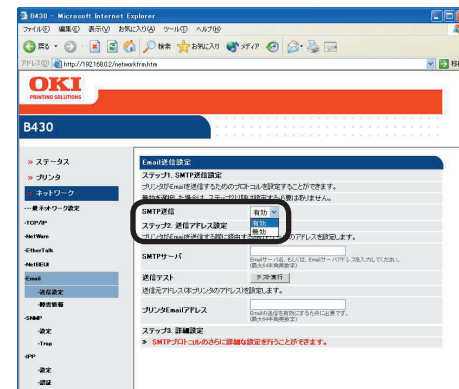
プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [管理者のログイン］をクリックします。

❹ [ユーザー名］に「root」、[パスワード］に「現在のパスワード」を入力し、[OK］をクリックします。

メモ
- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

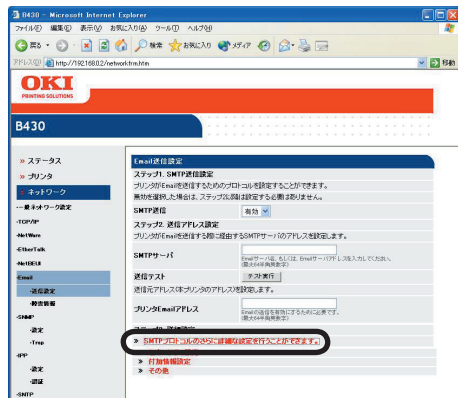
❺［ネットワーク］をクリックします。

❻［Email］-［送信設定］をクリックします。

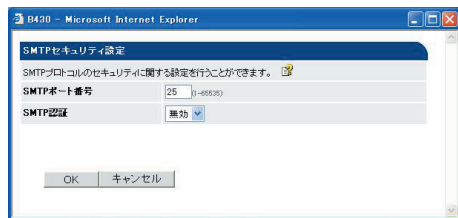
❼「ステップ 1」で、「SMTP 送信設定」を［有効］にします。

❽「ステップ 2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

① 「SMTP サーバ」に、メールサーバのドメイン名または IP アドレスを設定します。

② 「プリンタ Email アドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

- 「SMTP サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNS サーバの設定が必要です。
- メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾ 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ 3」で［SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。］をクリックします。

それ以外の場合は㉑へ進みます。

❿［セキュリティ設定］をクリックします。

⓫「SMTP 認証」を［有効］にします。

⓬「ユーザ ID」を入力します。

⓭「パスワード」を入力します。

注 「ユーザ ID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。

⓮［OK］をクリックします。

⓯［付加情報設定］をクリックします。

⓰ Email 送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

⓱［OK］をクリックします。

⓲［その他］をクリックします。

⓳「返信先 Email アドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

⓴［OK］をクリックします。

㉑「送信」をクリックします。

㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ 認証方式はメールサーバのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

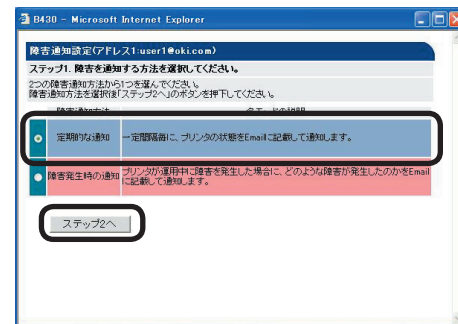
発生した障害を定期的に通知します

❶［Email］-［障害情報］をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ２へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

メモ 期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼［OK］をクリックします。

❽障害通知条件の設定内容を確認します。

①一覧表示したい場合

a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

②２つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

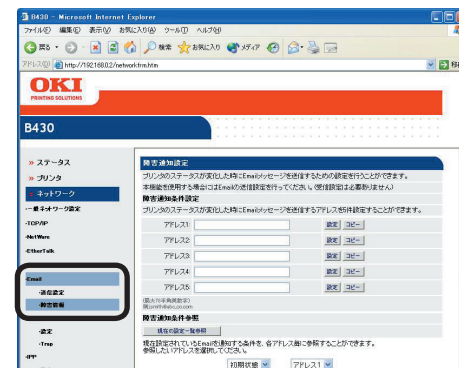
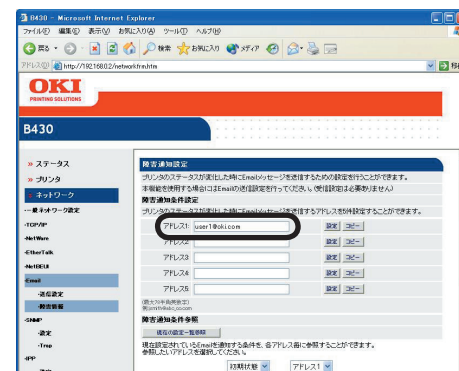
b. 表示された設定内容を確認します。

メモ　設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします 。

❿プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

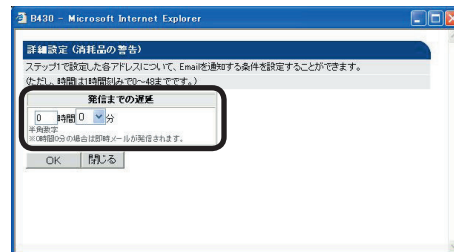
障害が発生したことを通知します

❶［Email］－［障害情報］をクリックします。

❷障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

メモ　［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ２へ」をクリックします。

❺［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

メモ
- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

①一覧表示したい場合

a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

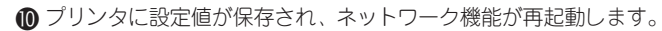
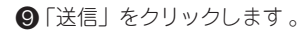
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

②2 つの宛先の設定条件を比較したい場合
　a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
　b. 表示された設定内容を確認します。

メモ　設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします 。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

SNMP を使います

SNMP エージェントを実装しています。市販されている SNMP マネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMP マネージャで参照・変更可能な設定項目は MIB と呼ばれ、B430dn は MIB-II および沖データプライベート MIB に対応しています。沖データプライベート MIB については、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」の［MISC］-［Mib］フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

SNMPv3 を使います

SNMPv3 対応エージェントを実装しています。
SNMPv3 対応 SNMP マネージャを使うと、SNMP によるプリンタの管理を暗号化し安全に行うことができます。

AdminManager(Windows)、Web ブラウザ、Telnet で設定できます。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：B430dn
プリンタの IPv4 アドレス	：192.168.0.2
Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

SNMPv3 の設定をします

❶ Web ブラウザを起動します。

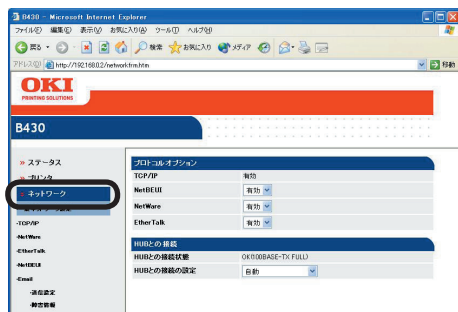
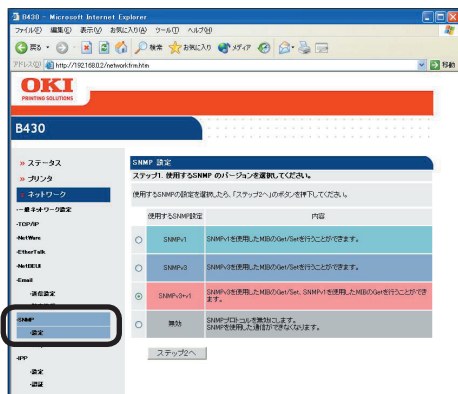
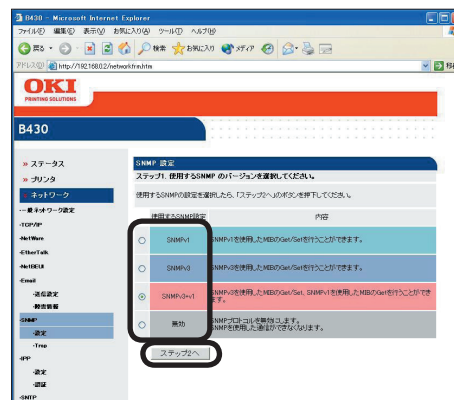
❷［アドレス］に［http:// プリンタの IP アドレス］を入力し、Enter キーを押します。

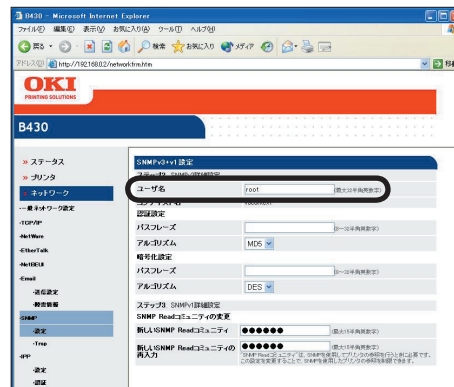
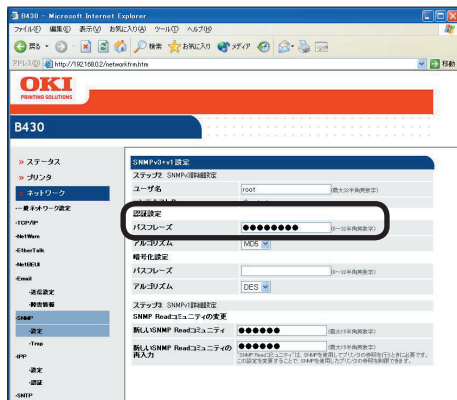
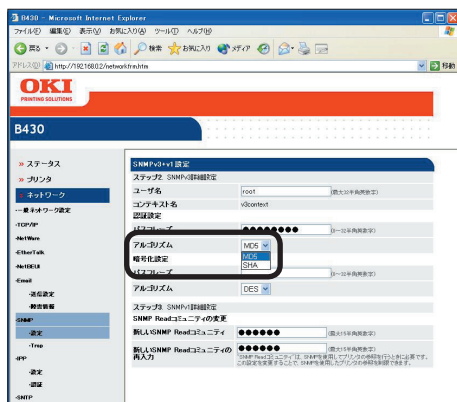
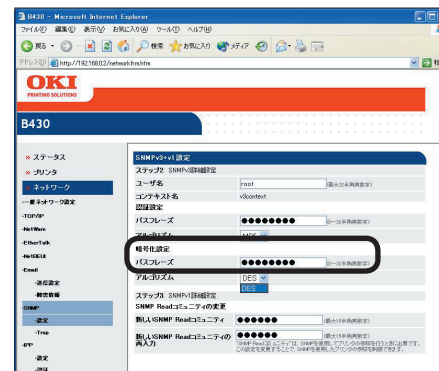
プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザ名］に［root］、［パスワード］に［現在のパスワード］を入力し［OK］をクリックします。

メモ
- パスワードの初期値は「MAC アドレス」の英数字下 6 桁です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［SNMP］-［設定］をクリックします。

❼「ステップ 1」で使用する SNMP のバージョンにチェックを付け、「ステップ 2 へ」をクリックします。

メモ　［SNMPv3］を選択した場合は、SNMPv1 での参照・設定はできなくなります。［SNMPv3+v1］を選択した場合は、SNMPv1 と SNMPv3 の両方で参照はできますが、設定は SNMPv3 でしかできません。

❽「ステップ 2」で［ユーザ名］に SNMPv3 ユーザ名を入力します。

❾「認証設定」で［パスフレーズ］に認証用パスフレーズを入力します。

❿［アルゴリズム］を選択します。

⓫「暗号化設定」で［パスフレーズ］に暗号化用パスフレーズを入力します。

メモ　暗号化アルゴリズムは［DES］のみ選択できます。

⓬「送信」をクリックします。

⓭プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ　お使いの SNMP マネージャのコンテキスト名には「v3context」を設定してください。

IPv6 を使います

IPv6 機能を実装しています。
IPv6 アドレスは自動的に取得されます。IPv6 アドレスの手動設定はできません。
IPv6 では以下のプロトコルに対応しています。

印刷：LPD、Port9100、IPP、FTP
設定：HTTP、Telnet、SNMPv1/v3

SMTP 送信、IP フィルタリング、WINS 登録、SNMP Trap などは IPv4 にのみ対応しています。

本製品との正常動作を確認済みのアプリケーションは下表の通りです。

Windows XP で IPv6 を使用するには別途 IPv6 のインストールが必要です。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
LPD	Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの LPR	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
Port9100	Redhat Linux 9.0 LPRng	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
FTP	Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続することははできません。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
HTTP	Windows Vista Internet Explorer 7.0 Windows XP Internet Explorer 6.0	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) またリンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続することはできません。
	Windows Vista Windows XP Mozilla Firefox(Ver.2.0)	(1) IPv6 アドレスを“[]”で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Windows Vista Windows XP Mozilla(Ver.1.7.8)	
	Mac OS X Safari (1.2.3-v125.9)	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続することはできません。
	Mac OS X Safari (2.0-v412.2)	(1) IPv6 アドレスを“[]”で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続することはできません。
Telnet	Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が“fe80”で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：B430dn
プリンタの IPv4 アドレス	：192.168.0.2
Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

IPv6 の設定をします

❶ Web ブラウザを起動します。

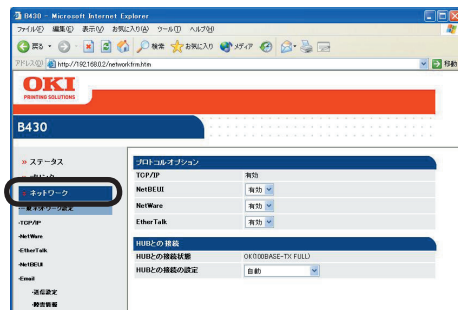
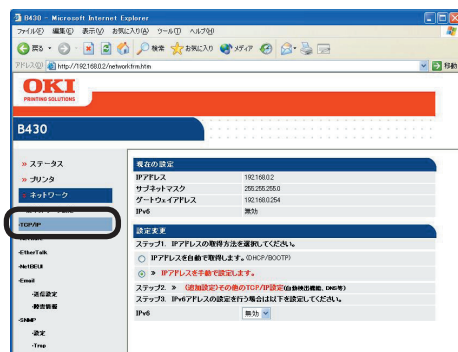
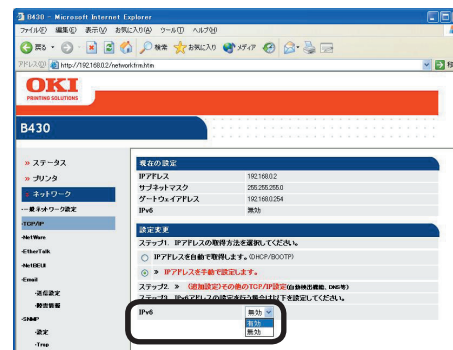
❷［アドレス］に［http:// プリンタの IPv4 アドレス］を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザ名］に［root］、［パスワード］に［現在のパスワード］を入力し［OK］をクリックします。

メモ
- パスワードの初期値は「MAC アドレス」の英数字下 6 桁です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［TCP/IP］をクリックします。

❼［IPv6］で［有効］を選択します。

❽「送信」をクリックします。

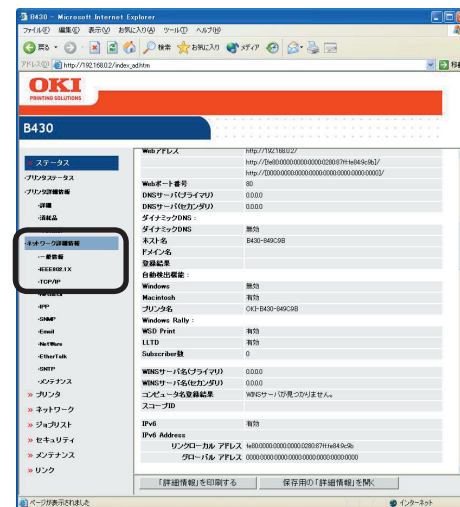
❾プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

Telnet を使うと、IPv4 を無効にし、IPv6 のみ有効に設定することができます。この場合、IPv4 でしか機能しないネットワーク機能は使用できなくなりますので注意してください。

IPv6 アドレスを確認します

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。
取得された IPv6 アドレスは、Web ブラウザ、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されます。

❶［ステータス］タブをクリックします。

❷［ネットワーク設定］-［TCP/IP］をクリックします。

リンクローカルアドレスとグローバルアドレスを確認します。図示した環境ではグローバルアドレスは取得されていません。

- グローバルアドレスがすべて“0”で表示されている場合は、ルータからネットワークプレフィックスを取得できていません。お使いのルータが正しく設定されているか確認してください。
- お使いのコンピュータから IPv6 を使ってプリンタに接続するための設定方法は、お使いのコンピュータまたはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

EtherTalk プリンタ名を変更したい

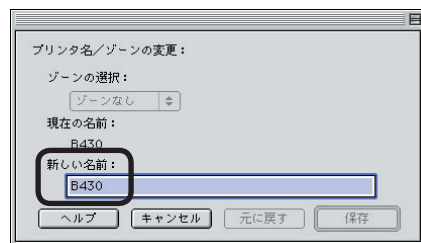
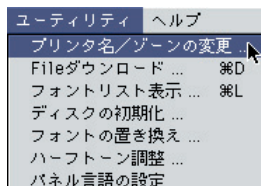
EtherTalk の場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［プリンタ名 / ゾーンの変更 ...］を選択します。

❸ 新しい名前を入力し、［保存］をクリックします。

プリンタ名の文字長は最大 31 文字にすることができます。ただしプリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用できません。
2 バイトコードの上下どちらかのバイトに（=:*@˜≈）と一致するコードが含まれるような文字、例えば（円、淳、ァ、法）などはプリンタ名として使用することはできません。

Web ブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ ［管理者のログイン］をクリックします。

❸ ［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順❶の画面に表示されています。

❹ ［ネットワーク］タブの［EtherTalk］をクリックします。

❺ ［EtherTalk プリンタ名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

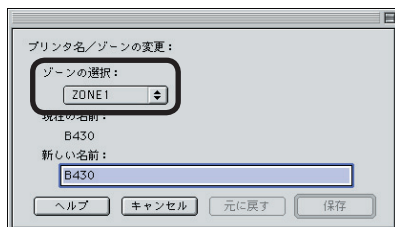
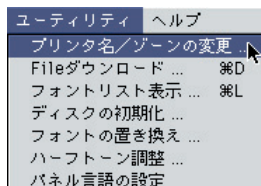
- プリンタ名は 32 文字以内の英数字で設定できます。
- プリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用しないでください。

EtherTalk ゾーンを変更したい

複数の論理ゾーンで区切られている EtherTalk で、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

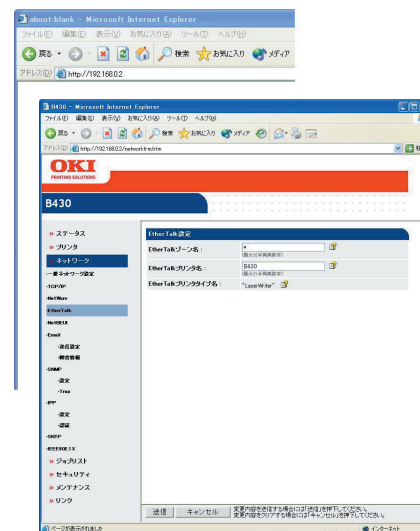
選択できるゾーンは同一セグメント内です。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ] メニューから [プリンタ名 / ゾーンの変更 ...] を選択します。

❸ 変更したいゾーン名を選び、[保存] をクリックします。

Web ブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、[アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ [管理者のログイン] をクリックします。

❸ [ユーザ名] に「root」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順❶の画面に表示されています。

❹ [ネットワーク] タブの [EtherTalk] をクリックします。

❺ [EtherTalk ゾーン名] に新しい名前を入力し、[送信] をクリックします。

IEEE802.1X を使います

IEEE802.1X による認証機能に対応しています。
AdminManager(Windows)、Web ブラウザ、TELNET で設定できます。

お使いのネットワーク環境によっては正常に動作しないことがあります。

IEEE802.1X セットアップの流れ

プリンタに IEEE802.1X の設定を行うために、まず、プリンタとコンピュータとを通常のハブを経由してセットアップ用の接続をします。IEEE802.1X の設定完了後、認証スイッチにプリンタを接続します。

1. プリンタとコンピュータとを接続します。
2. コンピュータにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
3. プリンタにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
   プリンタとコンピュータとの接続およびプリンタとコンピュータ（Windows）の IP アドレス設定方法については、セットアップ編「コンピュータと接続します」をご覧ください。
4. プリンタに IEEE802.1X の設定をします。
5. プリンタを認証スイッチに接続します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　：B430dn
IP アドレス　：192.168.0.3（コンピュータのセットアップ用アドレス）
　192.168.0.2（プリンタのセットアップ用アドレス）
サブネットマスク　：255.255.255.0
Web ブラウザ　：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

IEEE802.1X の設定をします

❶ Web ブラウザを起動します。

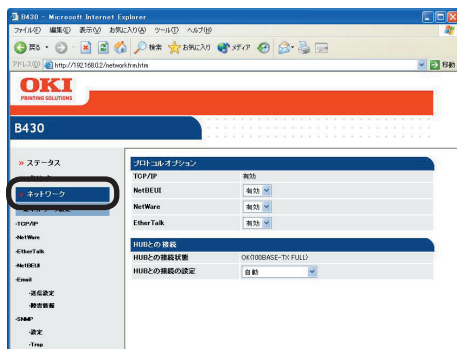
❷［アドレス］に「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に「現在のパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

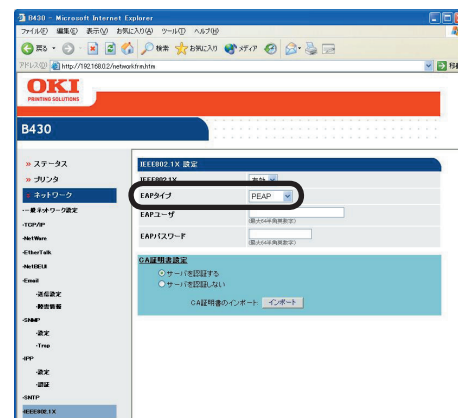
- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［IEEE802.1X］メニューをクリックします。

PEAP を使用する場合

メモ　EAP-TLS を使用する場合は、227 ページへ進んでください。

❼［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

❽［EAP タイプ］で［PEAP］を選択します。

❾［EAP ユーザ］にユーザ名を入力します。

❿［EAP パスワード］にパスワードを入力します。

⓫ ［サーバを認証する］をチェックします。

⓬ ［CA 証明書のインポート］をクリックします。

メモ ［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

⓭ CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM または DER 形式です。

CA 証明書がプリンタにインポートされます。

⓮「送信」をクリックします。

⓯ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

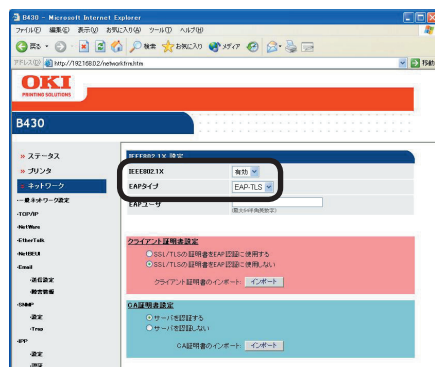
操作パネルに［印刷できます］が表示されたら、プリンタの電源を切ります。

プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップ編）をご覧ください。

☞「プリンタを認証スイッチに接続します」（228 ページ）に進みます。

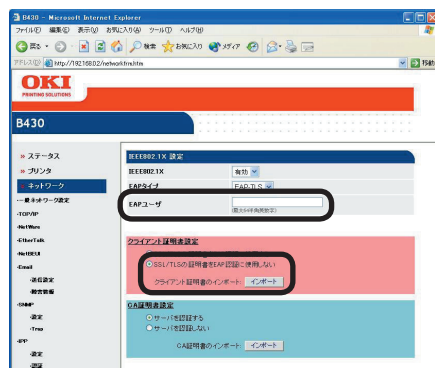
EAP-TLS を使用する場合

❼ ［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

❽ ［EAP タイプ］で［EAP-TLS］を選択します。

❾ ［EAP ユーザ］にユーザ名を入力します。

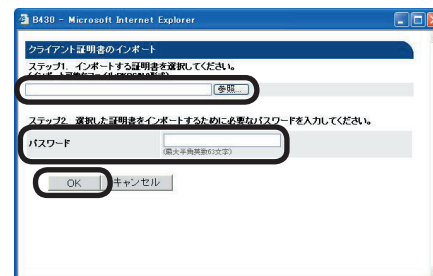
❿ ［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用しない］をチェックします。

メモ　通常は［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する］にチェックしないでください。

⓫ ［クライアント証明書のインポート］をクリックします。

「クライアント証明書のインポート」画面が表示されます。

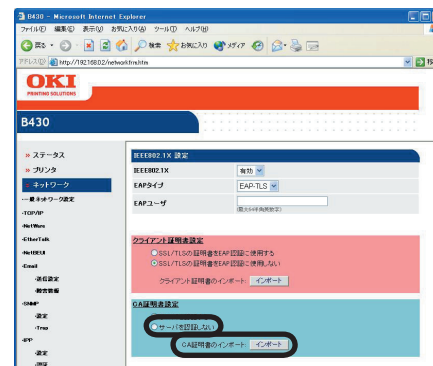
⓬ クライアント証明書のファイル名を入力します。

メモ　インポートできる証明書ファイルの形式は PKCS#12 です。

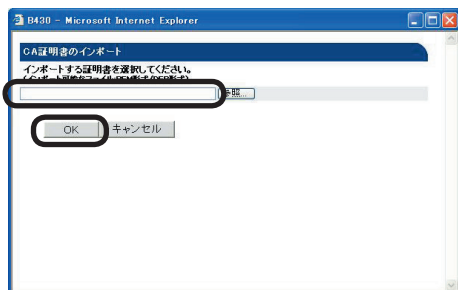
⓭ クライアント証明書のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

クライアント証明書がプリンタにインポートされます。

⓮ ［サーバを認証する］をチェックします。

⓯ ［CA 証明書のインポート］をクリックします。

メモ　［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

⑯ CA 証明書のファイル名を入力し、[OK] をクリックします。

メモ
・インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
・インポートできるファイル形式は PEM または DER 形式です。

CA 証明書がプリンタにインポートされます。

⑰「送信」をクリックします。

⑱ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに［オンライン］と表示されたら、プリンタの電源を切ります。

注 プリンタの電源の切り方はユーザーズマニュアル（セットアップ編）をご覧ください。

「プリンタを認証スイッチに接続します」に進みます。

プリンタを認証スイッチに接続します

メモ プリンタの電源が切れていることを確認してください。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルを認証スイッチの認証ポートに差し込みます。

❸ プリンタの電源スイッチの On（｜）を押します

❹ 操作パネルに［オンライン］と表示したことを確認します。

❺ プリンタの IP アドレス等をお使いの環境に従って設定します。

9 困ったときには

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センター（セットアップ編）へご連絡ください。

ｘｘｘｘ：プリント言語
ｔｔｔｔ：トレイ
ｍｍｍｍ：用紙サイズ
ｐｐｐｐ：用紙タイプ
ｃｃｃｃ：カバー

ステータス

プリンタの状態を示すメッセージです。

操作パネル	内　容
INITIALIZING	プリンタの初期化中です。 フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
MENU RESETTING	メニューリセット中です。 フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
RAM CHECK ****************	RAM チェック中です。 フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
WAIT A MOMENT NETWORK INITIAL	ネットワークの初期化中です。 フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
ｵﾝﾗｲﾝ	オンラインです。印刷データを受信できます。
ｵﾌﾗｲﾝ	オフラインです。印刷する場合は「オンライン」スイッチを押してオンラインにしてください。
ﾌｧｲﾙｱｸｾｽﾁｭｳ	プリントジョブアカウンティングでフラッシュメモリにアクセスしています。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ	データ受信中です。
ｼｮﾘﾁｭｳ	データ受信中または受信したデータを処理しています。
ﾃﾞｰﾀｱﾘ	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷しています。
ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ ｲﾝｻﾂ	テストページを印刷しています。
ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ	フォントリストを印刷しています。
ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	メニューマップを印刷しています。
ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ	ファイルリストを印刷しています。
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	クリーニング印刷をしています。
ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	エラーログ印刷をしています。
ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ ｲﾝｻﾂ	ネットワーク設定を印刷をしています。
□ ｺﾋﾟｰ kkk/lll	コピー枚数が 2 部以上のとき、現在印刷しているコピー部数を表示します。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ	受信したデータをキャンセルしています。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ （ｼﾞｬﾑ）	受信したデータをキャンセルしています。（紙づまり復旧後の動作）
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ （ｲﾝｻﾂｷｮｶ ﾅｼ）	プリントジョブアカウンティングで印刷が許可されていないユーザからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 （1）使用制限で印刷不可が設定されているユーザのジョブ （2）使用制限でカラー印刷不可が設定されているユーザのジョブ （3）設定された制限値を超えたユーザのジョブ
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ （ﾊﾞｯﾌｧ ﾌﾙ）	プリントジョブアカウンティングのログフル時の操作が「ジョブをキャンセルする」に設定されているとき、ログを格納する領域が足りなくなり、ジョブがキャンセルされました。

操作パネル	内　容
□ ﾃｲﾁｬｸｵﾝﾄﾞ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	ウォーミングアップ動作中です。
□ ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	省電力モード中です。

ワーニング

印刷可能なメッセージです。メッセージによってはそのまま使用すると故障の原因になる場合がありますので、対処方法に従って対処してください。

操作パネル	内　容
□ ﾄﾅｰ ﾌｿｸ	トナー残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。
□ NON OEM ﾄﾅｰ	純正のトナーカートリッジが装着されていません。純正のトナーカートリッジではありませんが、作動します。
□ ﾄﾅｰｶﾞ ﾀﾀﾞｼｸｱﾘﾏｾﾝ	純正のトナーカートリッジが装着されていません。
□ ﾄﾅｰｶﾞ ﾆﾝｼｷﾃﾞｷﾏｾﾝ	トナーカートリッジが認識できません。純正のトナーカートリッジをセットしてください。
□ PS3 ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ	データ処理中にポストスクリプトエラーが発生しました。ジョブに誤りがあるか、複雑すぎます。
□ ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	イメージドラムカートリッジの交換時期間近です。イメージドラムおよびトナーカートリッジの交換準備をして、交換してください。
□ ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
□ ﾄﾅｰ ｾﾝｻ -	トナーセンサに異常があります。電源を OFF/ON してください。イメージドラムカートリッジを交換してください。
□ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トナーカートリッジがセットされていません。トナーカートリッジをセットしてください。
□ ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	イメージドラムカートリッジの交換時期です。イメージドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換してください。
□ ｔｔｔｔ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	tttt トレイに用紙がありません。トレイに用紙をセットしてください。

操作パネル	内　容
□ ﾄﾚｲ 1 ﾏﾀﾊ ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ ﾕﾆｯﾄｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	トレイ 1 ユニットが外れているか、または Duplex ユニットが装着されていません。
□ ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ ﾌﾙ	フラッシュメモリがいっぱいです。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。
□ ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ ｶｷｺﾐｷﾝｼ	フラッシュメモリに書き込めません。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。
□ JOB LOG. DISK FULL	印刷集計機能を実行するための保存デバイスの空き容量が少なくなっています。
□ ｷｮｶｻﾚﾃｲﾅｲ ID. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	プリントジョブアカウンティングで「データクリア（キョカナシ)」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。 「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
□ ﾛｸﾞﾊﾞｯﾌｧﾌﾙ . ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	プリントジョブアカウンティングで「データクリア（LOG フル)」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
□ ﾌｧｲﾙｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ nnn	フラッシュメモリに不正なアクセスがありました。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。
ｵﾝﾗｲﾝ SW ｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ	無効データを受信しました。「オンライン」スイッチを押してください。

エラー

プリンタが停止するメッセージです。対処方法に従って対処してください。

操作パネル	内　容
mmmm ｦ MP ﾄﾚｲﾆ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	印刷を行います。表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、「オンライン」スイッチを押してください。
ｔｔｔｔ ﾘｮｳﾒﾝﾉ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	両面指定の印刷で、片面を印刷し終えた用紙をもう一方の面を印刷するために指定トレイにセットしてください。
mmmm/pppp ｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ nnn: ｔｔｔｔ ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	トレイの用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。 460：マルチパーパストレイ 461：トレイ 1 462：トレイ 2

操作パネル	内 容
mmmm/pppp ｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ nnn: ｔ ｔ ｔ ｔ ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	トレイの用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。 プリンタの設定メニューで、[メディアメニュー][トレイ 用紙サイズ] を用紙サイズに合わせてください。 460：マルチパーパストレイ 461：トレイ 1 462：トレイ 2
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ｶｷｺﾐﾁｭｳ	ネットワークの設定を保存しています。
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ	ネットワークの設定を変更しています。
mmmm ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ nnn: ｔ ｔ ｔ ｔ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。 491：トレイ 1 492：トレイ 2
mmmm ｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 490:MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	マルチパーパストレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
ﾕﾆｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 449: ﾄﾚｲ 1 ﾏﾀﾊ ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ ﾕﾆｯﾄｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	印刷しようとしましたが、トレイ 1 のカセットまたは両面印刷ユニットが抜かれていて給紙できません。トレイ 1 のカセットと両面印刷ユニットを入れてください。
ﾒﾓﾘ - ｦ ﾂｲｶｼﾃｸﾀﾞｻｲ 420: ﾒﾓﾘ - ｵｰﾊﾞﾌﾛｰ	メモリ不足です。「オンライン」スイッチを押してください。必要に応じて増設メモリをお求めください。
ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 413: ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けると、イメージドラムカートリッジの故障の原因になります。
ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 557: ﾄﾅｰｶﾞ ﾀﾀﾞｼｸｱﾘﾏｾﾝ	トナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。
ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 617: ﾄﾅｰﾊ ﾀｼｬﾌﾟﾘﾝﾀﾖｳﾃﾞｽ	トナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。
ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 623: ﾄﾅｰﾊ ﾀｼｬﾌﾟﾘﾝﾀﾖｳﾃﾞｽ	トナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。
ｼﾞｭﾝｾｲﾄﾅｰﾉｼﾖｳｦｵｽｽﾒｼﾏｽ 553: ﾄﾅｰﾊ ｼﾞｭﾝｾｲﾋﾝﾃﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ	トナーカートリッジが認識できません。純正のトナーカートリッジをセットしてください。
ﾄﾅｰｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ 613: ﾄﾅｰ ﾐｿｳﾁｬｸﾃﾞｽ	トナーカートリッジがセットされていません。トナーカートリッジをセットしてください。

操作パネル	内 容
ﾄﾞﾗﾑｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 543: ﾄﾅｰｾﾝｻｰ ｴﾗｰ	トナーセンサーエラーです。イメージドラムカートリッジを抜き差ししてください。
ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 400: ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	用紙サイズが違っています。正しいサイズの用紙をトレイに入れて、トップカバーを開閉してください。プリンタ内に用紙が残っている場合は取り除いてください。
ﾁｪｯｸ MP ﾄﾚｲ 390: ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	マルチパーパストレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ nnn: ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	トレイ 1、トレイ 2 からの給紙中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。 391：トレイ 1 392：トレイ 2
ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 380: ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ nnn: ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。 381：ドラム下 382：定着器付近
ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 372: ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。カバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。手前の方に用紙があります。
ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 353: ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	イメージドラムカートリッジの寿命です。新しいドラムカートリッジを入れてください。
ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 547: ﾛｯｸﾚﾊﾞｰﾉ ｲﾁｶﾞ ﾀﾀﾞｼｸｱﾘﾏｾﾝ	トナーカートリッジがロックされていません。トナーカートリッジのレバーを確認してください。
ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 343: ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	ベルトのロックが外れているか、イメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。ベルトのロックを確認し、イメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ nnn: ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	トップカバーまたはリアカバーが開いています。 印刷するときはカバーを閉めてください。 310: トップカバー 587: リアカバー
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝﾁｭｳ	シャットダウンしています。
SHUTDOWN	シャットダウンが終了しました。

操作パネル	内　容
PLEASE POW OFF SHUTDOWN COMP	シャットダウンが終了しました。 電源を切ってください。
POWER OFF/ON nnn:FATAL ERROR SERVICE CALL nnn:FATAL ERROR	プリンタに異常が発生しています。電源を OFF/ON してください。復旧しない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 エラーコードが下記の場合は、次の処理も行ってください。
	031：メモリチェックエラーです。メモリを取り付け直してください。オプションの増設メモリは純正品を使用してください。
	173：定着器の温度エラーです。電源を切り、しばらくの間待ってから、もう一度電源を入れてください。
	182：オプションのセカンドトレイユニットを取り付け直してください。

故障かな？と思ったとき

電源を ON にしても「オンライン」にならない。		
電源コードが抜けています。	☞	電源を OFF にしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。		
エラーが表示されています。	☞	プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は、「操作パネルのメッセージ」（230 ページ）をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	IEEE std 1284-1994 準拠のパラレルケーブルまたは USB2.0 仕様の USB ケーブル、またはカテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレートのイーサネットケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞	プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［ユウコウ］にしてください。
［オフライン］になっています。	☞	「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	☞	プリンタドライバを選択してください。Windows の場合は［通常使うプリンタ］にしてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞	プリントジョブアカウンティングを使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになっている可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

印刷処理が中断する。		
プリンタケーブルが断線しています。	☞	プリンタケーブルを取り替えてください。

異常音がする。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞	プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞	トップカバーの左右を押して閉じてください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。		
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞	プリンタのメンテナンスメニューで、［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞	しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞	印刷処理が中断するまでお待ちください。

印刷が指でこするととれてしまう。印刷用紙を重ねると裏面が汚れる。		
定着不良になっています。	☞	A4, レター , リーガル用紙の場合、高解像度印刷を行うことで印刷速度が遅くなり定着が良くなります。127 ページをご覧ください。

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な湿度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やしわや反りがあります。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。
用紙がそろっていません。	☞ 用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙を 1 枚だけセットしています。	☞ 用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞ 先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞ 用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞ 正しくセットしてください。
はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートを用紙カセットにセットしています。	☞ はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートは用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。

用紙が送られない。	
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞ 用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタのメニュー設定が間違っています。	☞ プリンタのメニュー設定の［**　サイズ］（** はトレイ）で、セットした用紙サイズを設定してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。	
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞ トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。	
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［**　ウェイト］（** はトレイ）を 1 つ薄い紙の値にしてください。プリンタドライバの［用紙厚］で［薄い紙］を選択してください。

Windows から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

最初に確認します

現象

- LINK ランプ(緑)を確認します。100BASE-TX で接続している場合に点灯します。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔（1 秒あるいは 0.1 秒）で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。HUB との接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブトノセツゾク」を「10HALF-T」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ または ボタンを数回押し、［ネットワークメニュー］を表示します。

❷「設定」ボタンを押します。

❸ または ボタンを数回押し、［ハブトノセツゾク／ジドウ］を表示します。

❹「設定」ボタンを押します。

❺ または ボタンを数回押し、［10HALF-T］を表示します。

❻「設定」ボタンを押し、値の右側に［✻］を付けます。

❼「オンライン」ボタンを押し、［オンライン］にします。

- ハブの動作モード(100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重)を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。(設定方法は HUB に付属のマニュアルをご覧ください。)

それでも問題が解決しない場合

Windows Vista

- ［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークの状態とタスクの表示］-［ネットワーク接続の管理］を選択します。［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［ローカルエリア接続の状態］画面の［プロパティ］をクリックします。［ユーザアカウント制御］画面が表示されたら［続行］をクリックします。［インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）］が表示されていることを確認します。
- ［インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）］の［プロパティ］をクリックし、［IP アドレス］，［サブネットマスク］，［デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindows Vista/XP/2000/Server 2003の仕様によるものです。
- ［プリンタ］フォルダから、［OKIB430（PS）］または［OKIB430（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択し、［ポート］タブの［ポートの構成］をクリックして［プリンタ名またはIPアドレス］が、プリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

［IP アドレス］	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
［サブネットマスク］	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
［ゲートウェイ］	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

Windows XP/2000/Server 2003

- ［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］を選択します。（Windows Server 2003では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］を選択します。Windows 2000では［スタート］［設定］-［セットワークとダイアルアップ接続］を選択します。）［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されていることを確認します。
- ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］の［プロパティ］をクリックし、［IP アドレス］，［サブネットマスク］，［デフォルトゲートウェイ］が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindows XP/2000/Server 2003の仕様によるものです。
- ［プリンタとFAX］（Windows 2000では、［プリンタ］）フォルダから、［OKI B430（PS）］または［OKIB430（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択し、［ポート］タブの［ポートの構成］をクリックして［プリンタ名またはIPアドレス］が、プリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、［使用しているプリンタ］を選択してから［リモートプリントメニュー］-［プリンタの再設定］を選択し、［IP アドレス］がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、［リモートプリントメニュー］-［一時停止］のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

［IP アドレス］	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
［サブネットマスク］	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
［ゲートウェイ］	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

その他の場合の原因と対処

印刷できない		
プリンタの電源が OFF になっています。	☞	プリンタの電源を ON にしてください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で［セントロ］または［USB］を［ユウコウ］にしてください。
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
［オフライン］になっています。	☞	「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USB ハブを使用しています。	☞	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞	印刷処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞	［通常使用するプリンタ］にしてください。
双方向パラレルまたは USB で動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞	他のプリンタドライバを削除してみてください。
I-PRIME の設定がコンピュータに合っていません。	☞	プリンタのメニュー設定で［I-PRIME］を［3u SEC］または［5u SEC］にしてください。

メモリ不足になる。		
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞	使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。		
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞	処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷品質］もしくは［解像度］で［高精細］を選択しています。	☞	プリンタドライバの［印刷品位］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞	印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。		
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞	「ネットワーク経由で印刷できない」（243 ページ）をご覧ください。

Windows から印刷できない

9

Macintosh から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

最初に確認します

現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK 10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUS ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔（1 秒あるいは 0.1 秒）で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源が ON になっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源を ON にします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源を ON にするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「ハブトノセツゾク」を「10HALF-T」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ または ボタンを数回押し、［ネットワークメニュー］を表示します。

❷「設定」ボタンを押します。

❸ または ボタンを数回押し、［ハブトノセツゾク／ジドウ］を表示します。

❹「設定」ボタンを押します。

❺ または ボタンを数回押し、［10HALF-T］を表示します。

❻「設定」ボタンを押し、値の右側に［＊］を付けます。

❼「オンライン」ボタンを押し、［オンライン］にします。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重 / 半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法は HUB に付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

Macintoshの場合

- ［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［AppleTalk］で［経由先］が［Ethernet］になっていることを確認します。

Mac OS Xの場合

- ［アップルメニュー］-［システム環境設定］-［インターネットとネットワーク］-［ネットワーク］-［表示］-［ネットワークポート設定］で［内蔵Ethernet］にチェックがついていることを確認します。
- ［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］で［AppleTalk 使用］にチェックがついていることを確認します。
- ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］(Mac OS X 10.2 ではハードディスクの[アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリントセンター］,Mac OS X 10.5 では［アップルメニュー］-［システム構成］-［プリンタとファクス］）で､[追加]（Mac OS X 10.5 では［+］）をクリックし､[AppleTalk］を選択したときに［B430］が表示されるかを確認します。

その他の場合の原因と対処

メモリエラーになる。	
デスクトップ・プリントモニタのメモリサイズが不足しています。	☞ メモリサイズを大きくしてください。

印刷が遅い。	
印刷処理を Macintosh 側でも行っています。	☞ 処理速度の速い Macintosh を使用してください。
［印刷品位］の［高精細］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷品位］もしくは［解像度］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。

EPS ファイルがきれいに印刷できない。	
EPS 形式のファイルは QuickDraw (MacOS の描画システム) では認識できないため画面解像度 (72dpi) で印刷されます。	☞ PS プリンタドライバを使用してください。または、PICT、TIFF などのグラフィックス形式に変更してください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ 「ネットワーク経由で印刷できない」(243 ページ) をご覧ください。

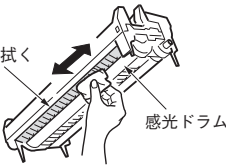
印刷が不鮮明なとき

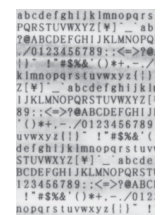
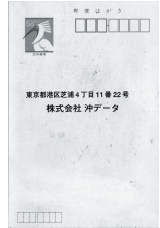
縦方向に白いスジが入る。	
LED ヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーまたは柔らかい布で拭いてください。
トナーが残り少なくなっています。	イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。 それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
異物がつまっています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。

縦方向にかすれる。	
LED ヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーまたは柔らかい布で拭いてください。
トナーが残り少なくなっています。	イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。 それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
用紙がプリンタに適していません。	推奨紙を使用してください。

印刷が薄い。	
トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
トナーが残り少なくなっています。	イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。 それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙がプリンタに適していません。	推奨紙を使用してください。
［プリンタの印刷濃度］の設定が不適切です。	プリンタドライバの印刷濃度で［やや濃い］または［濃い］に設定してください。

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。	
用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
「セッティング」の設定が不適切です。	プリンタのメンテナンスメニューで［セッティング］の値を変更してみてください。
はがきの下の方の印刷がかすれることがあります。	プリンタの故障ではありません。

縦方向にスジが入る。	
イメージドラムカートリッジに傷がついています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。	
約 94mm 周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	クリーニングページを数回行ってください。イメージドラム (緑の筒の部分) に汚れがついていたら、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
約 30mm 周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	クリーニングページを数回行ってください。
約 62mm 周期の場合は、定着器に傷がついています。	お客様相談センターにお問い合わせください。
イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。

用紙後端部が点状に汚れる。用紙を重ねると筋状に黒くなる。		
	イメージドラムカートリッジの底面にトナーが付着しています。	☞ イメージドラムカートリッジの底面（図の部分）を乾いた布やティッシュペーパーで拭いてください。 ※感光ドラムにキズを付けないように注意してください。

白地の部分が薄く汚れる。		
	用紙が静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙が厚すぎます。	☞ プリンタに合った用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。 それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。		
	LED ヘッドが汚れています。	☞ 柔らかいティッシュペーパーまたは柔らかい布で拭いてください。
	印刷濃度の設定が不適切です。	☞ プリンタの操作パネルか、またはプリンタドライバの印刷濃度で［やや薄い］または［薄い］を選択してください。

はがき、封筒を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。		
	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。
	用紙厚の設定が不適切です。	☞ プリンタドライバの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択してください。

ネットワーク経由で印刷できない

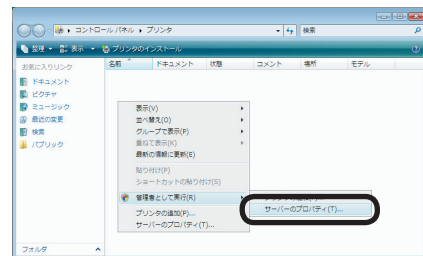
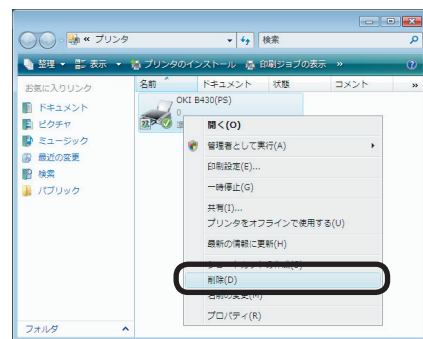
UNIX

- 「etc/hosts ファイル」にプリンタの［IP アドレス］と［ホスト名］が登録されているか確認します。
- lp プロトコルを利用する場合は、「etc/printcap ファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名（例：rp=lp）が登録されているか確認します。論理プリンタ名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。
- ftp プロトコルを利用する場合は、出力先（イーサネットボードの論理ディレクトリ名）が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

ユーティリティ

- AdminManager（Windows）でプリンタを検出できるか確認します。
- Setup Utility（Macintosh）でプリンタを検出できるか確認します。
- Web ブラウザでプリンタを検出できるか確認します。（56, 73 ページ）
- telnet でプリンタを検出できるか確認します。
- ping でプリンタを検出できるか確認します。Windows のコマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）で「ping xxx.xxx.xxx.xxx」（xxx.xxx.xxx.xxx はプリンタの IP アドレス）と入力し、Enter キーを押します。

プリンタドライバを削除したい

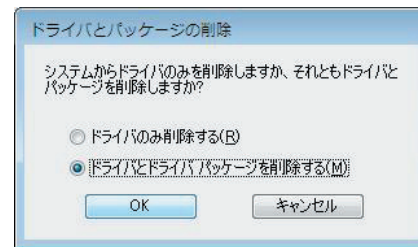
Windows Vistaの場合

- 管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

❷削除したいプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

❹プリンタアイコンを選択しないで、右ボタンでクリックして、［管理者として実行］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺［ユーザー アカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❻［プリント サーバーのプロパティ］の、［ドライバ］タブを選択します。

❼削除したいプリンタを選択し、［削除］をクリックします。

「指定されたプリンタドライバは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度プリンタドライバの削除を行ってください。

❽［ドライバとパッケージの削除］が表示されたら、［ドライバとドライバ パッケージを削除する］を選択して［OK］をクリックします。

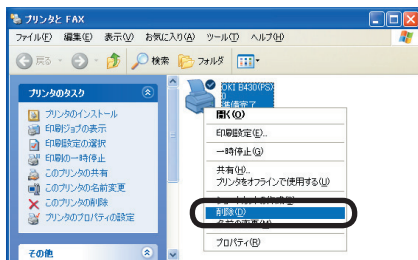
❾確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

❿［ドライバパッケージの削除］が表示されたら、［削除］をクリックします。

⓫削除が終了したら、［OK］をクリックします。

⓬［プリント サーバーのプロパティ］で、［閉じる］をクリックします。

⓭Windows を再起動します。

Windows XP/2000/Server 2003の場合

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ 削除したいプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

❹「プリンタと FAX」フォルダ（Windows2000 では「プリンタ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

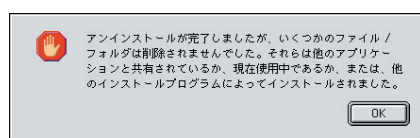
❺［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

注 プリンタドライバと一緒にインストールされる Network Extension は、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
Network Extension を削除する場合は、「Windows ソフトウェア」の「Network Extension」（47 ページ）をご覧ください。

プリンタドライバを削除したい

9

Macintoshの場合

1 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ 削除するプリンタドライバの［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ▲▼ をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2 デスクトッププリンタアイコンを削除します。

Mac OS Xの場合

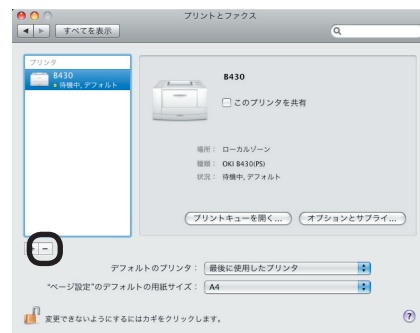
1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

Mac OS X 10.5以外をお使いの方

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］(Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］)をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸［プリンタリスト］を閉じます。

Mac OS X 10.5をお使いの方

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリンタとファクス］をクリックします。

❸ プリンタ名を選択し、[–]をクリックします。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ 削除するプリンタドライバの[Driver]フォルダを開きます。

❸［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❻「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❼「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

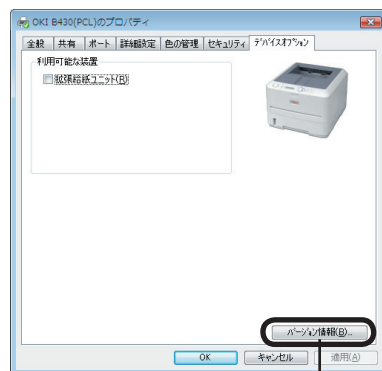
❽ ▲▼をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❾［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

❿［終了］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートしたい

Windows Vistaの場合

- 管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

❷ PSドライバでは、[OKI B430(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。[印刷オプション]タブの[バージョン情報］をクリックします。
PCL ドライバでは、［OKI B430（PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。［デバイスオプション］タブの［バージョン情報］をクリックします。

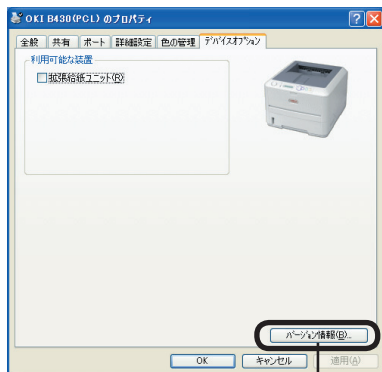
❸ バージョン情報画面が表示されたらバージョンを控えて、［OK］をクリックします。

❹「プリンタドライバを削除するには」の WindowsVistaの場合（56ページ）に従って、プリンタドライバを削除します。

❺ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
セットアップ方法はユーザーズマニュアルのセットアップ編をご覧ください。

必ずプリンタの電源が ON になっていることを確認してください。

❻ ❶～❸の手順でバージョン情報画面を表示し、プリンタドライバのバージョンが更新されていることを確認します。

Windows XP/2000/Server 2003の場合

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ PS ドライバでは、［OKI B430(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。［印刷オプション］タブの［バージョン情報］をクリックします。
PCL ドライバでは、［OKI B430(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。［デバイスオプション］タブの［バージョン情報］をクリックします。

❸ バージョン情報画面が表示されたら、バージョンを控えて［OK］をクリックします。

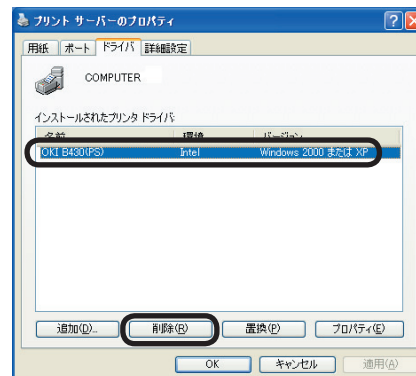
❹ アップデートするプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❺ 以降、画面の指示に従います。

❻「プリンタとFAX」フォルダ（Windows 2000 では「プリンタ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❼［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

❽ Windows を再起動します。

❾ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
セットアップ方法はユーザーズマニュアルのセットアップ編をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源が ON になっていることを確認してください。
- Windows XP/Server 2003 では、プリンタのインストールでセットアップします。

❿ ❶〜❸の手順でバージョン情報を表示し、新しいプリンタドライバのバージョンが更新されていることを確認します。

Macintoshの場合

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除したい」（246 ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは 1 章または 2 章をご覧ください。

Mac OS Xの場合

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除したい」（246 ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくはユーザーズマニュアルのセットアップ編をご覧ください。

プリンタドライバがセットアップできないとき

USB接続でセットアップできないとき（Windows）

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。以下の手順に従ってセットアップを行います。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USBケーブルの接続を確認し、プリンタの電源をONにします。
「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USBケーブルの接続を確認し、プリンタの電源をONにします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、ユーザーズマニュアル セットアップ編の「USB接続でWindowsにセットアップします」をご覧ください。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。（Windows Vistaでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。Windows Server 2003では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。Windows 2000では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。

❸ ［ポート］タブの［印刷するポート］を下記の設定にします。

USBケーブルで接続する場合	［USBxxx］

［印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合

Windows と USB 接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ USB ケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源を ON にします。

❹ Windows を起動します。

❺「新しいハードウェアの追加ウィザード」(Windows2000 では「新しいハードウェアの検索ウィザード」)が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「プリンタソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

その他の場合

現　象	対処方法
コンピュータが USB インタフェースに対応していません。	デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	セットアップ編を参照し、プリンタのメニュー設定で[USB]を「ユウコウ」にしてください。
セットアップ手順が間違っています。	セットアップ編の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	「プリンタソフトウェア CD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：Windows Vista(32bit 版)/XP(32bit 版)/Server 2003(32bit 版)/ 2000 での PCL プリンタドライバのセットアップの場合 「E:¥Drivers¥PCL¥JPN¥WinXP2k」 Windows Vista(x64版)/XP(x64版)/Server 2003(x64版)での PCL プリンタドライバのセットアップの場合 「E:¥Drivers¥PCL¥JPN¥WinXP64」 (ここでは CD-ROM ドライブが E：の場合を例にしています)
セットアップを中断しました。	セットアップ編の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。

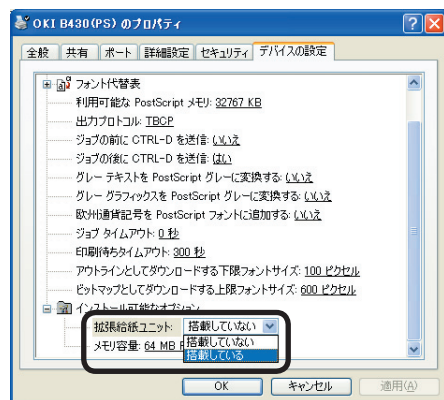
USB接続でセットアップできないとき（Macintosh）

現　象	対処方法
インタフェースが無効になっています。	セットアップ編を参照し、プリンタのメニュー設定で［USB］を「ユウコウ」にしてください。
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルを短時間で抜き差ししています。	USB ケーブルを抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	プリンタと Macintosh を直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。
プリンタの電源スイッチが OFF になっています。	プリンタの電源を ON にしてください。
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintosh のプリンタメニューの［プリントキューの開始］を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。
［オフライン］になっています。	「オンライン」を押して、［オンライン］にしてください。

セカンドトレイユニットから給紙できないとき

セカンドトレイユニット（拡張給紙ユニット）を使用するためには、プリンタドライバでセカンドトレイユニット（拡張給紙ユニット）を設定する必要があります。

- セカンドトレイユニットは［拡張給紙ユニット］と表示されます。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X プリンタドライバは常に［拡張給紙ユニット］が［あり］の状態になっています。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

（Windows XPの画面）

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタ]をクリックします。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI B430(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブで［拡張給紙ユニット］で[搭載している]を選択し、[OK]をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

（WindowsXPの画面）

❶ Windows Vista では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

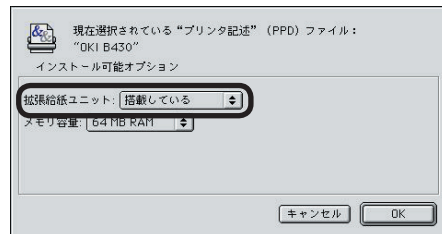
❷ [OKI B430(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］で［拡張給紙ユニット］にチェックを付け、[OK］をクリックします。

TCP/IP でネットワーク接続している場合、[プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh PSプリンタドライバをお使いの方

Macintosh ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されます。プリンタドライバをインストールした後にオプションを追加した場合は、以下手順でオプションを設定してください。

ネットワーク接続の場合

❶［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷［構成］をクリックします。

❸［拡張給紙ユニット］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

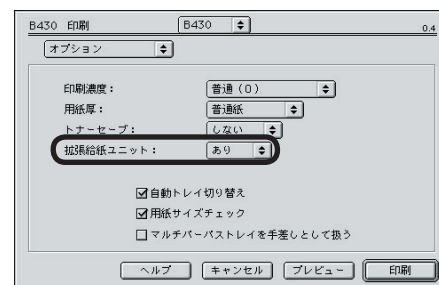
❹［セレクタ］を閉じます。

USB接続の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「使用するプリンタを選択します」（21 ページ）をご覧ください。

Macintosh PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷［B430（USB）］アイコンを選択します。

❸ 右側のボックスから［プリンタ名］を選択し、［設定］をクリックします。

❹［印刷ダイアログ］をクリックします。

❺［オプション］パネルの［拡張給紙ユニット］で［あり］を選択し、［設定］をクリックします。

❻［保存］をクリックし、セレクタを閉じます。

Mac OS X PSプリンタドライバをお使いの方

Mac OS Xではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IPプリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。「AppleTalk」で接続した場合にもプリンタドライバのインストール後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

Mac OS X 10.5以外をお使いの方

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2では［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリントセンター］）をダブルクリックします。

❷［OKI B430］を選択し、［情報を見る］をクリックし［プリンタ情報］を開きます。

❸［インストール可能なオプション］を選択します。

❹［拡張給紙ユニット］にチェックを付け、［変更を適用］をクリックします。

❺［プリンタ情報］を閉じます。

Mac OS X 10.5をお使いの方

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択し、［プリンタとファクス］をクリックします。

❷［OKI B430］を選択し、［オプションとサプライ ...］をクリックします。

❸［ドライバ］タブを選択し、［拡張給紙ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

Windows XP Service Pack2/ Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2/Windows Server 2003 Service Pack1 セキュリティ強化機能搭載では、Windows ファイアウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で［Windows ファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
AdminManager	プリンタ検索、NIC の設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NIC の設定ができなく なります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索、NIC の設定を行う場合は、［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、AdminManager を追加し、チェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも､「プリンタ」-「プリンタの追加 / 削除」で、プリンタ名（任意）と IP アドレスを入力し、OK ボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。
Print Job Accounting/ Print Job Accounting Lite	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し､「接続先」で「TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
Print Job Accounting/ Print Job Accounting Lite	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また､「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても､「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	Windows XP Service Pack 1 以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、Windows XP Service Pack2 にアップデートを行うと、左記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、［参照］をクリックします。 以下のファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックします。 "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥javaw.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥javaw.exe
	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorer を使用している場合、ポップアップウインドウがブロックされることがあります。 以下のことを確認してください。 Internet Explorer を起動し、［ツール］-［インターネットオプション ...］-［プライバシー］を開き、［ポップアップブロック］の［設定］ボタンをクリックします。 ［許可する Web サイトのアドレス］に PrintSuperVision の URL を入力し、［追加］ボタンをクリックします。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも､グループの検索範囲の 4 桁目を *（例:192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し､［管理ツール］-［コンポーネント サービス］で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は､［すべてのプログラム］-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［お読みください］をご覧ください。

※詳細は弊社ホームページ「http://www.okidata.co.jp/」をご覧ください。

Windows Vista に関する制限事項

項　　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ（PS） NIC セットアップユーティリティ （AdminManager、Quick Setup） Network Extension	ヘルプが表示されない。	Windows Vista でのヘルプの表示には対応しておりません。
プリンタドライバ NIC セットアップユーティリティ （AdminManager、Quick Setup） Network Extension Print Job Accounting Lite	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、[続行]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
Network Extension Print Job Accounting Lite	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。
Network Extension	「OKI Network Extension のアンインストール中にエラーが発生しました。既にアンインストールされている可能性があります。[プログラムと機能]の一覧から OKI Network Extension を削除しますか？」というメッセージが表示される。	アンインストール時、「Install Wizard の完了」画面で［はい、今すぐコンピュータを再起動します］を選択し、［完了］をクリックすると、左記のメッセージが表示される場合がありますが、自動的に再起動され、アンインストールが正しく行われますので、問題ありません。

付　録

仕様

USB インタフェース仕様

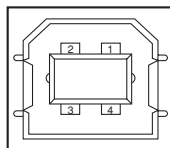
基本仕様
USB（Hi-Speed USB をサポート）

コネクタ
プリンタ側　B レセプタクル (メス) アップストリームポート
ケーブル側　B プラグ (オス)

ケーブル
5m 以下の USB2.0 仕様のケーブル（2m 以下を推奨）
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード
フルスピード (最大 12Mbps ± 0.25%)
ハイスピード (最大 480Mbps ± 0.05%)

電力制御
セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

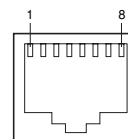
	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様
ネットワークプロトコル
TCP/IP 関連
NetWare 関連
EtherTalk 関連
NetBEUI 関連

コネクタ
100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル
RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピン No.	信号名	方　向	機　能
1	TXD+	FROM PRINTER	送信データ +
2	TXD-	FROM PRINTER	送信データ -
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ +
4	—	—	使用していません。
5	—	—	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ -
7	—	—	使用していません。
8	—	—	使用していません。

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994 準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　36 極レセプタクル (メス)
ケーブル側　36 極プラグ (オス)

ケーブル

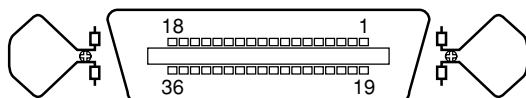
1.8m 以下の IEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

コンパチブル
ニブル
ECP

インタフェースレベル

ローレベル　＋ 0.0 ～＋ 0.4V
ハイレベル　＋ 2.4 ～＋ 5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピン No.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe(HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。 後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	Bi-direction	8 ビットのパラレルデータです。ハイレベルが"1"、ローレベルが "0" です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	–	–	使用していません。
16	GND	–	信号グランド
17	FG	–	シャーシグランド
18	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で 3.3K Ωで +5V にプルアップされています。
19 ～ 30	GND	–	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	–	信号グランド
34	–	–	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で 3.3K Ωで +5V にプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定する IEEEstd1284-1994 のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

フォントサンプル（PostScript3 エミュレーションモード）

日本語 2 書体

平成角ゴシック体TMW5
株式会社　沖データ
平成明朝体TMW3
株式会社　沖データ

欧文 136 書体

AlbertusMT
AlbertusMT-Italic
AlbertusMT-Light

AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact

Apple-Chancery

ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT

AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique

Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed

Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic

Candid

Chicago

Clarendon
Clarendon-Bold
Clarendon-Light

CooperBlack
CooperBlack-Italic
Copperplate-ThirtyThreeBC
Copperplate-ThirtyTwoBC

Coronet-Regular

Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique

Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo

Geneva

GillSans-Light
GillSans-LightItalic
GillSans
GillSans-Italic
GillSans-Bold
GillSans-BoldItalic
GillSans-ExtraBold
GillSans-Condensed
GillSans-BoldCondensed

Goudy
Goudy-Italic
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold

Helvetica
Helvetica-Oblique
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique

Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique

HoeflerText-Regular
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Ornaments

JoannaMT
JoannaMT-Italic
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic

LetterGothic
LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi
LubalinGraph-DemiOblique

Marigold

Monaco

MonaLisa-Recut

NewCenturySchlbk-Roman
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic

NewYork

Optima
Optima-Italic
Optima-Bold
Optima-BoldItalic

Oxford

Palatino-Roman
Palatino-Italic
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic

StempelGaramond-Roman
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic

Symbol　ΑΘΥΙΧΚΒΡΟΩΝ

Taffy

Times-Roman
Times-Italic
Times-Bold
Times-BoldItalic

TimesNewRomanPSMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT

Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers
Univers-Oblique
Univers-Bold
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedOblique
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl

Wingdings-Regular
Wingdings2
Wingdings3
ZapfChancery-MediumItalic

ZapfDingbats

フォントサンプル（PCL エミュレーションモード）

Macintosh 環境では使用できません。

日本語 4 書体

平成明朝
株式会社　沖データ

平成角ゴシック
株式会社　沖データ

P平成明朝
株式会社　沖データ

P平成角ゴシック
株式会社　沖データ

欧文 91 書体

- OS によって使用できる書体に制限があります。
- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes は Windows 環境では使用できません。
- ビットマップフォントは、固定サイズです。
- PCL Font List に印刷されている Koufi、Naskh、Ryadh は使用できません。

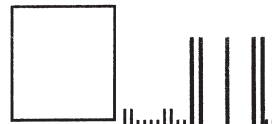
スケーラブルフォント（87 書体）

Font No.	
000	Courier
001	Courier Bold
002	Courier Italic
003	Courier Bold Italic
004	CG Times
005	CG Times Bold
006	CG Times Italic
007	CG Times Bold Italic
008	CG Omega
009	CG Omega Bold
010	CG Omega Italic
011	CG Omega Bold Italic
012	Coronet
013	Clarendon Condensed
014	Univers Medium
015	Univers Bold
016	Univers Medium Italic
017	Univers Bold Italic
018	Univers Medium Condensed
019	Univers Bold Condensed
020	Univers Medium Condensed Italic
021	Univers Bold Condensed Italic
022	Antique Olive
023	Antique Olive Bold
024	Antique Olive Italic
025	Garamond Antiqua
026	Garamond Halbfett
027	Garamond Kursiv
028	Garamond Kursiv Halbfett
029	Marigold
030	Albertus Medium
031	Albertus Extra Bold
032	Letter Gothic
033	Letter Gothic Bold
034	Letter Gothic Italic
035	Arial
036	Arial Bold
037	Arial Italic
038	Arial Bold Italic
039	Times New
040	Times New Bold
041	Times New Italic
042	Times New Bold Italic
043	ITC Avant Garde Gothic Book
044	ITC Avant Garde Gothic Demi
045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
047	ITC Bookman Light
048	ITC Bookman Demi
049	ITC Bookman Light Italic
050	ITC Bookman Demi Italic
051	CourierPS
052	CourierPS Bold
053	CourierPS Oblique
054	CourierPS Bold Oblique
055	Helvetica
056	Helvetica Bold
057	Helvetica Oblique
058	Helvetica Bold Oblique
059	Helvetica Narrow
060	Helvetica Narrow Bold
061	Helvetica Narrow Oblique
062	Helvetica Narrow Bold Oblique
063	New Century Schoolbook Roman
064	New Century Schoolbook Bold
065	New Century Schoolbook Italic
066	New Century Schoolbook Bold Italic
067	Palatino Roman
068	Palatino Bold
069	Palatino Italic
070	Palatino Bold Italic
071	Times Roman
072	Times Bold
073	Times Italic
074	Times Bold Italic
075	ITC Zapf Chancery Medium Italic
076	Symbol ΑΒΧΔΕφγηιφ12345
077	SymbolPS ΑΒΧΔΕφγηιφ12345
078	Wingdings
079	ITC Zapf Dingbats ✓✔✕
080	Koufi
081	Koufi Bold
082	Naskh
083	Naskh Bold
084	Ryadh
085	Ryadh Bold
086	OKI-OCRB

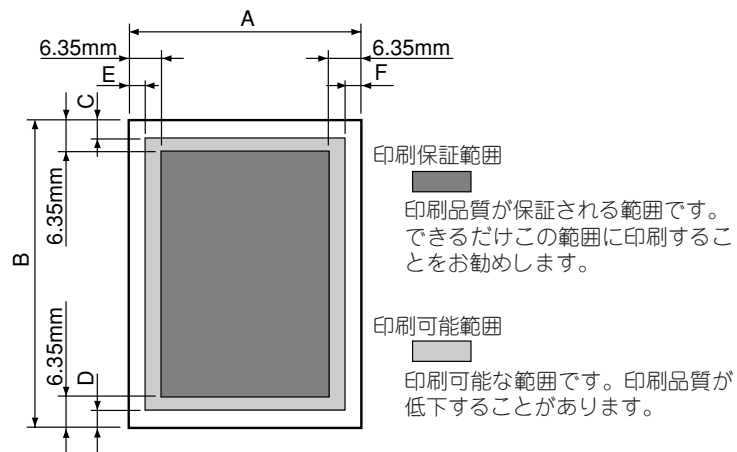
ビットマップフォント（3 書体）

Font No.	
087	Line Printer ABCDEfghij12345
088	OCR-A ABCDEfghij12345
089	OCR-B ABCDEfghij12345

USPS POSTNET Bar Codes

Font No.	
090	USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度（PostScript3 エミュレーションモード）

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

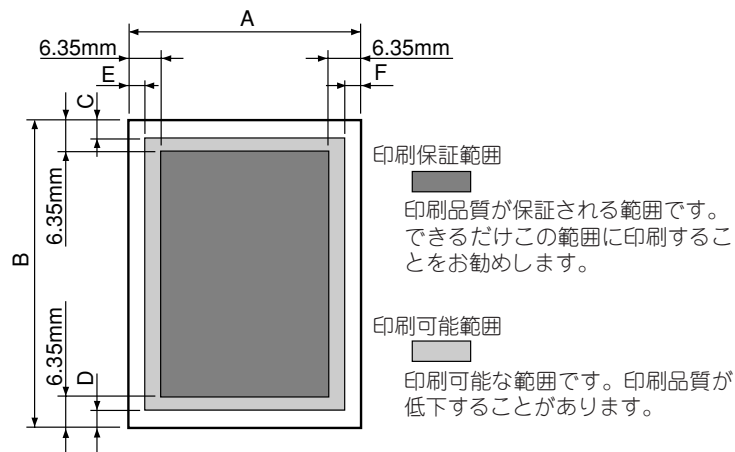
- 印刷精度は、書き出し位置 ± 2mm、用紙の斜行 ± 1mm/100mm、画像伸縮 ± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は± 2.5mm です。

単位 : mm

用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59
リーガル（13 インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59
リーガル（14 インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59
エグゼクティブ	184.15	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59
ステートメント	139.7	215.9	4.59	4.59	4.59	4.59
フリー *[1]*[2]*[3]	86 ～ 215.9	140 ～ 355.6	4.59	4.59	4.59	4.59
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59
封筒 1（長形 3 号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59
封筒 2（長形 4 号）	90	205	4.59	4.59	4.59	4.59
封筒 3（洋形 4 号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59
Com-10	104.75	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59
C6	114	162	4.59	4.59	4.59	4.59
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59

*[1]：トレイ 1 は、幅 140 ～ 215.9、長さ 210 ～ 355.6 です。
*[2]：トレイ 2 は、幅 148 ～ 215.9、長さ 210 ～ 355.6 です。
*[3]：マルチパーパストレイは、幅 86 ～ 215.9、長さ 140 ～ 355.6 です。

印刷範囲と印刷精度(PCL エミュレーションモード)

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

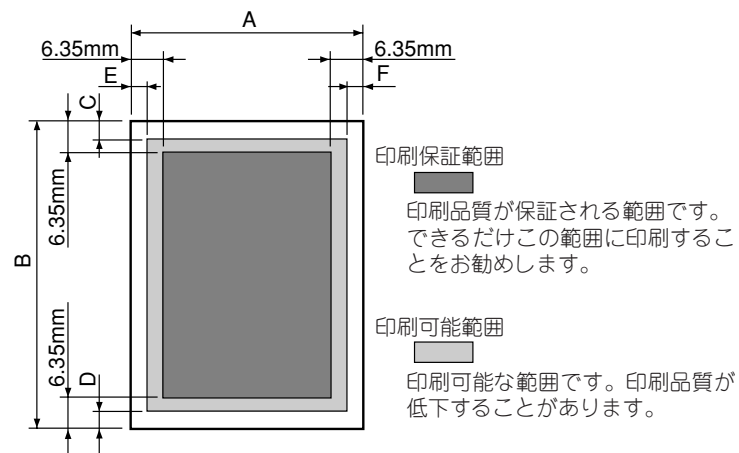
注 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm(連量 55kg(64g/m²)の場合)です。

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F
A4	210	297	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル(13 インチ)	215.9	330.2	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル(14 インチ)	215.9	355.6	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.15	266.7	4.23	4.23	4.23	4.23
ステートメント	139.7	215.9	4.23	4.23	4.23	4.23
フリー *1*2*3	86 ～ 215.9	140 ～ 355.6	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒 1(長形 3 号)	120	235	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒 2(長形 4 号)	90	205	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒 3(洋形 4 号)	105	235	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.75	241.3	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.23	4.23	4.23	4.23
C6	114	162	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.23	4.23	4.23	4.23

*1:トレイ 1 は、幅 100 ～ 215.9、長さ 210 ～ 355.6 です。
*2:トレイ 2 は、幅 148 ～ 215.9、長さ 210 ～ 355.6 です。
*3:マルチパーパストレイは、幅 86 ～ 215.9、長さ 140 ～ 355.6 です。

印刷範囲と印刷精度(ESC/P エミュレーションモード)

実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

印刷精度は、書き出し位置 ± 2mm、用紙の斜行 ± 1mm/100mm、画像伸縮 ± 1mm/100mm(連量 55kg(64g/m²)の場合)です。

単位 : mm

用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F
A4	210	297	8.50	5.08	5.08	5.08
A5	148	210	8.50	5.08	5.08	5.08
A6	105	148	8.50	5.08	5.08	5.08
B5	182	257	8.50	5.08	5.08	5.08
レター	215.9	279.4	8.50	5.08	5.08	5.08
リーガル(13 インチ)	215.9	330.2	8.50	5.08	5.08	5.08
リーガル(14 インチ)	215.9	355.6	8.50	5.08	5.08	5.08
エグゼクティブ	184.15	266.7	8.50	5.08	5.08	5.08
ステートメント	139.7	215.9	8.50	5.08	5.08	5.08
フリー *1*2	86 ~ 215.9	140 ~ 355.6	8.50	5.08	5.08	5.08
はがき	100	148	8.50	5.08	5.08	5.08
往復はがき	148	200	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒 1(長形 3 号)	120	235	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒 2(長形 4 号)	90	205	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒 3(洋形 4 号)	105	235	8.50	5.08	5.08	5.08
Com-9	98.4	225.4	8.50	5.08	5.08	5.08
Com-10	104.75	241.3	8.50	5.08	5.08	5.08
DL	110	220	8.50	5.08	5.08	5.08
C5	162	229	8.50	5.08	5.08	5.08
C6	114	162	8.50	5.05	5.05	5.05
Monarch	98.4	190.5	8.50	5.08	5.08	5.08

*1 : トレイ 1 は、幅 100 ~ 215.9、長さ 210 ~ 355.6 です。
*2 : トレイ 2 は、幅 148 ~ 215.9、長さ 210 ~ 355.6 です。

- [アタマダシイチ]と[タテオフセット]との設定により C が変化します。表中の 8.50mm はデフォルト値です。最小値は 4.08mm です。
- [X ホセイ]、[Y ホセイ] の設定により印刷可能範囲が変化します。

ESC/P エミュレーションコマンド一覧

このプリンタのESC/P モードでサポートしているコマンドを以下に示します。
コマンドの詳細については、「EPSON ESC/P リファレンスマニュアル（セイコーエプソン株式会社）」をご覧ください。

初期設定・実行

機　能	コマンド
行単位ページ長設定	ESC C
インチ単位ページ長設定	ESC C 0
右マージン設定	ESC Q
左マージン設定	ESC ℓ
1/8 インチ改行量設定	ESC 0
1/6 インチ改行量設定	ESC 2
n/180 インチ改行量設定	ESC 3
n/60 インチ改行量設定	ESC A
垂直タブ位置設定	ESC B
水平タブ位置設定	ESC D
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
n/180 インチ順方向紙送り	ESC J
n/180 インチ逆方向紙送り	ESC j
水平タブ実行	HT
垂直タブ実行	VT
絶対位置指定	ESC $
相対位置指定	ESC \

ANK・漢字テキスト処理

機　能	コマンド
自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	ESC SO
	FS SO
自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	FS DC4
倍幅拡大指定 / 解除	ESC W
強調指定	ESC E
強調解除	ESC F
二重印字指定	ESC G
二重印字解除	ESC H
文字スタイル選択	ESC q
イタリック指定	ESC 4
イタリック解除	ESC 5
一括指定	ESC !

ANK テキスト処理

機　能	コマンド
12CPI 指定	ESC M
10CPI 指定	ESC P
15CPI 指定	ESC g
国際文字選択	ESC R
スーパー / サブスクリプト指定	ESC S
スーパー / サブスクリプト解除	ESC T
文字品位選択	ESC x
書体選択	ESC k
プロポーション指定 / 解除	ESC p
文字コード表選択	ESC t
ダウンロード文字セット指定 / 解除	ESC %
ダウンロード文字定義	ESC &
文字セットコピー	ESC :
文字間スペース量指定	ESC SP
縦倍拡大指定 / 解除	ESC w
縮小指定	SI
縮小解除	DC2
アンダーライン指定 / 解除	ESC -

漢字テキスト処理

機　能	コマンド
縦書き指定	FS J
横書き指定	FS K
半角縦書き指定２文字指定	FS D
４倍角指定 / 解除	FS W
漢字アンダーライン指定 / 解除	FS -
漢字一括指定	FS !
漢字モード指定	FS &
漢字モード解除	FS .
半角文字指定	FS SI
半角文字解除	FS DC2
1/4 角文字指定	FS r
漢字書体選択	FS k
外字定義	FS 2
全角文字スペース量設定	FS S
半角文字スペース量設定	FS T

補助機能

機　能	コマンド
初期化	ESC @
カットシートフィーダ制御	ESC EM
デバイスコントロール１	DC1
デバイスコントロール３	DC3
上位側コントロール解除	ESC 6
上位側コントロール指定	ESC 7
位置揃え指定	ESC a
VFU タブ位置設定	ESC b
VFU チャンネル選択	ESC /
半角文字スペース量補正	FS U
半角文字スペース量補正解除	FS V
データ抹消	CAN
一文字削除	DEL
後退	BS
MSB=0 指定	ESC =
MSB=1 指定	ESC >
MSB コントロール解除	ESC #

ビットイメージ処理

機　能	コマンド
ビットイメージ選択	ESC *
ビットイメージ変換	ESC ?
8 ドット単密度ビットイメージ	ESC K
8 ドット倍密度ビットイメージ	ESC L
8 ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC Y
8 ドット４倍密度ビットイメージ	ESC Z

ESC/P エミュレーションモードの初期状態

項　目	初期化状態
ページ長	メニューで設定した用紙サイズ
ミシン目スキップ	解除
右マージン	用紙サイズの右端または 136 桁（10CPI の文字幅による）＊
左マージン	0
改行量	1/6 インチ / 行
水平タブ位置	8 文字毎の水平タブ
垂直タブ位置	無指定
文字ピッチ	10 文字 / インチ
プロポーショナル	解除
英数カナ文字書体	ローマンまたはサンセリフ＊
文字品位	高品位
国際文字選択	日本
文字コード表	カタカナコードまたは拡張グラフィックス＊
文字間スペース量	0
文字装飾	解除
縮小	解除
漢字モード	解除
漢字書体	平成明朝体または平成角ゴシック体＊
縦書き／横書き	横書き
全角文字／半角文字／1/4 角文字	全角文字
全角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3（180dpi 相当）
半角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3（180dpi 相当）
1/4 角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：2（180dpi 相当）
漢字装飾	解除

＊：メニュー設定によります。

初期化動作の発生条件と範囲を下表に示します。

項　目	I-PRIME 受信時 データクリア	「キャンセル」スイッチ
受信バッファ	クリアする	クリアする
入力バッファ（ESC/P のみ）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（編集中）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（編集済）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（印刷中）	クリアしない	クリアしない
ダウンロード文字定義（ESC/P）	クリアしない	クリアしない
外字定義（ESC/P）	クリアしない	クリアしない
その他の設定	メニュー設定に初期化	メニュー設定に初期化
アラーム	クリアしない	「オンライン」スイッチにて解除できるもののみクリアする。

メモ　工場出荷時の設定では I-PRIME 信号は無視されます。

文字コード表(PostScript3 エミュレーションモード)

- ***-83pv-RKSJ-H は、主に Macintosh で使用します。(*** はフォント名)
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-H および ***-Ext-RKSJ-H は、主に Windows で使用します。(*** はフォント名)
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェア CD-ROM」の以下のフォルダに PDF ファイルで入っています。
  [Windows] ....[MICROLINE] - [DOC] フォルダ
  [Macintosh] ....[MICROLINE] - [漢字コード表] フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名(Windows)	ファイル名(Macintosh)	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code (横) / High code (縦)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	“	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∍	(	)	*	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	ϕ	γ	η	ι	φ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

ZapfDingbats

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

文字コード表（PCL エミュレーションモード）

- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェア CD-ROM」の以下のフォルダに PDF ファイルで入っています。
  ［Windows］............ ［MISC］-［KanjiCode］フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	プリンタフォント名
平成角ゴ.pdf	平成角ゴシック
平成明朝.pdf	平成明朝

シンボルセット

PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 Grk
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-851 Grk
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-862 Heb
PC-864 L/A
PC-866
PC-866 Ukr
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Serbo Croat1
Serbo Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Int'l
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Arb
Win 3.1 L/G
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
OKI-OCRB
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
Arabic-8
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-8
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
Hebrew-7
Hebrew-8
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L4
ISO L5
ISO L6
ISO L9
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
ISO-Cyr
ISO-Grk
ISO-Hebrew
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
WIN3.1J

標準欧文（PC-8）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	·
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	φ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

文字コード表（ESC/P エミュレーションモード）

ESC/P に準拠した以下の文字コードをもっています。
文字コードの詳細は、「EPSON ESC/P リファレンスマニュアル（セイコーエプソン株式会社）」をご覧ください。

カタカナコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	╳
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク 1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン 1	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク 2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン 2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

拡張グラフィックスコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	BEL		'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	·
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	CR		-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	ε	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン1	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名	型　名	内　容
エクセレントホワイト（A4）	PPR-CA4NA	A4 用紙、 250 枚包× 8 束 / 箱
エクセレントホワイト（A4 厚口）	PPR-CA4DA	両面印刷用 A4 用紙、 250 枚包× 8 束 / 箱
トナーカートリッジ	TNR-M4D1	トナーカートリッジ
大容量トナーカートリッジ	TNR-M4D2	トナーカートリッジ
イメージドラムカートリッジ　※	ID-M4D	イメージドラムカートリッジ
セカンドトレイユニット	TRY-M4B1	セカンドトレイユニット
128MB 増設メモリ	MEM128D	増設メモリ（128MB）
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	

※ イメージドラムカートリッジ交換時には、トナーカートリッジも交換が必要です。

- 用紙の保管方法は、セットアップ編を参照してください。
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジについては、以下の注意事項をご覧ください。
  - トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
    純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
    純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
  - トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
  - ご使用になるまで、開封しないでください。
  - 直射日光をさけ、温度：0 ～ 35 ˚ C、湿度：20 ～ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
  - 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。
  - 幼児の手が届かない所に保管してください。

プリントジョブアカウンティングの使用について

- オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。

プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、メニューマップ印刷で「JobAccounting：ON」と印刷されます。

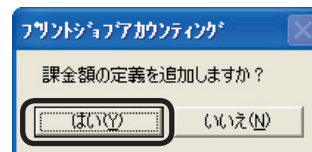
工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID 数、および保存可能ログ数

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID 数、および保存可能なログ数は、以下のとおりです。ログの内容によっては、少なくなる場合があります。

登録可能ユーザ ID 数	保存可能ログ数
5000ID	約 450 ログ

課金額の定義の追加

B430dn の各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。課金額の設定方法は「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

「プリンタソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

❶ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

❷ 沖データホームページよりダウンロードし、解凍します。

❸ CPADD.EXE ファイルをダブルクリックします。

❹ 確認画面で［はい］をクリックします。

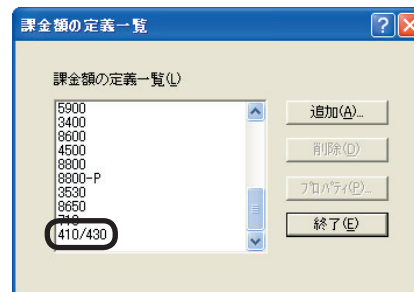
❺ 完了画面で［はい］をクリックします。

❻ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

❼［プリンタ］メニューから［課金額の定義］を選択します。

❽ 課金額の定義一覧に「410/430」が追加されていることを確認します。

付録

プリントジョブアカウンティングの使用について

Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法

Macintosh プリンタドライバでのユーザ名、ユーザ ID の設定方法です。Mac OS X および Windows プリンタドライバでの設定方法は、「プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

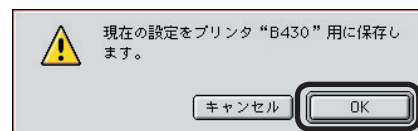
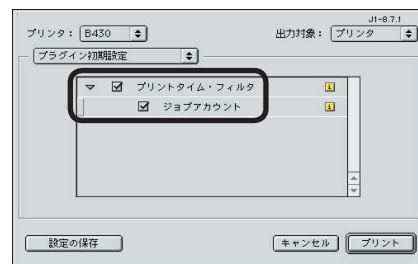
- B430dn では、Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法が「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」に記述された方法と異なります。
- 設定しないで印刷した場合、ユーザ名は空白、ユーザ ID は 0 でログに残ります。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。

Macintosh PS プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント］を選択します。

❷［プラグイン初期設定］パネルで［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブアカウント］にチェックを付けます。

❸［ジョブアカウント］パネルでユーザ名、ユーザ ID を設定し、［設定の保存］をクリックします。

❹［OK］をクリックし、ダイアログを閉じます。

パラレル接続で Windows にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

●Windows Vista/Vista(x64版)
Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

●Windows Server 2003/2003(x64版)
Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

●Windows XP/XP(x64版)
Windows XP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

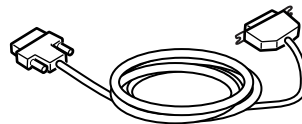
●Windows 2000
Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

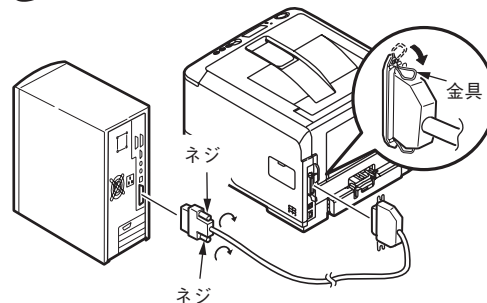
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。

- コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
- パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。(最長 1.8m)

ケーブルを接続します

1 パラレルケーブルを準備します。

プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994 準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

3 コンピュータとプリンタを接続します。

❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

Windows にセットアップします

 コンピュータの管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

 プリンタの電源が ON になっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル] をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。
セットアッププログラムが起動します。

❷ [自動再生] が表示されたら、[Setup.exe の実行] をクリックします。

❸ [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

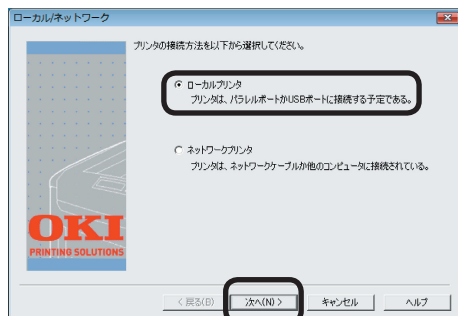
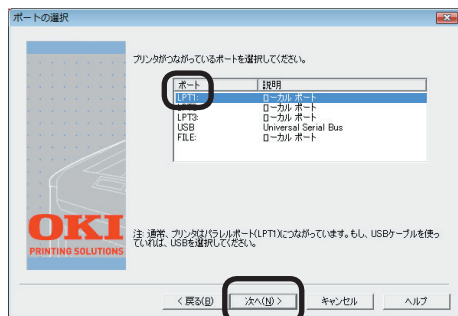
3 プリンタドライバをインストールします。

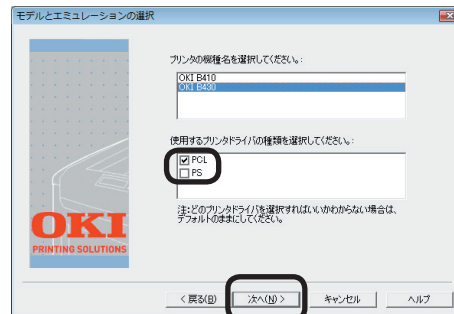
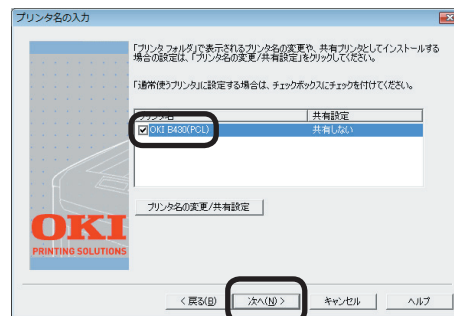
❶ B430 プリンタの画像をクリックします。

❷「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

メモ　画面を閉じる場合は、右上の X をクリックします。

❸ [ドライバのインストール] をクリックします。

❹［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ポートで［LPT1］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻セットアップしたいプリンタの機種名、プリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

- PCL、PSの両方にチェックを付けると、1度にインストールすることができます。
- PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバをインストールします。

❼一覧中のチェックボックスにチェックを付け、［次へ］をクリックします。プリンタ名の変更や共有設定を行う場合は、［プリンタ名の変更／共有設定］をクリックし、共有するプリンタ名などを登録します。

❽ プリンタドライバがインストールされます。
「Windows セキュリティ」画面が表示されたら、［このドライバをインストールする］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?
☞ ❿へ進みます。

❾［完了］をクリックします。

［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ❽からの続き

❿［完了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。（Windows Vista では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。）

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。

❸ ［ポート］タブの［印刷するポート］で、接続先のポートを下記の設定にします。

パラレルケーブルで接続する場合　［LPT1］

パラレル接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	IEEEstd1284-1994 準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で［セントロ］を［ユウコウ］にしてください。（30 ページ）
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
パラレルケーブルが外れています。	パラレルケーブルを差し込んでください。
パラレルケーブルに問題があります。	予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	「プリンタソフトウェア CD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：Windows Vista（32bit 版）/XP（32bit 版）/Server 2003（32bit 版）/2000 での PCL プリンタドライバのセットアップの場合 「E:¥Drivers¥PCL¥JPN¥WinXP2k」 Windows Vista（x64版）/XP（x64版）/Server 2003（x64版）/2000 での PCL プリンタドライバのセットアップの場合 「E:¥Drivers¥PCL¥JPN¥WinXP64」 （ここでは CD-ROM ドライブが E：の場合を例にしています。）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。

索　引

索引

索引

し

す

せ

そ

た

ち

て

と

な

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

も

ゆ

索引

よ

ら

り

わ

オキページプリンタ

B430dn

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2008 年 3 月　第 1 版
発行者　株式会社 沖データ

44039101EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）